昭和24年12月27日第３種郵便物認可

日刊産業新聞ホームページ
http://www.japanmetal.com/
E-mail sangyo@sangyo.co.jp
携帯サイト QRコード
http://www.japanmetal.com/m/

発行所 産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1−16−14
TEL 03(5566)8770㈹ FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区靭本町1−5−15
TEL 06(6443)8551㈹ FAX 06(6443)3828
アジア総局 上海市婁山関路85号 東方国際大厦C座1604室
上海支局 TEL 86-21-6278-7750 FAX 86-21-6278-7751

日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2016年（平成28年）
9月21日（水）
第19070号
Since 1936

日刊（土・日・祝日除く） ©産業新聞社2016年

大和鋼管の単管足場スーパーライト700
安全品質と環境性能でつくる本物の安心です。
■厚生労働省の安全基準をクリア！
■国土交通省のNETISに登録済み！
※NETIS:国土交通省が新技術の活用促進を目的として構築したシステムです。
鋼管の未来を追求する——
大和鋼管 工業株式会社
http://www.daiwast.co.jp
東京TEL03-5283-7031 大阪TEL06-6448-5205
軽量化・省資源でやさしい
使われている成分がやさしい
働く人にやさしい

きょうの紙面

イランで廃棄物発電・市場調査受託
JFEエンジニアリングは、JETROから「イラン国テヘラン市における廃棄物焼却発電施設の導入」に関する市場性調査を受託した。日本企業で初。（2面）

越ホアファット、16年粗鋼過去最高へ 3
韓国熱延鋼板輸出、8月63万㌧に増（4面）
日綜産業 サンライトステーション橋梁で採用（5面）
大チタ 3Dプリンター用粉末、年40万㌧確保（12面）

外為ＴＴＳ
（三菱東京UFJ銀行）
（20日10時）

ドル	102.95 ⬆
ユーロ	115.37 ⬆
ウォン	9.31 ⬇
（参考値）	
元	15.60 ⬆
（参考値）	

ＬＭＥ相場
（現地19日セツル、㌦）

銅	4731.5 ⬆
アルミ	1558.5 ⬇
ニッケル	9920.0 ⬆
亜鉛	2215.5 ⬇
錫	19395.0 ⬇

鉄スクラップ総合価格
（円、20日調べ）

H2	19,000
新断バラ	21,000

東証終値	（20日、円）
16,492.15	27.14⬇
新日鉄住金	1,965.0 ⬇
ＪＦＥＨＤ	1,443.0 ⬇
神戸製鋼	90 ⬇
日新製鋼	1,309 ⬇

〈6面に主要企業株価欄〉

バルチック海運指数

現地19日	836

WTI原油先物（中心限月）

現地19日	43.30

中国輸入鉄鉱石清岸価格（CISA）

現地19日	55.92 ⬇

おかげさまで 創刊80周年 日刊 産業新聞 80th SINCE 1936

韓国鉄鋼業に再編機運

造船不振などで能力過剰

【ソウル20日＝正清俊夫】韓国で鉄鋼業界の再編機運が高まってきた。韓国政府と韓国鉄鋼協会（KOSA）が業界再編を協議しており、コンサルタントの調査報告が週末に報道された。週明けには報道各社が追随し、再編の議論がにわかに熱を帯びている。現代製鉄が高炉3基を相次いで立ち上げるなど、積極的な拡張投資で能力が拡大したものの、世界的な過剰能力や国内の造船不振などで能力を生かし切れない実情がある。世界的な過剰能力解消の議論と歩調を合わせて韓国でも論議が本格化しそうだ。

現地報道によると、KOSAが5月にコンサルタントに発注した調査結果として、造船需要はさらに減るという見通しのもと、厚板ミル7基のうち3基を止める必要があると指摘された。厚板のほか鋼管や鉄筋も再編の必要が指摘されているようだ。調査結果などを受けて韓国政府が再編の支援策を打ち出す見込みだという。

韓国では現代製鉄が2010年に高炉一貫製鉄に参入し、13年までに高炉3基、粗鋼年産計1200万㌧の能力を加えた。現代製鉄が熱延ミル、厚板ミルを新設し、その前後にPOSCO、東部製鉄も熱延ミルを新設、POSCO、東国製鋼が厚板ミルを新設するなど14年までの5年で一気に能力が拡大した。

厚板は東国製鋼が浦項工場で年産100万㌧の第1厚板ミルを10年に、190万㌧の浦項第2ミルを15年に休止し、唐津の新ミル1本に集約。計290万㌧の能力削減だが、増強はもっと大きい。東国製鋼が09年に稼働した唐津の150万㌧、POSCOが10年に稼働した200万㌧、現代製鉄が14年までに新設・増強した2本計350万㌧の計700万㌧の増強だった。

東国製鋼の2本の休止でもまだ過剰という今回のコンサルタントの報告だが、POSCOなどは調査の最終報告を待っているとして論評していない。内需とのギャップを単純に過剰能力とする判断には異論も大きそうだ。

国際的な議論でも過剰能力の定義は難しいが、市場の調整機能に耐えられるかどうかが重要な論点。市場歪曲的な補助金など政府支援に支えられないと生き残れないような設備は廃棄すべきという流れだ。

韓国政府は再編は各企業の判断によるという立場のようだ。POSCOや現代製鉄は収益力も高く、東国製鋼も厚板事業の構造改革で黒字化。厚板では残り1ミルの東国製鋼を含めて自主的な能力削減は相応に難しい。政府系の韓国産業銀行の管理下で熱延ミルの上工程を止めて再建を進める東部製鉄の行方も課題になりそうだ。

OLYMPUS
合金品種判定用の新モデル
ハンドヘルド 蛍光X線分析計 VANTA NEW
オリンパス株式会社 ☎0120-58-0414(フリーダイヤル)

東京製鉄

全種3000−7000円下げ

10契 出直し価格に改定

東京製鉄は20日、2016年10月契約分の鋼材販売価格（店売り向け）に関して、全品種で値下げを実施すると発表した。全品種値下げは16年3月契約分以来7カ月ぶり。値下げ幅は品種によって異なり、トン3000−7000円。今村清志・常務取締役営業本部長は、今回の全面値下げに関して、「依然盛り上がりを欠いた市況の底入れを図るため、10月契約販価では現状のマーケット実態に合わせて見直し、出直し価格に改定する」とコメントした。

値下げ幅はH形鋼、縞H形鋼、I形鋼、溝形鋼、異形棒鋼、鋼矢板が7000円。熱延鋼板、縞鋼板、酸洗鋼板は5000円。ホットコイル、厚板、角形鋼管は3000円とした。

東鉄は16年5月契約販価で2年5カ月ぶりとなる全品種値上げに踏み切り、以降5カ月にわたって主要品種の販価を据え置いたものの、国内市況はジリ安で進み、今夏過ぎで大底圏内に入ってきた。

「販価と実態が少し離れており、今後の値上げも視野に入れ、ここで修正することで底入れを明確化できるタイミングが訪れた」（今村常務）、「今回の値下げは市況の下落要因にならない」（同）との認識を示した。

マーケットの動向については、「海外は中国ミルの値上げ基調が続いているものの、中国国内市況は下落し、先行きを見通しにくい状況にある。国内市場は各品種ともに在庫は低水準で、市中の荷動きが回復するなど需給バランスの調整が進み、市況は好転すると期待される。条鋼品種は来年に向けて物件引き合いの打診が多くなり、今後、材料手配が行われるとみている。鋼板品種も在庫は適正レベルを下回り、各メーカーの値上げが流通段階に浸透し始め、ようやく荷動き回復の兆しが出つつある。ここが正念場になる」（今村常務）と分析した。

国際市況の動きは、「FOBでホットコイルが470−490ドル、H形鋼は490−510ドル。やや頭打ち加減で弱含んでおり、成約するには厳しい状況」（今村常務）という。

鉄スクラップは「米国コンポジット価格が下がり、日本からの輸出不振などで海外市況は天井感が出て、ピークアウトしている。国内は鋼材需要が盛り上がらず、各メーカーは増産に踏み切れない状況にある。スクラップが足らなくなる状況は想定しにくく、今の為替が続けば現行市況からやや下押しすると思う。極端に下落することもないだろう」（今村常務）と指摘した。

16年9月の全社生産量（熱間圧延製品ベース）は16万5000㌧を想定。田原工場で生産しているホットコイルは4万5000㌧で、うち輸出向けは1万2000㌧。H形鋼は8万5000㌧を、厚板は1万5000㌧をそれぞれ計画。物件向け販売、在庫販売は20日午後からスタートした。価格（ベースサイズ）はH形鋼がトン6万7000円（前月比7000円安）、異形棒鋼は同4万8000円（同7000円安）、厚板は同6万2000円（同3000円安）とした。（2面に流通の反応）

東京製鉄16年10月販価

		（前月比）
▽H形鋼		
【細幅】 150×75〜250×125	65,000	⊖7,000
【中幅】 148×100〜194×150	65,000	⊖7,000
800×300	71,000	⊖7,000
900×300	75,000	⊖7,000
【広幅】 100×100〜150×150	65,000	⊖7,000
414×405	71,000	⊖7,000
▽縞H形鋼		
196×197×6/8	75,000	⊖7,000
▽I形鋼		
100×75・125×75	73,000	⊖7,000
150×125・180×100	71,000	⊖7,000
200×150・300×150	69,000	⊖7,000
150×75〜250×125	67,000	⊖7,000
▽溝形鋼		
100×50	67,000	⊖7,000
125×65〜250×90×9	65,000	⊖7,000
300×90×9・10・12	67,000	⊖7,000
380×100×10.5・13	69,000	⊖7,000
▽角形鋼管（トウテツコラム）		
150×150〜175×175×4.5〜12	73,000	⊖3,000
×6.0〜12	60,000	⊖3,000
200×200〜400×400×16	62,000	⊖3,000
19	64,000	⊖3,000
22	66,000	⊖3,000
▽厚板		
8.0	61,000	⊖3,000
9.0≦t≦40.0×1524×6096	60,000	⊖3,000
45×1829×9144	61,000	⊖3,000
50・55×2100×12192	62,000	⊖3,000
60×2438	63,000	⊖3,000
65・70・75	64,000	⊖3,000
▽U形鋼矢板		
TSP−Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	75,000	⊖7,000
TSP−ⅡW・ⅢW・ⅣW	75,000	⊖7,000
▽異形棒鋼		
D10	48,000	⊖7,000
D13〜25	47,000	⊖7,000
D29・D32	48,000	⊖7,000
▽ホットコイル		
1.7≦t≦22.0×900〜1,630	50,000	⊖3,000
▽酸洗コイル		
1.7≦t≦6.0×900〜1,600	55,000	⊖3,000
▽溶融亜鉛めっきコイル（Tージンク）		
SGCC Z08		
0.8≦t≦1.6×850〜1,320	75,000	⊖3,000
SGHC Z08		
1.6＜t≦2.3×850〜1,320	75,000	⊖3,000
▽縞コイル		
2.3≦t≦19.0×900〜1,630	53,000	⊖3,000
▽熱延鋼板		
1.6	57,000	⊖5,000
2.3≦t≦6.0×914〜×1829〜	55,000	⊖5,000
9.0≦t≦22.0 1524 6096	56,000	⊖5,000
▽酸洗鋼板		
1.6 ×914〜× 1829	60,000	⊖5,000
2.3≦t≦6.0 1219 2438	58,000	⊖5,000

＊申込締切日：9月23日12時

共英製鋼 異形棒3000円値上げ

異形棒鋼最大手の共英製鋼は20日、10月販売分の異形棒鋼価格を全事業所（枚方・名古屋・山口）ともトン当たり3000円引き上げると発表した。異形棒鋼市場では下期以降に建設需要の回復が見込まれる中、流通各社に安値警戒感が徐々に出始め、低迷していた製品市況も下げ止まりムードが台頭。特に5月下旬から8月の旧盆休み前後にかけて、需要低迷などで製品市況は軟化傾向にあったため、メーカーや流通各社の採算が悪化しており、同社では「下期に向けて製品市況の早期立て直しと損益改善が急務」と判断し、今年6月販売分以来となる販価引き上げに踏み切ったとしている。

東国製鋼 伯高炉、操業率9割超へ

船級スラブ 年内に生産体制

【ソウル20日＝正清俊夫】韓国の東国製鋼はブラジルで稼働した高炉の操業率を10月にも9割以上に引き上げる計画だ。足元では7割を超えており、早期に安定操業を確立したい考え。8月から商業生産に移行したスラブは一般用途で販売しながら、生産するグレードを上げ、主要船級の認証を年内に取得する手続きを進める。高品質のスラブの生産体制を確立し、東国製鋼としては来年初にも韓国の唐津の厚板工場で鉄源として活用。鉄源からの一貫体制による相乗効果を引き出す。

伯資源大手、ヴァーレが50%、東国製鋼が30%、POSCOが20%出資する合弁会社、CSPは高炉に6月に火入れした。3800立方㍍の高炉は銑鉄年産能力が312万㌧。徐々に稼働率を上げており、日産能力8500㌧に対して、足元は6000㌧以上に到達。当面目標の8000㌧は10月の達成をめざしている。

年産300万㌧のスラブは8月5日に商業生産を開始した。幅1100−2300㍉、厚さ220、250㍉、300㍉のスラブの外部販売を既に開始している。世界各地の需要家に営業活動を展開しており、反応は良いという。

東国製鋼はCSPのスラブを造船用厚板の母材として活用する狙いだが、高品質のスラブを造り込み、韓国、日本など主要国の船級認証を取得するには時間がかかる。年内に船級スラブの生産体制を整え、来年からは唐津の厚板ミルで活用したい考え。

外部調達のスラブを圧延する東国製鋼の厚板事業は造船の不振を受けて構造調整した。浦項工場の2つの厚板ミルを休止し、唐津の1ミルに集約。最大年産440万㌧あった能力を150万㌧に絞り込んで操業率を高めた。CSPから年間160万㌧のスラブを引き取り、60万㌧を厚板母材として活用することで、調達コスト削減、高級品比率向上などの効果を狙う。

CSPの高炉

金属春秋

2016.9.21

「5億㌧の能力削減は十分でない。なにしろ生産量との差は20億㌧だからね」中国コークス業協会の石岩峰秘書長が先日話してくれた。中国政府は石炭業の過剰能力を2020年までに5億㌧削減するが、需給ギャップのわずか4分の1にとどまる▼中国石炭業の能力は50億㌧で生産は30億㌧。近年の価格下落で停止・閉鎖する鉱山が増えたこともあり、国内の原料炭価格は3月のトン620元（約9300円）から9月に800元に上昇。政府改革が進めばさらに上がる予測も聞かれる▼「足元上昇する輸入価格に引っ張られて国内価格も上がるだろうが小幅と思う。価格が上がれば生産を再開する業者が出てくる」と石秘書長は冷静にみる。その見方を裏付けつつある産業がある。鉄鋼業だ▼春から上がり続けてきた鋼材市況が9月に失速している。急騰後の調整や先物取引の影響が指摘されるが、根本原因は過剰生産。粗鋼能力の削減目標は1億㌧強と需給ギャップの約4分の1。人員合理化など改革の痛みを抑えるためとみられるが、効果を得るには追加の削減が必要のようだ。

建材管グループ
ZAM® 在庫
1) 「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
2) 「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn−アルミニウムAl−マグネシウムMgを合金めっき鋼板の商品名です。
麻布成形株式会社
ISO9001/14001 認証取得
TEL 047-353-9100
http://www.az-azabu.com

工場・倉庫などの古くなった屋根、そのままになっていませんか?
経年劣化した屋根・壁面を再生し 遮熱 耐久性 を向上する
OSクール工法
OSクール工法とは…
古くなった屋根・壁面を、張り替えやカバー工法とは違い、そのまま補修・再生する新時代の塗装工法です。
施工前
施工後
優れた特徴 1 遮熱効果
抜群の遮熱・断熱効果により作業環境が快適に。
エアコン等空調経費の大幅節減が可能!!
優れた特徴 2 耐久性の再生向上
屋根の強度を再生し耐久性が向上。
メンテナンスを含むトータルコストの節減
さらにうれしい 3つのあんしん
安心の当社責任施工
安心の10年間保証
安心のメンテナンスフリー
OSクール工法による
快適な作業環境と、省エネルギーの経済性を。
一度施工されたお客様からは、喜びの声と共に、新たなご依頼が続々と届いています。
SATOSHOJI 佐藤商事株式会社 ▶お問い合わせは… 営業開発部
TEL:03-5218-5340 FAX:03-3286-1323
〒100-8285 東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館16階
http://www.satoshoji.co.jp

ＪＦＥエンジ

廃棄物発電 イランで調査受託

日本企業初 プラント受注視野

ＪＦＥエンジニアリング（狩野久宣社長）は20日、日本貿易振興機構（ＪＥＴＲＯ）から、「イラン国テヘラン市における廃棄物焼却発電施設の導入」に関する「我が国企業の技術を活用したインフラ案件発掘・市場性調査」を受託したと発表した。イランの廃棄物発電分野において、日本企業で初の取り組みとなる。受託金額は約1800万円で、期間は16年9月から17年3月まで。ＪＦＥエンジでは今回の調査受託を通じて、日本企業初の廃棄物発電プラント受注を目指す。

テヘラン市では現在、1日あたり8000㌧を超える都市ごみが発生。経済発展に伴い、今後もさらに増加すると見られる。その一方で、同市では発生した都市ごみを最終処分場に直接埋め立てしており、最終処分場の逼迫と環境汚染が深刻な問題となっている。

同国の内務省は15―20年の廃棄物管理5カ年基本戦略で、20年のごみ排出量を15年比で10％削減する政策を掲げている。一方、13年にはごみ焼却発電に関するＦＩＴを導入（買い取り価格は1キロワット時あたり19円）するなど、ごみ問題の解決に注力。同国エンジメーカーの動きも出ており、国内企業のＴＴＳグループでは廃棄物発電プラント（1日あたりのごみ処理量200㌧、発電量3メガワット時）をテヘラン市南部に建設し、15年から稼働を開始しているようだ。

ＪＦＥエンジは、電力不足にも悩むテヘラン市の現状を踏まえ、廃棄物発電プラントの導入を検討する。具体的には都市ごみと、現地で深刻な課題となっている医療系廃棄物の適正処理について、現地関係者の協力を受けて、現状を調査・分析する。これをベースに、同社が豊富な実績を有する廃棄物発電の最適な処理プロセス選定などを行うもの。調査では、ＪＦＥエンジが14年に買収した独スタンダードケッセル・パワーシステムズＨＤ社傘下で廃棄物発電プラントを手掛けるバウムガルテ・ボイラ・システムズ社と協業する。

ＪＦＥエンジは経済制裁解除を受けて、さらなる経済発展が見込まれるイランにおいて、廃棄物発電や水処理等の都市インフラ整備に貢献していく方針。ＪＦＥエンジの海外事業における受注金額は15年度で300億円、これを17年度で1000億円に引き上げる目標に向けて取り組んでいる。

鉄スクラップ国内消費量

2カ月連続増325万㌧ 7月、転炉鋼が2割増加

日本鉄源協会の資料によると、7月の国内鉄スクラップ消費量は324万8000㌧で前年同月比1・9％増と2カ月連続増となった。内訳は転炉鋼で82万9000㌧の同18・9％増、電炉鋼で195万9000㌧の同1・2％減、鋳物用などで41万1000㌧の同8・7％減など。

粗鋼1トン当たりの鉄スクラップ消費量（鉄くず原単位）は転炉鋼で117・4キロ、電炉鋼で1023・6キロとなった。

電炉鋼での消費は2014年12月以来20カ月連続の前年同月比マイナス。夏季減産が始まった季節要因で前月比6・0％減と3カ月ぶりマイナスの水準となった。一方、転炉鋼消費は4カ月連続前年同月比プラス。高炉製品の輸出堅調や、鉄スクラップの低価格により一部高炉メーカーが市中の上級スクラップ購入量を拡大した影響とみられる。

国内供給量については、318万9000㌧で前年同月比6・7％減の2カ月連続減。内訳は自家発生が107万7000㌧で同4・2％減、国内市中が211万2000㌧で同8・0％減。市中発生量は2カ月連続の前年同月比減。2カ月前の5月が19カ月ぶり増となったものの、発生は低迷している。

小野建

新拠点、大阪に根を下ろす 堺で見学会 700人出席

小野・小野建社長

小野建（小野建社長）の堺スチールセンター新倉庫と三協則武鋼業新工場の竣工披露・現地見学会が16日、開催され、取引先など約700人が出席した。

小野建の堺スチールセンター新倉庫は昨年完成し、稼働を開始。堺スチールセンターは新倉庫を含め、2棟合計で建築面積約2万7400平方㍍。足もとの保有在庫は約3万㌧で、月間出荷量は約1万㌧。同社の関西・東海・北陸・中四国・沖縄エリアの中核物流拠点として稼働している。

加工設備もドリルマシン（CSDⅢ1050）1基、バンドソーマシン（GT7010CNC＝2基、STⅡ4565＝1基）、開先加工機（KH1050・KHR1050）2基、切断・孔あけ複合機（DB3C5030）を導入し、充実を図っている。

三協則武鋼業の新工場は今年5月に移転、稼働し、最新鋭のレベラー2基とシャーリングマシン計10台の設備体制。ジャンボレベラー（対応板厚3・2―16・0㍉）も本格稼働を開始した。

竣工披露パーティーであいさつに立った小野建社長は「大阪に出たのは35年ほど前で、この地には思い入れがある。私は岸壁が好きで、船の着くところに倉庫を持つのが夢だった。小野建村構想ではないが、ここを小野建と三協則武鋼業の拠点として、メーカーさん、流通さん、ユーザーさんのお役に立ち、大阪に根を下ろして鉄鋼業界のために頑張っていこうとの思いで、今日の日を迎えられて感謝している。まだまだひよっこだが、あと5年、10年先にはもっと皆さんのお役に立てる会社になると確信しているので、よろしくお願いします」と述べた。

北・三協則武鋼業社長

三協則武鋼業の北眞一郎社長は「熱延系のコイルセンターで、同一敷地内でレベラーとシャーリングができる関西唯一のコイルセンター。加えて隣接地に鋼材のデパートである小野建の堺スチールセンターの大型鋼材ストックヤードのある場所に移転した。このような特性をご理解いただき、一段のご利用をお願いしたい。ただ特性に頼るのではなく、社員一人ひとりの対応力を武器に、常にオリジナルな価値を提供し、お客様から選ばれる存在感ある会社を目指したい」と述べた。

来賓祝辞としてＪＦＥスチールの川真一常務執行役員大阪支社長が「関西地区の市場環境は今ひとつだが、日本全体で見ると先行き堅調との見通しもある。しっかりと生き残り、来るべき需要に応えることが大事。両社も新しい武器を手にして、ますます強く発展されることを期待したい」と述べた。

乾杯の音頭をＪＦＥ条鋼の井澤信之常務執行役員が取った。中締めのあいさつを小野建の小野剛代表取締役副社長兼大阪支店長が行った。

新倉庫・新工場の見学会が行われた

社史・団体史の発行をお考えですか？
個人史・書籍・単行本・記念誌・新聞・会社案内・カタログ・マニュアルなど ご要望にお応えし、編集製作・印刷をお引き受けします。
お問い合わせ先 株式会社 産業新聞社 東京本社 TEL(03)5566-8777 大阪本社 TEL(06)6443-8551

ＪＦＥエンジ・ムーンライトフェスタ

過去最高、1800人参加

狩野社長「実りある下期に」

ＪＦＥエンジニアリング（狩野久宣社長）は16日夕方、横浜本社（横浜市鶴見区）の中庭で、恒例の「ムーンライトフェスタ2016」を催し、同社幹部や社員など過去最高となる約1800人が参加した。

関東では当日までぐずついた天気が続いていたものの、開催直前には鶴見上空の雨雲が去り、薄く夕日が差す場面もみられ、すべてのイベントが予定どおり行われた。

インドネシアのろうけつ染め布地・バティックによるシャツを着用して登場した狩野社長は「皆さんの熱気が雨を吹き飛ばした。今日は大安吉日の十六夜で、雲の向こうには満月があると思う。本年も500人以上の新しい仲間がグループに加わり、新入社員がフェスタの司会進行、企画を担ってくれた。変化に柔軟に対応できる会社、新しい価値を見出せる会社を皆さんの頑張りで実現できる。一番大事なのはコミュニケーション、風通しであり、今日は楽しんでもらいたい。今期は計画している連結売上高4500億円、経常利益250億円、受注高5000億円が完全にオンラインに乗っている。実りの下期にするよう、頑張って挑戦してもらいたい」とあいさつし、乾杯。

乾杯する狩野社長

新入社員によるパフォーマンスで大盛り上がり

このあと2016年度新入社員によるパフォーマンス、ＪＦＥスペシャルビッグバンドによる演奏等のイベントで会場は大いに盛り上がり、最高級ジンギスカン、東北の秋刀魚など全国から集めてきた特産品に舌鼓。最後は吉田佳司副社長が中締めを行った。

武鋼吸収し「宝武鋼鉄」へ

宝鋼集団

【上海支局】「宝鋼集団が武鋼集団を吸収合併し、宝武鋼鉄集団となる」。国務院国有資産監督管理委員会が8月最終週に両社の合併方案を認め、9月初めに国務院に報告したと中国メディアの財新網が18日に報じた。合併会社は月内に誕生する見通し。武鋼集団は合併会社の子会社となり、社名を武鋼新産業発展公司に変更する。

国務院発信の情報はみられず、出所は財新網のみ。信憑性は不確かだが、年内の合併発表が予想されてきたことから財新網の報道を多くのメディアが伝えた。

東鉄10月販価 流通の反応

東京

輸入材けん制も

鋼板

薄板扱い筋は「値上げに取り組んでいる時にムードを打ち消すような動きだ」と憤る声が多かったが中には「今の環境では輸入鋼材が値下げを打ち出す可能性もある。先に手を打ったのでは」と冷静な見方も聞かれた。

厚板扱い筋では販価引き下げについて「市場環境が好転しない中、他鋼種も含め値下げ幅が大きい」と想定外とする見方が多い。スクラップ価格の持ち直し、需要回復の兆しも見えていたが「値下げしても売れる状況ではない」と様子見の姿勢にある。

下げ要求応じない

条鋼

東京製鉄が店売り向け形鋼類の10月契約の発表価格をトン7000円引き下げたことについて、関係者らは「荷動き好転の兆しが見えているなかで、下げるとは思わなかった」との反応を示した。

販売先からの下げ圧力拡大の懸念が広がっている。ただ、今回は市中価格との乖離は正の意味合いが強いため「下げ要求には応じず、発表について丁寧な説明をしていきたい」（形鋼流通幹部）とし、流通側は価格堅持する方針だ。

大阪

淡々と受け止め

鋼板

地区の鋼板流通では「値下げは予想外」との反応が出ている。薄板に関しては高炉メーカーの値上げに伴い、流通・コイルセンターの仕入れ価格は上昇してきている。各社各様だが早い段階で価格転嫁を図りたい意向からすると「このタイミングというのは好ましくない（コイルセンター）。ただし市況の流れ自体は変わらないとも見られており、「（発表内容通り）マーケットの実態に合わせたのだろう」と、淡々と受け止める向きもある。

戸惑い隠せず

条鋼

東京製鉄の2016年10月販価発表について、地区の条鋼流通関係者からは予想外とのとの感想が大勢を占めた。

値下げ発表について、市中からは「実勢価格とのかい離の修正だろうが、このタイミングでの下げは戸惑う」「次月に上げるための修正ではないか」などの声が聞かれた。

市況への影響については、流通にこれ以上下げしろがないため、最小限にとどまり、値崩れしないとの見方が多かった。

新社長登場 New President

高いハードルに挑戦

ニホンケミカル 石田 雅裕氏

鋼材のショットブラスト・プライマー加工などを手掛けるニホンケミカルの社長に8月30日付で就任した「村上眞二会長（前社長）のやってきたことを踏襲しつつ、会社が継続、発展できるように頑張っていきたい」と抱負を語る。

同日付で代表権を持つ専務に就いた原田敦夫氏と同じ村上正司取締役相談役の娘婿で、村上会長の甥に当たる。石田社長は営業を、本社工場長を兼務する原田専務は製造をそれぞれ担当。両氏とも30代で、大きく若返った経営陣を村上会長がバックアップし、3人で経営の舵を取る。来春の創業50周年を前に、新体制を整えた。「まだまだ経験が浅いため、焦らずカラ回りしないように努める。5―6年先には原田専務とともに本当の意味で『一人立ち』したい」と話す。

当面の目標は5年後の売上高30億円達成。同社の2016年6月期の売上高は約27億円、材料販売などを除いた純粋な賃加工で10％以上の引き上げを図るのは容易ではないが「上を向いて足掻いていかなければ、現状維持に甘んじてしまう」と敢えて高いハードルにチャレンジする。顧客からの要望に真摯に向き合い、それに応えることで成長してきた伝統を守りながら「鉄」に関連した新たな事業分野を開拓したい考えだ。

（月森　七海）

▽石田雅裕（いしだ・まさひろ）氏＝2003年大阪工業大学工学部卒、尾道造船入社。05年ニホンケミカル入社、14年取締役。16年5月より関連会社の泉北スチールセンター社長兼務。本社工場のステンレス鋼管内面処理ライン（SUS管内面ショットライン）の立ち上げをゼロから担当「生みの苦しみを経験し、大きく成長できた」と振り返る。趣味はランニング。週2日程度のペースで走り、マラソン大会にも出場するが「フルマラソンは仕事に響くので参加はハーフに抑えている」。好きな言葉は「一所懸命」。79年8月28日生まれ、大阪府出身。

日刊産業新聞 16.9.21

岸和田製鋼

取引先懇親会に関係者120人参集

鞠子社長

金光・金光商店社長

岸和田製鋼は先週17日に岸和田市内で取引先懇親会を開催し、商社や特約店、金属スクラップ企業など関係者約120人が出席した。

主催者を代表してあいさつに立った鞠子重孝社長は「ご参集いただいている皆さまとの出会いを通じ、これからもお互いの信頼関係を育てながらwin―winの形で発展していきたい」と呼びかけた。

鉄スクラップを納入する金属リサイクル関連企業からは金光善雄・金光商店社長があいさつに立ち、「今年12月に岸和田製鋼さんは60周年を迎える。70年、80年、90年、そして100年と進んで行かれる。弊社も鉄スクラップの安定納入や品質管理に努め、長く取引させていただければ」と述べた。

懇親会は当日行われたたんじり祭りの熱気さながらに参加者の談笑の声であふれ、盛会のうちに散会した。

新聞記事の複製許諾は本社IT事業局へご相談を
新聞記事は著作権法で保護されています。著作権者の許諾を得ていないコピー、パソコンへのデータ取り込みなどは違法となります。業務上、コピーや記事のクリッピングが必要な場合は、大阪本社IT事業局☎06（6443）8550にご相談下さい。

自民党・橋本議員も参加

ＪＦＥエンジニアリングのムーンライトフェスタ2016に、自由民主党の橋本聖子・参議院議員が出席した。橋本氏は北海道出身で農林水産業を振興し、農産物の付加価値を高め、所得確保に繋がる加工・産直事業、グリーンツーリズムを推進する立場から、ＪＦＥエンジのスマートアグリ事業に関心を持つ。橋本氏は2014年3月にＪファーム苫小牧工場の着工式典に出席。また、15年11月には自民党の石破茂・衆議院議員がＪファームを視察した際（当時は地方創生担当大臣）に同席した経緯があり、今回、ＪＦＥエンジがフェスタに招待し、出席したもの。

あいさつする橋本議員

橋本氏は「あの雨が今あがり、狩野社長をはじめ、社員の方々の普段の行いによるものと申し上げたところ、岸本純幸（きしもと・すみゆき）・相談役、すーさんから『いや俺の行いが良いのだ』と説明を受けた。すーさんは同じ北海道生まれ、北海道育ちということで、ご縁を戴き、ご指導を頂戴している。北海道出身で平昌冬季五輪を目指しているスピードスケートの歸山麻衣（きやま・まい）選手はＪＦＥエンジニアリングの社員。是非応援してもらいたい」と時折、ジョークを交えながらあいさつ。

構造用鋼管ITC 445億円で買収

米ニューコア

米鉄鋼大手のニューコアは19日、構造用鋼管製造の米インディペンデンス・チューブ（ITC）を4億3500万㌦（445億円）で買収することで合意したと発表した。ニューコアはミシシッピ州の工場に大径管設備を導入しており、ITCとの相乗効果を狙う。

ITCは米イリノイ州、アラバマ州で年間60万ネットトンの製品を生産している。従業員は約335人。熱延コイルを調達し、構造用管に加工している。2つの工場はニューコアのアラバマ、インディアナ、ケンタッキー各州の薄板工場に近い。

また、総勢600人を超えたリオオリンピック選手団の団長を務めた橋本氏は「選手の頑張りで41個という史上最多のメダルを獲ることができた。2020年に東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるため、リオの成績が重要になる。団長は3回目だが、今回ほど選手団の心が1つになったオリンピックは無く、選手たちの人間力を見せてもらった。東京オリンピックではスポーツがそれぞれの分野と連携し、素晴らしい日本のクールジャパン構想を作り上げていきたい」と決意を表明し、ＪＦＥエンジグループ社員にも理解と協力を求めた。

役員人事

大阪製鉄

（9月30日付）

【役員の職掌変更】

▽取締役、西日本熊本工場長、西日本熊本工場リサイクル事業推進部長委嘱、西日本熊本工場技術管理課長「事務取扱」西鋼物流代表取締役社長委嘱（取締役、購買、外注管理部部長、生産技術部部長、商品企画部部長委嘱、社長特命事項管掌）藤田和夫

※西鋼物流代表取締役社長については、西鋼物流の臨時株主総会終結後「9月30日開催予定」正式決定

【重要な使用人の異動】

▽上級執行役員、大阪新運輸代表取締役社長委嘱（上級執行役員、西日本熊本工場長、西日本熊本工場リサイクル事業推進部長委嘱、西日本熊本工場技術管理課長「事務取扱」リサイクル事業推進に関する事項について樫尾常務を補佐）

※大阪新運輸代表取締役社長については、大阪新運輸臨時株主総会終結後「9月30日開催予定」正式決定

▽顧問、大阪新運輸取締役、西鋼物流監査役「非常勤」参与、大阪新運輸代表取締役社長、西鋼物流監査役「非常勤」倉岡雄二

▽参与、西日本熊本工場部長、営業部部長、国際企画部部長兼務、西鋼物流取締役（参与、西日本熊本工場部長、営業部部長、国際企画部部長兼務、西鋼物流代表取締役社長）山形寛幸

（以下続報）

日刊産業新聞ネット版 http://www.japanmetal.com

越ホアファット

16年粗鋼製販最高200万トン

能力増強、フル操業継続

ベトナム鉄鋼メーカー民間最大手のホアファットグループは、2016年粗鋼生産・販売量が過去最高の約200万トンに達する見通し。新第3ミニ高炉の立ち上げなどで生産能力を増強。建設用鋼材需要の増加する中、同社ではフル操業を続けており、ベトナム鋼材市場でのトップシェアを堅持する。

ホアファットグループ民間最大手の鉄鋼メーカーで鉄筋や線材など条鋼類を主力に、鋼管のほか家具、冷蔵装置、建設機器、不動産や家畜飼料の卸売などを展開。ベトナムの建設用鋼材市場で約2割のトップシェアを持つ。

ホアファットグループの鉄鋼部門はホアファットスチールJSC（HPS. JSC）、ホアファットスチール（HPSI）の2社が中心で、生産能力はHPS. JSCがミニ高炉3基と圧延3ラインでともに年間170万トン、HPSIが誘導炉、電気炉と圧延ライン一式で年間30万トンの計200万トン。

生産品種は異形棒鋼・線材で内訳は異形棒鋼80%、線材20%。生産サイズは異形棒鋼がD8―55サイズ、線材は5・5㍉―12㍉のほか最大14㍉までの生産が可能という。

ボンデ鋼板・亜鉛鉄板
西山鋼業株式会社
本社／東京都荒川区荒川5-18-4
☎(03)3892―1111（代表）
営業所／横浜・足立 工場／浦安・鷲宮・横浜・福島
配送所／足立・鶴見

鉄連JK活動発表大会

最優秀賞に愛知製鋼・刈谷

日本鉄鋼連盟は20日、「第78回自主管理活動（JK）発表大会」の開催結果を発表し、最優秀賞には愛知製鋼・刈谷工場（のびのびグループ）が選ばれた。大会はIE・JK専門委員会（委員長＝中村学・神戸製鋼所人事労政部長）が15、16日に横浜市中区のかながわ労働プラザで開催。大会統一スローガン「熱き挑戦 楽しき実践 みんなで拓く夢の実現」を掲げ、約380人が参加、52件のテーマで事例発表が行われた。

感動賞では、新日鉄住金・製鋼所（溶解ウォッチグループ）、中山製鋼所・製鋼工場（連鋳C班グループ）、トピー工業・綾瀬製造所（愉快な仲間達グループ）、中部鋼鈑・圧延工場（アナリストグループ）を選出。優秀発表賞は神戸製鋼所・加古川製鉄所（大谷・田淵合同グループ）、大同特殊鋼・知多型鍛造工場（Qインチグループ）、大同特殊鋼・粉末工場（みじんこグループ）、神戸製鋼所・神戸製鉄所（神吉QCグループ）が受賞した。またすべての発表に発表賞を贈った。

鉄鋼などの自主管理活動はJK活動と呼ばれ、グループ活動としての取組みテーマは安全衛生、環境保全、コスト削減、能率改善、品質の維持・向上など多岐にわたる。大会では鉄鋼各社がこの1年間で取り組んだ多くの活動成果の中から選りすぐられた事例発表が行われた。

青山鋼鉄集団

福建省で新冷延工場起工

ステンレス 年産能力30万トン

新冷延工場起工式(出所：青山鋼鉄)

【上海支局】ステンレス世界最大手の青山鋼鉄集団は10日、新たに設立したステンレス冷延合弁会社の工場建設の起工式を福建省福安市で開催した。年産能力30万トンで2017年10月末までに完成させる。総投資額10億元（約150億円）。合弁会社の青拓クルップ・ステンレスは国際競争力のある高品質の製品を生産し、年間40億元強の売上高を目指す。14日に青山鋼鉄集団が発表した。

青鋼集団傘下の青拓集団と陸家嘴集団の合弁。宝鋼集団と欧州オウトクンプの合弁会社で両社が15年に売却し閉鎖していた上海クルップ・ステンレス（上海市）の冷延設備を青拓クルップに移転する。オウトクンプは上海クルップの株式を陸家嘴集団にすでに売却し、16年5月に青拓集団と陸家嘴集団の間で設備の移転を決めた。式典に青鋼集団の項光達董事長、青拓集団の姜海洪董事長、青拓クルップの田輝棟董事長らが出席した。

青鋼集団は福安市に原料のニッケル銑鉄の製造から製鋼、圧延までの一貫工場を構える。近年、自社の冷延工場に加え、冷延専業メーカーと合弁で冷延工場を建設するプロジェクトを具体化。製造品種を300系と400系中心にシフトし、収益力を高める。インドネシアと米国、中東にも製造拠点を建設し年産1000万トンと現状の倍近くに能力を増やす計画を進める。

日本精工

墨にAT向け新工場

20億円投資、17年夏稼働

メキシコで生産するAT向け製品

ベアリング（軸受）国内最大手の日本精工は20日、持分法適用会社であるNSKワーナー（本社＝静岡県袋井市、桑城栄社長、NWC）がメキシコで自動車用自動変速機（AT）向けの工場を新設すると発表した。約20億円を投じ現地生産を通じてAT需要を捉える。2017年7月の操業開始を目指す。

NWCがメキシコに開設する工場は「NSKワーナー・メキシコ社」。自動車用AT製品であるクラッチアッセンブリーを生産する。同国のグアナファト州シラオ市に建設し、広さは敷地面積約5万平方㍍、建屋約1万平方㍍の規模となる予定。従業員数は19年までに約120人の採用を計画している。

NWCは、日本、中国、インドネシアの3拠点に生産工場を保有し、米国に販売子会社を展開。自動車用ATの滑らかで高効率な変速を支える製品をグローバルに供給している。

北米で自動車市場が拡大するなか、自動車用ATの需要も高まっている。自動車の低燃費化に向けて、AT技術も進化しNWCの製品需要が増加していることから、現地生産化によるコスト競争力の追求と納期短縮のため、メキシコでの工場新設を決めた。日本精工グループは、今回の新工場設立で、自動車事業のグローバル化拡大を図る方針。

村田和夫・佐藤商事会長

利他から互助へ願う

一期一会の会に144人

佐藤商事は16日、取引先企業の親睦の集いである第15回「一期一会の会」懇親会を東京・丸の内のパレスホテル東京で開催し、全国から72社総勢144人が出席して盛大に催した。発起人である佐藤商事の音羽正利・取締役専務執行役員は「2007年に弊社の村田（会長）が名付け親となり20社で発足した会も来年1月で丸10年となる。会員数も89社となった」と振り返りながら出席者に謝意を表明。会則も会費もない純粋な人脈づくりの場が大きな広がりを見せていることに感激したようすであいさつした。

村田会長

音羽専務に続いて登壇した村田和夫会長は「この会は設計会社、ゼネコン、鉄鋼メーカー、商用車メーカー各社がスタート時からバックボーンとなり応援していただいている」とし「人のための〝利他の精神〟がみんなの心に中にある。そして一期一会の先には〝互助〟があると思う。皆さんでそれに向かって進み盛り上げていこう」と呼びかけた。

乾杯では、いすゞ自動車販売の葛野正彦副社長が「閉塞感のある今日だが、異業種間で情報交換しコミュニケーションの輪を広げていくことは大切で企業経営にとっても重要になる」とし、一期一会の会の更なる発展を願って杯を上げた。

磯部任・アマダホールディングス社長

社員と共に必ず成長を約束

磯部社長

「きょうから次の100周年に向けた成長戦略をスタートする。式典での感動を胸に刻み、世界8000人のアマダグループ社員と一緒になって、必ず成長することを約束する」と力強く語ったのはアマダホールディングスの磯部任社長だ。

先週16日。アマダホールディングスは創業70周年記念の式典を都内で開いた。戦後の焼け野原の都内で、旋盤1台から事業をスタートさせたが、現在は世界でグループ会社約80社、従業員8000人、連結売上高3000億円を超えるまでに成長した。式典当日は取引先など関係者600人が集まり、経済産業省の糟谷敏秀・製造産業局長、東原敏昭・日立製作所社長兼CEO、寺町彰博・THK社長、花木義麿・日本工作機械工業会会長（オークマ社長）なども駆け付け、祝辞を述べた。

また「変革と挑戦」と題した記念誌も発刊。この中で、アマダホールディングスの岡本満夫会長兼CEOは「お客さまとともに発展してきたアマダグループは、常にお客様にとって最適なものを考え抜き、時代の要求に合わせて〝変革〟してきた企業であり、〝挑戦〟を続けてきた」と述べている。

佐伯・新日鉄住金副社長（中央）と岡本・アマダHD会長（右隣）

杉本グループ

義恩情交歓の会開催

関係者700人参集

杉本社長

スギモトホールディングス（本社＝東京都足立区、杉本義幸社長）を持ち株会社とする杉本グループは17日、東京・紀尾井町のホテルニューオータニで「第38回杉本グループ義恩情交歓の会」を開いた。取引先や関係者など約700人の招待客を前にあいさつに立った杉本社長は「年初から都政や国政の賑やかな状態が続いているが、オリンピック、パラリンピックでは日本の若いアスリートたちが立派な成績を上げ、国内経済、景気についても一時的かも知れないが良い効果になっているのではないか。国家主導のナショナリズムは短期的には良いことと思うが、わが国周辺あるいは世界で辺境的で大衆迎合的なナショナリズムを先導する国家があることを懸念している。本日は講演会などコンサートなど予定しており、多少なりとも心癒される場となれば」と日頃からの感謝を述べた。

講演会では宮家邦彦・キヤノングローバル戦略研究所研究主幹を講師に迎え、アトラクションではヴァイオリニストの千住真理子氏のコンサートが行われた。

16年度鋼構造研究教育助成事業

鉄連、29日に研究発表会

日本鉄鋼連盟は29日に東京・茅場町の鉄鋼会館で「2016年度鋼構造研究・教育助成事業」研究発表会を開く。建築部門（午前10時10分から801会議室）では助成研究報告18件（うち9件は14年度からの継続研究）、土木部門（午前9時50分から701会議室）では助成研究報告20件（うち9件は14年度からの継続研究）の成果発表を予定している。

鉄連は、社会基盤を支える土木・建築分野の鋼構造に関する研究・教育の活性化と鋼構造の健全な普及促進を目的に、1995年度以降国内の研究・教育機関などの研究者を助成する鋼構造研究・教育助成事業を実施している。

Sダイナミクス

1株当たり利益 0・63―0・67ドル 7―9月

米電炉大手のスチール・ダイナミクスは19日、7―9月の1株当たり利益が0・63―0・67ドルの見込みと発表した。純利益で1億4197万ドル（約146億円）だった4―6月の1株0・58ドル、前年同期の0・25ドルを上回る。4―6月に比べた鋼材価格上昇が鉄スクラップコスト上昇を上回り、収益が改善する。

9月末を基準とした四半期配当は1株0・14ドルと6月末並み。

子会社の事業を譲受

渡辺パイプ

管工機材流通大手の渡辺パイプ（本社＝東京都中央区、渡辺元社長）はこのほど、水と住まいの事業部傘下の子会社であるケンパンが解散したことを受け、同社の事業すべてを譲り受けた。これに伴い、ケンパンを渡辺パイプ・佐賀住設チームに改め営業を展開する。

佐賀住設チームの所在地や連絡先は以下の通り。

▽住所＝〒849―0926 佐賀県佐賀市若宮2―14―15（旧ケンパン本社）

▽電話番号＝0952―36―8066

▽FAX番号＝0952―36―9055

回収効率と経済性向上を目指す

資源リサイクル ①

循環型社会の実現に向け、容器包装、家電、自動車など個別製品のリサイクル法の整備が進められてきた。2013年に小型家電リサイクル法が施行されたが、効率の高い小型家電の回収やリサイクルシステムを構築するため、新たな仕組みが検討された。今回はさまざまな製品や資源における、リサイクルの取組みについて紹介する。

循環型社会形成に向けた法整備

経済の成長や人口増加に伴い、全世界の廃棄物の発生量は増大している。一例として、「世界の廃棄物発生量の推計と将来予測2011改訂版」（2011年、廃棄物工学研究所）によると、2050年には、世界の廃棄物発生量は2010年の2倍以上に達するとの見通しが発表されている。

日本では高度経済成長以降、廃棄物対策について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）の改正などにより対策が講じられてきた。それにもかかわらず、廃棄物の発生量が依然として膨大であること、廃棄物最終処分場の確保が困難であること、不法投棄が増大していること、などの問題は深刻化するばかりであった。

この問題の根本的な解決を目指し、「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会から脱却し、環境への負荷が少ない「循環型社会」の形成を目指すという方針が打ち出された。そしてこのための基本的な枠組みを定めた法律として、2000年に循環型社会形成推進基本法（以下、循環基本法）が制定された（図1）。

循環基本法の中では、「廃棄物を排出するものがその適正処理に関する責任を負うべきである」という排出者責任や、「生産者が製品の生産・使用段階だけでなく、廃棄・リサイクル段階まで一定の責任を負うべきである」という拡大生産者責任という、これまでになかった理念が盛り込まれ、その後の廃棄物・リサイクル対策の基本的な理念となっている。

小型家電から有用金属を効率よく回収する

循環基本法に基づいてさまざまな施策の推進を図るため、2003年に循環型社会形成推進基本計画（第一次）が策定され、2008年に第二次計画、2013年に第三次計画が策定されている。このうち第三次計画では、これまでに盛り込まれた廃棄物の「量」に着目した施策に加え、循環の「質」に着目したことが大きな特徴である。具体的には、

1　リサイクルに比べ取組が遅れているリデュース・リユースの取組強化

2　有用金属の回収

3　安心・安全の取組強化

4　3R*国際協力の推進

等が新たな政策の柱となっている。

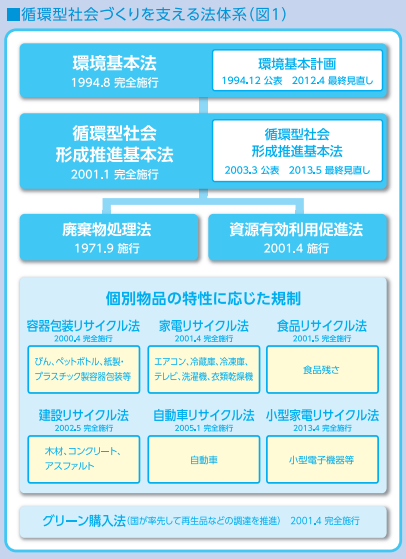
このなかでも、レアメタルなどの有用金属の回収、資源確保は難しい課題であり、その解決策が各方面で模索されている。

私たちの身近にある携帯電話やパソコンなどの小型電気電子機器には多くの有用金属が含まれている。じつは、これまで世界中で採掘されてすでに地上にある資源量（地上資源）と、今後採掘が予想される地下の埋蔵量（地下資源）を比較すると、金や銀では、地上にある資源量の方が多くなっているといわれている（図2）。地下資源の価格は、年々高騰する傾向にある。しかし、これまで回収やリサイクルはほとんど行われてこなかった。その最大の理由は「経済的に見合わない」ということである。

日本のリサイクル法制の歴史

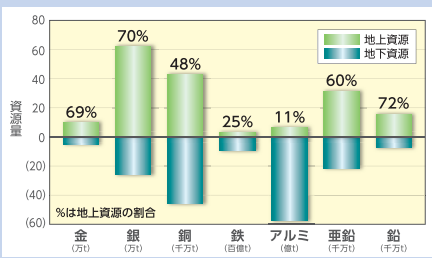
1993年、環境の保全を目的とする環境基本法が制定された。この基本理念にのっとり、とくに物質循環の確保等による循環型社会の形成のための施策を推進しようとするのが循環基本法である。その他に、容器包装、家電など個別物品の特性に応じたリサイクル法が制定されてきた。

■循環型社会づくりを支える法体系（図1）



（環境省「第3次循環型社会形成推進基本計画」パンフレットを基に作成）

■主な金属の地上資源と地下資源の推定量（図2）



すでに世界全体で採掘した資源量（地上資源）と、今後採掘が想定される鉱山の埋蔵量（地下資源）を比較すると、金や銀は地上資源の方が多くなっている。

（物質・材料研究機構資料を基に作成）

経済的に見合うためには、効率の良いリサイクルをすることが必要である。回収される使用済み小型家電製品中に回収したい資源物質が多く含まれていれば回収効率は上がるが、含まれる量が多い金属には鉄、アルミニウム、銅などがあり、その他はごくわずかな量しか含まれていない。そのため、これまで、使用済み小型家電製品は、不燃ごみや粗大ごみとして収集され、埋め立てられていた。

そのほかにも、供給国の偏在による供給不安リスク、最終処分場のひっ迫、廃棄物に含まれる鉛やヒ素などの有害物質の管理、などの問題が顕在化し、議論されてきた。

このような背景から、2013年に小型家電リサイクル法が施行された。小型家電に指定されるのは、携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、電子レンジ、電気掃除機、炊飯器など、28品目である。これらの中から、自治体が回収品目を選定して回収するが、回収方法は自治体が決めることになっている。自治体では、回収の後、国の認定事業者へ引き渡す。認定事業者は中間処理と金属回収を行う。

*3R：リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の総称。

日本鉄鋼協会「ふぇらむ」より

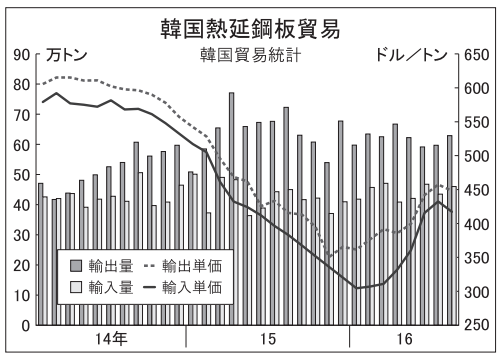
海外情報

Overseas infomation

韓・熱延鋼板

輸出前月比5.3%伸長

8月、日本向けなど増



韓国の8月の貿易統計によると、熱延鋼板の輸出量は前月比5・3%増の62万9000㌧と2カ月連続で伸びた。アンチダンピング（AD）の影響で対米は大きく減ったが、インド、日本向けなどが増えた。平均単価は2・0%安のトン448㌦（4万5800円）と4カ月ぶりに下がった。輸入は5・9%増の46万㌧と2カ月ぶりに増えた。中国製が増えた。平均単価は3・5%安のトン417㌦と7カ月ぶりに下がった。1―8月では単価が輸出で13%、輸入で19%下がった。

8月の輸出は米国向けが11万㌧と前月比31・7%減った。日本向けは9万3000㌧と39・7%増、インド向けは9万㌧と40・8%増、ベトナム向けは6万9000㌧と3・5%増だった。単価は米国向けがトン514㌦と1・1%高、対日は410㌦と1・9%安、対印は363㌦と6・9%安、対越は422㌦と8・7%高だった。

8月の輸入は日本製で23万5000㌧と前月比4・9%減った。中国製は18万9000㌧と10・5%増えた。単価は日本製でトン439㌦と0・6%安、中国製は389㌦と6・7%安だった。

1―8月では輸出が496万4000㌧と前年同期比5・4%減少した。米国向けは79万3000㌧と5・5%増加した。インド向けは62万4000㌧と36・9%減、日本向けは62万3000㌧と7・8%増、ベトナム向けは61万7000㌧と10・6%増となった。平均単価はトン407㌦と12・9%下がった。

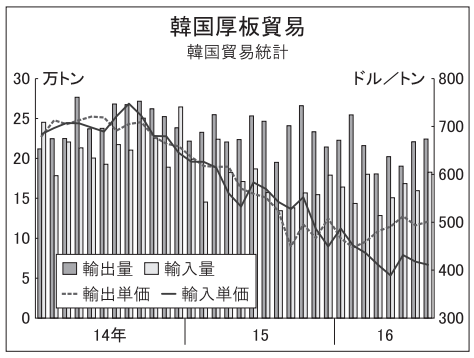
1―8月の輸入は353万8000㌧と前年同期比1・3%増えた。日本製は187万1000㌧と19・5%増、中国製は151万6000㌧と14・2%減だった。平均単価はトン361㌦と18・5%下がった。

平均単価、2%安448㌦

韓国

厚板輸出22万㌧にアップ

8月 輸入も14.5%増加



韓国の8月の貿易統計によると、厚板輸出は前月比1・6%増の22万4000㌧と2カ月連続で増えた。日本、米国向けなどが増えた。平均単価は1・6%高のトン502㌦（5万1300円）と2カ月ぶりに上がった。輸入量は14・5%増の18万3000㌧と2カ月ぶりに増えた。中国製、日本製が増えた。平均単価は1・5%安のトン411㌦と2カ月連続で下がった。1―8月では単価が輸出で18%、輸入で26%下がった。

8月の輸出は日本向けが5万2000㌧と前月比29・5%増えた。中国向けは3万6000㌧と10・2%減、米国向けは3万4000㌧と52・3%増、ベトナム向けは2万3000㌧と9・4%増だった。単価は対日がトン437㌦と1・4%高、対中が629㌦と9・0%高、対米が541㌦と3・3%高、対越は359㌦と20・2%安だった。

8月の輸入は中国製が11万6000㌧と13・3%増、日本製は6万6000㌧と15・8%増だった。単価は中国製がトン376㌦と0・1%安、日本製は455㌦と3・7%安だった。

1―8月の輸出は171万2000㌧と前年同期比7・4%減った。中国向けは31万5000㌧と20・7%増、日本向けは29万4000㌧と1・6%減、米国向けは27万7000㌧と42・1%増だった。平均単価はトン481㌦と18・1%安だった。

1―8月の輸入は127万8000㌧と前年同期比8・8%減った。中国製は81万8000㌧と2・1%減、日本製は43万9000㌧と20・0%減だった。平均単価はトン430㌦と26・4%下がった。

エサブ

新溶接システム発売

軽量コンパクト設計実現

溶接機器世界最大手のエサブは、新溶接システム「Rebel EMP 215ic」＝写真＝を今月発売した。同製品は、正確なマルチプロセスアーク性能や先駆的なインターフェースが特徴。

独特のsMIG（スマートミグ）機能により、金属厚さと溶接ワイヤの直径を設定するだけで安定したアークによるミグ溶接が可能。混合シールドガスの情報入力が不必要なことも、競合する設備との差別化になる。

Rebelは、溶接の難易度が高いE6010電極での優れたパフォーマンスを含めMIG溶接、TIG溶接、フラックス入りワイヤや被覆アーク溶接棒での溶接で産業用の性能を持ったアークを提供。初心者にとって容易な「ベーシック」と、多くの経験により要素を微調整できる「アドバンス」の2種類の操作モードを持つ。また、溶接要素の調整をスマートホンの機能と結合させる独特の操作ができる。

装着する溶接ワイヤスプールは直径100㍉―200㍉が受け入れ可能で、ワイヤ径は0・6㍉から1㍉が使用できる。主要電圧は230㍓から120㍓。同製品は重さ18㌔㌘、サイズは584㍉×229㍉×406㍉となっており、軽量なため持ち運び可能でコンパクト設計により置き場の自由度も確保する。

印タタ

4―6月純損失318億㌦

英事業整理損が主因

印鉄鋼大手のタタ製鉄はこのほど、4―6月期の連結純損益が318億3000万㌦（約500億円）の損失となったと発表した。英国事業の整理に伴う損失が重なった。前年同期は31億7000万㌦の赤字。EBITDA（金利・税金・償却前利益）は327億㌦と21%増。インドと欧州と東南アジアの主要3事業いずれも営業ベースの利益は改善した。

鋼材出荷量は541万㌧と前年同期比7%減り、売上高は2640億6000万㌦と5・8%減少した。税引前利益は108億㌦と1―3月期の23億4000万㌦の赤字から黒字化となった。英国の条鋼事業は売却を終えた。

インド事業は鋼材出荷量が214万㌧と前年同期比0・1%増え、このうち自動車向けは19%増加した。EBITDAは223億6000万㌦。

欧州事業は銑鉄生産量が268万㌧と前年同期比15・7%減。英国事業の生産が減った。EBITDAは85億6000万㌦と赤字だった前期から黒字に転換した。鋼材価格の上昇や英国事業のリストラが奏功した。

東南アジア事業はEBITDAが18億7000万㌦と前期比2・8倍、前年同期比5・6倍に増えた。鋼材価格上昇に加え、コスト削減が効いた。

台・中鴻鋼鉄

8月売上高16%上伸28億台湾㌦

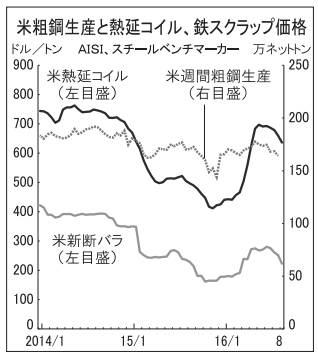
台湾の中鴻鋼鉄はこのほど、8月の売上高が27億8500万台湾㌦（約97億円）と前年同月比16・0%増え、2カ月ぶりに増加したと発表した。鋼材の販売量が増え、販売価格が上昇した。前月比4・9%増え、3カ月ぶりに増加した。

鋼材販売量は19万1046㌧と前年同月比4・9%増。前月比10・2%増え、5カ月ぶりに増加した。熱延鋼材の生産量は17万2563㌧と前年同月比2・3%増。前月比は9・5%増え、2カ月ぶりに増加した。

スチールベンチマーカー

米熱延コイル636㌦に下落

冷延も続落855㌦



米スチールベンチマーカーが発表した12日付相場によると、米国の熱延コイルはトン636㌦（6万5100円）と3週間で24㌦続落した。熱延コイルは中国で350㌦と、1㌦安ながら6月下旬以来の下げに転じた。世界の輸出市場では381㌦と5㌦続伸した。

中国の冷延コイルはトン442㌦と3週間で13㌦続伸した。厚板は1㌦安の337㌦と6月下旬以来の下げだった。鉄筋は4㌦安の312㌦と6月下旬以来の値下がり。

米国の冷延コイルはトン855㌦と3週間で20㌦続落した。厚板は3㌦高い645㌦と7月下旬以来の上げに転じた。輸出市場の冷延コイルは466㌦と6%上がった。

米国のシュレッダースクラップはトン214㌦と3週間で18㌦続落した。ナンバー1ヘビー製鋼用は14㌦安の199㌦と7月下旬以来の下げに転じ、3月下旬以来の200㌦割れ。ナンバー1新断バラは223㌦と29㌦続落した。

熱延市場追加値上げ織り込む

韓国

【鉄鋼金属新聞特約】韓国の熱延市場はメーカーの値上げ観測を受けた仮需で盛り上がっている。POSCOと現代製鉄がトン2万―3万㌫の値上げを実施するとみられており、流通段階の市況にも徐々に波及する見通し。輸入業者も販売価格を50万㌫レベルに上げている。

露製熱延鋼板AD措置を継続

米国際貿易委員会

米国際貿易委員会（ITC）は16日、ロシア製熱延鋼板輸入に対するアンチダンピング（AD）課税の措置後5年の見直し調査（サンセットレビュー）で、措置を撤廃すれば米業界の被害再発の恐れがあるとして継続を決めた。

新聞記事の複製許諾は本社IT事業局へご相談を
新聞記事は著作権法で保護されています。著作権者の許諾を得ていないコピー、パソコンへのデータ取り込みなどは違法となります。業務上、コピーや記事のクリッピングが必要な場合は、大阪本社IT事業局☎06（6443）8550にご相談下さい。

QRコード 日刊産業新聞携帯サイト http://www.japanmetal.com/m/

韓国の鉄鋼相場

【韓国金属新聞提供】9月14日―16日

韓国ウォン建て（単位ウォン/トン、1000㌔㌘）
為替レート＝100㌔㌘当たりTTS＝9.31円　TTB＝8.91円

条　鋼

製品名		規格(㎜)	基準価格	卸売価格	小売価格
形鋼					
◇山形鋼	韓国特殊形鋼	25×25×3	810	680	710
		30×30×3	810	680	710
	東国製鋼/韓国特殊形鋼	50×50×4～90×90×10	790	680	710
	現代製鉄	100×100×10	790	680	710
		130×130×9～150×150×15	790	680	710
		175×175×12～200×200×25	880	960	990
		250×250×25	880	960	990
◇溝形鋼	東国製鋼	75×40×5×7	790	680	710
		125×65×6×8	790	680	710
	韓国特殊形鋼	150×75×6.5×10	790	680	710
		150×75×6.5×10	790	680	710
		200×90×7.5×11.0	790	680	710
		200×90×8×13.5	790	680	710
	現代製鉄	300×90×9×13	860	940	990
		380×100×10.5×16	860	940	990
◇Ｉ形鋼	現代製鉄	200×100×7×10	850	950	980
		250×125×7.5×12.5	850	950	980
		300×150×10×18.5	850	950	980
◇Ｈ形鋼	現代製鉄	小型	840	660	680
		中型	840	660	680
		大型	915	725	780
◇軽量Ｈ(溶接)形鋼	ＨＡＰＩＳ	150×100×3.2×4.5	980	1,040	1,080
		200××100×3.2×4.6	980	1,040	1,080
異形棒鋼					
◇ハイパー鉄筋	現代製鉄	D10	575	520	530
（ＳＤ400）		D13	565	520	530
		D16～32	560	520	530
（ＳＤ500）		D10	605	535	555
		D13	595	535	555
		D16～32	600	535	555
◇コイル鉄筋	東国製鋼/韓国特殊形鋼	D10	615	625	635
（ＳＤ400）		D13	605	615	625
		D16～32	600	615	625
（ＳＤ500）	東国製鋼/韓国特殊形鋼	D10	645	655	665
		D13	635	645	655
		D16～32	630	640	650
プレーン鋼					
◇構造用鋼(ＳＳ41)	韓国特殊形鋼	12～60㎜	600	680	710
◇平鋼	〃	25×4.5～300×32	600	680	710
	東一鉄鋼	22～60	950	1045	1097

※基準価格：卸・小売価格は現金価格(付加価値税別)

鋼　板

製品名	メーカー	サイズ	卸売価格	小売価格
◇厚板	POSCO	10×8×20	530	580
(SS400)		20×8×20	500	550
		60×8×20	538	588
	現代製鉄	10×8×20	499	549
		20×8×20	490	540
		60×8×20	520	570
	東国製鋼	10×8×20	485	535
		20×8×20	485	535
		60×8×20	498	548
(SM490)	POSCO	10×8×20	610	660
		20×8×20	580	630
		60×8×20	618	668
	現代製鉄	15×8×20	579	629
		20×8×20	570	620
		60×8×20	600	650
	東国製鋼	15×8×20	565	615
		20×8×20	565	615
		60×8×20	574	624
(S45C)	POSCO	10×8×20	550	600
		20×8×20	520	570
		60×8×20	558	608
	現代製鉄	10×8×20	519	569
		20×8×20	510	560
		60×8×20	540	590
	東国製鋼	10×8×20	510	560
		20×8×20	510	560
		60×8×20	540	590
(GS400)	POSCO	10×8×20	480	530

※基準価格：シート、手形、基準卸売価格、小売価格：シート、現金、到着基準

製品名	メーカー	サイズ	卸売価格	小売価格
◇ホットコイル	POSCO	1.6×4×8	572	622
(SPHC)		4.5～6.0×4×8	552	602
		20×4×8	582	632
	現代製鉄	1.6×4×8	552	602
		4.5～6.0×4×8	532	582
		20×4×8	562	612
◇厚板	POSCO	1.6×4×8	570	620
(SS400)		4.5～6.0×4×8	550	600
		20×4×8	580	630
	現代製鉄	1.6×4×8	550	600
		4.5～6.0×4×8	530	580
		20×4×8	560	630
(GS400)	POSCO	4.5～6.0×4×8	520	570
◇コールドコイル	POSCO	0.2×4×8	800	850
(CQ)		1.0×4×8	700	750
		2.0×4×8	730	780
	現代製鉄	0.2×4×8	780	830
		1.0×4×8	680	730
		2.0×4×8	710	760

※基準価格：コイル、手形、基準卸売価格、小売価格：シート、現金、到着基準

ステンレス

	規格	サイズ	基準価格（工場価格）	卸売価格	小売価格
◇棒鋼	ＳＴＳ304	Φ25～80	2850	3100	3300
		Φ80～160	2950	3300	3400
	ＳＴＳ316	Φ25～80	4100	4300	4700
		Φ80～160	4200	4400	4850
◇板類					
ＣＲ2Ｂ	ＳＴＳ304	1000×1219×2㎜		2400	
		1000×1219×1.5㎜		2450	
		1000×1219×1.0㎜		2500	
	ＳＴＳ316	1000×1219×2㎜		3600	
		1000×1219×1.5㎜		3650	
		1000×1219×1.0㎜		3700	
	ＳＴＳ430	1000×1219×2㎜		1450	
		1000×1219×1.5㎜		1500	
		1000×1219×1.0㎜		1550	
ＨＬ	ＳＴＳ304	1000×1219×2㎜		2550	
		1000×1219×1.5㎜		2620	
		1000×1219×1.0㎜		2690	
	ＳＴＳ316	1000×1219×2㎜		3750	
		1000×1219×1.5㎜		3820	
		1000×1219×1.0㎜		3890	
	ＳＴＳ430	1000×1219×2㎜		1600	
		1000×1219×1.5㎜		1670	
		1000×1219×1.0㎜		1740	
厚板	ＳＴＳ304	8㎜以上		3200	3350
	ＳＴＳ316	〃		4200	4400
	ＳＴＳ430	〃		4000	4200

※基準価格：需要到着も、卸・小売価格は現金価格（付加価値税別）

特殊鋼

	規格	サイズ	基準価格（工場価格）	卸売価格	小売価格
◇機械構造用鋼					
炭素鋼	SMxxC	Φ25～250	920	1012	1113
		Φ260～350	950	1050	1150
		Φ360～750	1650	1815	1997
合金鋼	SCMxxx	Φ25～250	1250	1375	1513
		Φ260～350	1300	1430	1645
		Φ360～750	1850	2035	2340
	SCRxxx	Φ25～160	1150	1265	1455
◇工具鋼	ＳＴＤ11	Φ13～24	5500	6050	6958
	（ＳＴＳＡ）	Φ25～80	5440	5984	6882
		Φ80以上	5610	6171	7096
		□19㎜以下	5930	6523	7501
		□19～50㎜	5860	6446	7412
		□50㎜以上	5800	6380	7337
	ＳＴＤ61	Φ13～24	5630	6193	7122
	（SKD61）	Φ25～80	5560	6116	9174
		Φ80以上	5740	6314	7261
		□19㎜以下	6050	6655	7653
		□19～50㎜	5990	6589	7577
		□50㎜以上	5930	6523	7501

※基準価格：需要到着も、正規商品価格基準、卸・小売価格は現金価格（付加価値税別）

北海道支局 SAPPORO
〒060-0807
札幌市北区北七条西4丁目8−3
北口ヨシヤビル9階
TEL（011）756−1321 FAX（011）756−1322

北日本ネットワーク
北海道・東北

東北支局 SENDAI
〒980-0804
仙台市青葉区大町1丁目1番8号
第3青葉ビル5階
TEL（022）223−9032 FAX（022）211−6860

日綜産業
サンライトステーション 橋梁で初採用
環境保護型の保全工事

【北斗】日綜産業（本社＝東京都中央区、小野大社長）が販売、レンタルを行っている新型システム吊足場「クイックデッキ」と熱収縮・密着型防水養生シート「クイックラップ」からなる「サンライトステーション」が、北海道北斗市の「千代田橋改良工事」（請負＝池田工業、発注＝北斗市）において橋梁では国内で初めて採用された。サンライトステーションは作業者にも近隣関係者にも安全と快適を提供する、橋梁塗装・ブラスト工事における進化系作業ステーションだ。池田工業は日綜産業の協力を得てこのほど、現場見学会を開催した。

現場見学会を開催

工事を請け負った池田工業では国内・海外の塗装塗り替え現場の視察や現地施工者との交流を進めているほか、現在に至るまでさまざまな塗膜剥離技術・機材を導入して現場施工を行ってきた。新規技術導入による工事スピードの向上と作業員の安全管理に力を入れている会社だ。

千代田橋には鉛を含む塗膜が用いられているが、塗膜に鉛が含まれている橋梁は全国各地に存在する。今後本格化する橋梁保全工事において懸念されているのが、塗膜などに含まれる鉛やPCBといった有害物質の飛散による周辺環境への影響や廃棄方法だ。これらの懸念や諸問題を解決する手段として今回、サンライトステーションが用いられることとなった。クイックデッキをベースとして、外周部やブラスト作業空間をクイックラップで間仕切りし外部と遮断する。クイックラップは日光を通すため、作業ステーション内では一定の明るさを確保することができる。出入口部には集塵機付きエアシャワーを設置し作業員の衣服に付着した粉塵を除却、作業ステーション外部への拡散を防止する。工事終了後は現場で発生した廃棄物とともにクイックラップも処分することができる。

見学会では複数の剥離工法の紹介もされた。処理表面に研削材を衝突させることでブラスト処理を行うオープンブラスト工法、電磁誘導加熱により塗膜と鋼材面を界面破壊して剥離させるIH式RPR塗膜剥離工法、化学薬品を用いて塗膜を軟化させて剥離する剥離剤工法などがあるが、どの工法にも一長一短があり、万能な工法は存在しない。各工法の特性を理解し、その時の状況や場所に応じて最適な工法を組み合わせることが大事だとの説明があった。

クイックラップ現場㊤と剥離工法の実演

JFES東北
新しい東北の実現へ
薄板・建材会会長に今吉氏

JFEスチール東北支社（前村和宏支社長）は16日、仙台市青葉区のホテルメトロポリタン仙台で「2016年度JFEスチール東北会」を開いた。

前村支社長は政府予算への東北経済連合会の復興や次世代産業、インフラ整備など要望資料を示しながら、「これらの施策は簡単に実現するものばかりではないが、東北の一人ひとりが盛り上げ、実現へ協力していくことが大切。日本の発展は東北から、ということを言った方もいるが、東北には優れた企業や大学、広大な自然といった豊かな発展に寄与する資源がある。私自身4月に着任し、日本人の美徳ときれるものが東北にはたくさん残っていると感じる。足元の景気は良くも悪くもなく、東京オリンピックに向けた需要も不透明な状況が続いている。ただ、みなさんの日々の仕事は新しい東北の実現につながっていると確信する。JFEスチール、JFEグループも今まで以上にお役にたてるよう頑張っていく」とあいさつした。

前村支社長

東北会に先立つ「2016年度JFEスチール東北薄板・建材会」では会長に今吉秀行・住友商事東北社長、副会長に伊藤栄治・東北岡谷鋼機社長、会計監査に小泉淳・豊田通商東北支店長を任命した。

講演会では、大棟耕介・プレジャー企画会長兼日本ホスピタルクラウン協会理事長が「道化師流コミュニケーションと笑いの伝播」の演題で講演。欧米では「良いサーカスには良いクラウンがいる」と言われるほど評価が高く、高感度のアンテナを張り巡らして、お客さまに必要なパフォーマンスを提供する名脇役であるクラウンを紹介。NPO活動で闘病中の子どもたちを訪問し笑顔を届ける「ホスピタルクラウン」についても紹介しながら、相手に合わせたクラウン流コミュニケーションを実践してみせた。

東北神溶会が総会
ニーズ掘り起こしを
大型案件始動に期待

【鰺ヶ沢】神戸製鋼所溶接事業部門営業部東日本営業室東北営業所（塩路政司所長）は14日、青森県・鰺ヶ沢温泉のホテルグランメール山海荘で2016年度東北神溶会の総会を開いた。

あいさつに立った興石房樹取締役専務執行役員溶接事業部門長は、「現在取り組んでいる5カ年中計で、3つのM（マーケティング力、ものづくり力、マンパワー）の力を高めることに注力している。とくに神溶会の皆さまとはエリアマーケティングを強化しており、ニーズの掘り起こしや新しい溶材の開発などを進めている。皆さまのお役に立てる技術開発に取り組みながら、需要回復が期待される年度後半に向けて共に頑張りたい」と述べた。

興石溶接事業部門長

神溶会会長を務める有園博行溶接事業部門営業部長は、全国の概況に関して「国内溶材需要は15年度の27万1000㌧から、16年度は26万1000㌧に減少しそうだ。建築鉄骨が先送りされているほか、自動車向けも消費増税が先延ばしされたことで駆け込みがなくなり、概ねマイナス4%と予想する。需要環境は厳しいが、皆さまと共にお客さまの自動化や効率化などの細かなニーズを捕捉し、さらなるシェアアップを目指したいと語った。

塩路所長は、東北地区の概況や営業活動に関して、「東北地区の鉄骨推定需要量は14年度、15年度共に39万㌧で推移したが、今年度は43万㌧まで増える見込みだ」と予測、足元は停滞気味ながら今後は大型案件の始動が相次ぐと報告した。また、溶接工不足などにマッチしたロボットの販売も好調で、今年度も20式の導入を見込んでいると話した。

その後、あきた舞妓事業を立ち上げた水野千夏氏を招き、「秋田美人の産業化〜会える秋田美人、あきた舞妓〜」と題して特別講演を行った。

東北鉄連
需要回復へなお辛抱
11月、トヨタ宮城工場見学

【仙台】東北鉄鋼販売業連合会（会長＝齋藤芳郎・新栄商事社長）は16日、仙台市のパレスへいあんで2016年度第2回例会を開き、熊本地震への義援金として、同県に対して会員全社から計25万円を贈呈したほか、11月11日にパレスへいあんで第3回例会を行うこと、同21日にトヨタ自動車東日本の宮城大衡工場の工場見学を行うことなどを報告した。

冒頭、あいさつに立った齋藤会長は「本来であれば仕事が増え、需要が盛り上がっても良い時期だが、その気配は感じられない。このため、薄板、形鋼、コラム、パイプなどメーカーの値上げ表明が続いているが、マーケットは反応していない。これだけ在庫が減っても依然こう着状態が続いており、もう少しの辛抱かなと思う」と述べた。

あいさつする齋藤会長

その後、新日鉄住金東北支店建材室の高橋善幸主幹を招へいし、「東北とラグビー＝2019年ラグビーワールドカップ釜石開催に向けて」と題して講演会を開催。同氏は1965年に岩手県花巻市で生まれ、黒沢尻工業高校3年時に高校日本代表の主将を、また、その後進んだ明治大学でも4年時に主将を務めた後、新日本製鉄（現新日鉄住金）に入社。新日鉄釜石ラグビー部で活躍した後、同部および釜石シーウェイブスの監督を歴任、現在は同チームの最高顧問などを務める。

講演する高橋氏

高橋氏は19年のラグビーワールドカップ釜石開催に向け、被災地の復興を世界に発信するとともに、釜石シーウェイブスの最大目標であるクラブチーム初のトップリーグ入りを果たすことが、地域におけるラグビーへの関心度アップや全国からの支援増加につながる」と指摘、ワールドカップ開催までにトップリーグへの昇格を果たしたいと話した。

異形丸、形鋼類上げ基調と予測
市況報告

【仙台】東北鉄鋼販売業連合会は、2016年度第2回例会で9月16日時点の市況報告を行った。

▽丸鋼・平鋼＝荷動きは低位安定している。価格も6月以降横ばっているが、足元は多少弱含んでいる。

▽異形丸鋼＝ユーザー渡し、仲間相場ともに前回6月調査と比べ3000円下落。ただ、直近で値上げを表明しているメーカーもあり、今後はやや強含む可能性もある。

▽山形鋼、溝形鋼、H形鋼＝前回調査と比べ横ばい。山形鋼と溝形鋼はメーカーが10月から値上げを打ち出しており、今後は上げ基調になると予測。H形鋼も原材料価格の上昇を受け、メーカーは5月に打ち出した値上げの旗は降ろさないとみている。

▽コラム、角パイプ、カラーC・梁、軽溝クロ、カラーデッキプレート＝カラー梁のみ前回比2000円下落。母材のコイルが値上がりしており、すぐに値上げを打ち出しているメーカーも。今後は5000−1万円の上げが予想される。

▽厚中板、縞板＝前回調査と比べ2000円下落。足元は弱含んでいるが、メーカーは5月値上げの意向を示しており、先行き強含むと見ている。

▽酸洗鋼板、冷延鋼板、電気亜鉛めっき鋼板（EG）＝酸洗鋼板は前回比2000円下落。市況はこれまで弱含んでいたが、メーカーが1万円幅で値上げを検討している向きがあり、今後は強含むと見る。

▽鋼管＝現行価格帯を維持しているが、メーカーの値上げが予想され、強含むと予想。

▽カラーコイル＝メーカーが9月から500円上げを打ち出したほか、来年以降同幅の追加値上げが予想される。需要環境は大型のS造案件がなく、出荷は厳しいが、先行きの案件は聞こえており、徐々に値上げを進めたい。

▽鈍鉄線、針金、普通丸釘＝いずれも価格は前回比横ばい。出荷が落ちており、厳しい状況が続いている。物件の本格始動を期待したい。

佐藤製線販売
なでしこリーグでマッチスポンサー

佐藤ホールディングスグループの佐藤製線販売（宮城県亘理郡、林秀敏社長）は、24日に仙台市陸上競技場で行われるなでしこリーグのベガルタ仙台レディース対伊賀フットボールクラブくノ一戦で、マッチスポンサーを務める。試合開始は午後1時を予定している。【仙台】

応援風景

日新製鋼北海道支店長
古谷雄一氏
北斗星
開発マインドを前面に

「日新製鋼の強みは営業力と開発力だ。社員の力を結束し、多くの物件を取り込んでいくことでお客さまから末永く愛される支店にしていきたい。それが将来にわたる北海道支店の繁栄につながると考えている」と支店の将来を熱く語る。

日新製鋼グループのコア商品として特殊鋼・特殊めっき・カラー鋼板・ステンレスが挙げられるが、北海道でのシェアはまだまだ拡大できる余地があると踏んでいる。看板商品であるZAMは近年太陽光発電向けで多くの需要があったが、まとまった需要が期待できるのはあとわずかだ。大陽光に代わるZAMの大口需要先を早急に見つけることが今後のテーマとなっている。

プロである以上、社員に対して一定の厳しさは必要との認識を持つ。だが、厳しく接するだけではなく、同時に活気ある職場を築き上げたいとも考えている。支店社員に対しては開発マインドを前面に出しつつあらゆる品種について説明できる営業活動を進めるよう指示しているが、自身も一緒になって取り組んでいく。

「北海道は自然の宝庫であり、大いに自然を満喫したい」との言葉通り、就任してからまだ期間は短いが、すでに富良野や樽前山などを訪れ、北海道の自然の豊かさを実感している。仕事とプライベートの両方で道内各地をくまなく回ることで、北海道を隅々まで知り尽くす構えだ。

（相内 拓馬）

▽古谷雄一（ふるや・ゆういち）氏＝青山学院大経済卒後、1991年日新製鋼入社。92年から本社で表面処理鋼板の販売、98年からは特殊鋼の販売に従事し、00年からは大阪支社で特殊鋼の販売を担当。10年名古屋支社ステンレス販売リーダー、12年新潟支店普通鋼・特殊鋼リーダーを経て、16年7月より現職。

学生時代にはスキーサークルに所属していたこともあり、パウダースノーが魅力の北海道でスキーをすることを今から楽しみにしている。67年7月10日生まれ、神奈川県横浜市出身。

H形鋼流通在庫
北海道1.2万㌧
7月末、4カ月ぶり増

【札幌】新日鉄住金北海道支店がまとめた、札幌ときわ会調べによる7月末のH形鋼流通在庫は前月末比で2・3%増の1万2173㌧となり、4カ月ぶりに増加した。シニアサイズの入庫が大幅に増加したのが在庫増の要因となった。サイズ別の在庫はジュニアサイズが同0・8%減の7086㌧、シニアサイズが同7・0%増の5087㌧だった。

入庫はジュニアが同3・6%増の2300㌧、シニアが同1349㌧、合計では同32・7%増の3790㌧。

出庫はジュニアが同1・8%増の2360㌧、シニアが同4・4%増の1156㌧、合計では同2・7%増の3516㌧だった。

東北H形鋼在庫
7月1万㌧割れ
ジュニア減少響く

【仙台】新日鉄住金東北支店がまとめた東北ときわ会調べによる7月末のH形鋼流通在庫は、前月末比200㌧（2・0%）減の9800㌧となり、2カ月ぶりに1万㌧を割った。

内訳は、ジュニアサイズが同200㌧（4・3%）減の4400㌧、シニアサイズは同横ばいの5400㌧だった。

業界短信

24日仙台製造所フェスティバル
JFE条鋼

JFE条鋼仙台製造所は24日午前11時から午後4時まで、同所構内にて2016年度仙台製造所フェスティバルを開く。各種イベントを企画しているほか、午前10時から工場見学会を実施する。

27日に椴松会第10回勉強会
JFEスチール北海道

JFEスチール北海道支社は、27日に札幌市中央区の札幌全日空ホテルで「椴松会第10回勉強会」を開催する。今回のテーマは「鉄鋼を取り巻く環境」となっている。

公共建築物の鋼構造化講習会
28日、鉄構協と鉄連

全国鉄構工業協会と日本鉄鋼連盟は28日午後1時30分から、福島県郡山市のビッグパレットふくしまで「公共建築物の鋼構造化推進」講習会を開く。国のガイドラインが変更され、これまでRC造が多かった学校、庁舎、病院などでのS造の採用が増えており、実例を交えながら鉄骨造の特長を紹介する。参加費は無料。

28日に支部総会
機動隊員等を励ます会北海道

機動隊員等を励ます会北海道支部は、28日に札幌市中央区の札幌パークホテルで「第36回機動隊員等を励ます会北海道支部総会」を開催する。

10月3日 地域連携研究フォーラム
東北大学

東北大学の東北発素材技術先導プロジェクト「超低損失磁心材料技術領域」は10月3日午後3時から、同大の片平さくらホールで第5回地域連携研究フォーラムを開く。「東北発超低損失磁心材料の事業展開とその将来」をテーマに、基調講演や公開セミナー、情報交換会などを予定している。

10月7日 第31回北榮会ゴルフコンペ
北榮興業

北榮興業は、10月7日に北海道恵庭市の恵庭カントリー倶楽部で「第31回北榮会ゴルフコンペ」を開催する。

購読の申し込み
■日刊産業新聞 販売部
0120−300391
■申し込みフォーム
http://www.japanmetal.com/koudoku.html

社史・団体史の発行をお考えですか？
個人史・書籍・単行本・記念誌・新聞
会社案内・カタログ・マニュアルなど
ご要望にお応えし、編集製作・印刷をお引き受けします。
お問い合わせ先
株式会社 産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川一丁目16番14号 〒104-0033 TEL(03)5566-8777 FAX(03)5566-8185
大阪本社 大阪市西区靭本町一丁目5番15号 〒550-0004 TEL(06)6443-8551 FAX(06)6443-8828

東京 鉄鋼商況

H形鋼

荷足繁忙感乏しく

H形鋼はベースサイズでトン当たり6万5000～6万7000円どころ。足元の流通の荷動きは底入れ反転に至るほどの繁忙感が乏しい状況。市況は弱横ばいで推移する見通し。ときわ会東京地区のH形鋼在庫量は8月末で3万6600㌧と前月比5・2％減となった。出庫量は夏季休暇の影響のため1万5100㌧と4・4％減、入庫量が1万3100㌧と3・1％増。在庫率は2・42カ月と0・02㌽下がった。足元の日当たり出庫量は徐々に改善に向かっているほか、市中在庫は減少傾向が続き、需給バランスは適正化しつつある。

新日鉄住金は物件向け、店売り向け双方で将来的な値上げを表明。ただ、足元では少ない引き合いをめぐった販売競争が残り、流通が価格転嫁に動くには需要の後押しが必要となりそうだ。

中径角

様子見変わらず

中径角形鋼管は様子見状態で推移。足元の地区相場（店売り価格）は、ベースサイズ（肉厚2・3㍉×縦100㍉×横幅100㍉）で黒皮が中心値トン当たり7万9000～8万100円と前週比横ばい。

中・小規模の建築工事案件が少ないなど、溶接鋼管専業メーカーおよび地区内の鋼管流通は依然として厳しい販売環境を余儀なくされている。

市中流通筋の間では、「9月に入っても鋼管全般の需給バランスに著しい変化は見られていない。店売り価格については現行の水準を堅持するとともに、焦らず慎重に対応していきたい」（地場特約店）との声が多く聞かれる。

足元、地区内の中径角形鋼管相場は様子見状態で推移していくと考えられる。

平　鋼

現行値圏の展開

平鋼はトン当たり7万3000円（ベースサイズ）どころで横ばいの推移となっている。

引き合いは小口当用買いが中心だが、徐々に増加しつつある。「土木関連はさえないが、建築関連はまずまず動き出している。今後、ある程度増加するのではないか」（特約店筋）といった声が聞かれる。

大阪鉄鋼流通協会（OSA）が調べた8月末の在庫量は前月比3・4％減の1万2858㌧。仕入量、販売量ともに減少し、在庫量が微減となった。

大口案件では一部安値が残るとの指摘もあるが、市況はほぼ横ばいに推移している。「傍品の動向次第では価格動向に変化が出てくる可能性がある」「タイミングを見て採算改善に注力することになるだろう」（特約店筋）といった見方もある。

当面、市況は横ばいが見込まれる。

構造用鋼

荷足さえず同値圏

構造用鋼は横ばい。市中相場は機械構造用炭素鋼（SC、丸鋼）がトン当たり9万円、クロム・モリブデン鋼（SCM、丸鋼）が同11万5000円どころ中心。

月後半に入ってからも、地区内の荷動きは今ひとつさえない。需要環境としては、自動車関連は堅調ながら、建設機械は低調、産業機械関連向けについても向け先によってまだら模様の状態で「精彩を欠く状態が続いている」状況。

ただ、特約店への注文は小口案件を中心に底堅い。切断機の稼働も「春先よりは量が増えたのでは」（流通筋）との声も。在庫は適正水準となっており、ユーザー在庫も減少し、「傾向となっていることで、「短納期の注文が多い」（同）との状況。

秋需への期待はあるが五輪関連の話も聞こえず、しばらくは模様眺めの状態が続くか。

市況展望

Market Conditions

大阪・カラー鋼板

価格転嫁向け強含みへ

大阪地区のカラー鋼板市況は横ばい基調から強含みに移行しつつある。鋼板メーカーは相次いで値上げを打ち出し、流通から先への価格転嫁が焦点となっている。需要環境から見ると値上げは容易ではないとの見方が残るものの、9月に入って「やや雰囲気は変わってきた」（地区鉄鋼二次製品問屋）と、値上げがある程度進むとの予想も聞かれるようになっている。

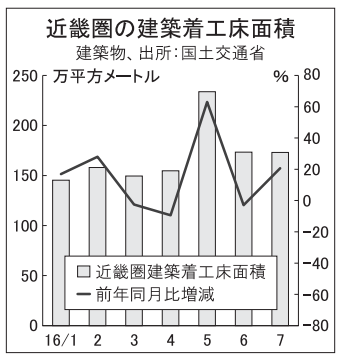
市中価格は、大コイル（0・35㍉×914㍉幅）トン当たり21万3000円、小コイル（同）23万5000円中心。

厚物の非住宅物件向けを中心に、数量がまとまると価格対応は個別に、比較的流通も柔軟に対応する傾向は続いているが、店売りの小口取引は安定した推移となっている。

需要は建築着工統計から見て本来上向くはずだが、この7～9月も大きく好転しない見通し。住宅着工戸数は全国の季節調整済み年率換算で、7月まで3カ月連続の100万戸乗せとなり、近畿圏でも1月から7月まで、6月を除いて月次で前年比プラスとなった。

ただ、こうした需要のうち住宅メーカー大手向けの直需や、鉄鋼二次製品問屋の販路以外で数量が増えている可能性が指摘されている。カラー鋼板の市中の荷動きの支えにはなっても、比例する度合いが小さくなっており、需要増を実感できていないのが実情。

供給は実需に見合う形だが、価格については鋼板メーカーの値上げ方針が実質的に出揃った形。流通は「メーカーの値上げ意思は固い」（問屋営業担当）と見ており、いずれは価格転嫁が必要との見方が広がっている。



向く見通し。建築関連の動き次第で、市況も強基調から値上げ浸透の局面へと、徐々に移っていく見通し。需要は下期にかけて上

鉄鋼・非鉄・需要業界の株価　20日

	終値	前日比
東証1部		
新日鉄住金	1965	▼17.5
JFEHD	1443	▼24.5
神戸製鋼所	90	▼1
日新製鋼	1309	▼14
中山製鋼所	67	0
合同製鉄	174	▼2
東京製鉄	702	▼70
共英製鋼	1873	▼37
大和工業	2847	▼83
東京鉄鋼	377	▼6
大阪製鉄	1704	▼59
トピー工業	209	3
大同特殊鋼	456	2
日立金属	1188	▼11
愛知製鋼	524	10
山陽特殊製鋼	561	7
三菱製鋼	164	1
日本高周波	72	1
日本冶金工業	139	▼4
日本金属	95	0
淀川製鋼所	2659	▼13
東洋鋼鈑	297	2
洋カンHD	1840	▼2
ホッカンHD	343	▼2
丸一鋼管	3385	45
モリ工業	304	▼2
新家工業	135	0
大平洋金属	285	▼1
新日本電工	163	▼1
日本製鋼所	466	▼1
栗本鉄工所	180	▼2
虹　技	250	▼3
日本鋳鉄管	145	▼1
日亜鋼業	218	▼2
日本精線	434	0
シンニッタン	481	2
宮地エンジG	142	0
川田TECH	4450	60
横河ブHD	1082	▼3
OSJBHD	210	▼2
駒井ハルテク	187	▼2
高田機工	195	1
日東精工	353	0
三洋工業	174	▼1
岡　部	828	▼5
中国工業	657	▼1
ネツレン	722	▼4
東京製綱	162	0
サンコール	453	0
モリテック	249	▼2
ニッパツ	964	▼21
中央発條	269	1
三和HD	946	18
文化シヤタ	750	▼3
東洋シヤタ	555	▼1
アルインコ	900	▼3
三井造船	141	▼1
川崎重工業	310	▼5
名村造船所	710	▼2
サノヤスHD	309	▼11
トヨタ	5952	86
日野自動車	1090	▼5
日産自動車	1009	6
いすゞ	1224	▼2.5
三菱自動車	460	▼9
ホンダ	2961	▼22.5
スズキ	3355	▼106
富士重工	3815	3
マツダ	1581	▼20.5
日立	473.4	▼2.4
東　芝	316	▼4.2
三菱電機	1253.5	10
富士電機	456	▼3
パナソニック	1018	3.5
シャープ	126	4
富士通ゼネ	2053	54
ソニー	3320	50
三協立山	1578	35
LIXILG	2166	55
アドバネクス	1015	▼14
GSユアサ	414	▼2
古河電池	569	▼3
JXHD	392.9	0.1
三井金属	207	0
東邦亜鉛	313	0
三菱マテ	284	2
住友金属鉱山	1300	27.5
DOWA	687	▼21
古河機械金属	157	▼6
Sサイエンス	36	0
大阪チタ	1378	▼18
東邦チタ	728	40
日軽金HD	216	0
UACJ	290	0
大紀アルミ	348	7
古河電工	258	1
住友電工	1439.5	2.5
フジクラ	558	4
昭電線HD	68	▼1
東京特殊電線	955	4
タツタ電線	347	▼3
沖電線	232	▼3
SUMCO	823	19
カナレ電気	1859	▼5
平河ヒューテ	775	4
リョービ	435	4
アーレスティ	1029	46
アサヒHD	1743	10
日鉄鉱業	388	▼2
三井松島	120	3
日本コークス	81	1
東海カーボン	278	0
日本カーボン	171	3
品川リフラ	196	1
黒崎播磨	254	3
ヨータイ	290	1
イソライト	232	3
昭和電工	1253	26
ラサ工業	104	0
信越化学工業	7030	▼14
エアウォータ	1879	19
バーカライ	1349	2
チタン工業	200	▼3
戸田工業	276	▼4
東邦亜鉛	6190	▼30
タキロン	451	1
三菱商事	2124	58.5
三井物産	1343.5	5.5
住友商事	1114	13.5
伊藤忠商事	1238	8.5
丸　紅	509	2.8
兼　松	151	1
双　日	253	1
豊田通商	2373	20
佐藤商事	687	▼1
神鋼商事	177	▼1
阪和興業	594	5
日鉄住金物産	358	▼6
小野建	1206	2
鳥越製粉ホールディングス	1515	▼8
コンドテック	743	1
フルサト工業	1294	▼12
岩谷産業	582	3
小林産業	253	1
ラサ商事	518	5
アルコニックス	1356	▼5
三洋貿易	1216	6
蝶理HD	1548	25
松田産業	1301	▼3
白　銅	1211	▼2
カメイ	815	7
立花エレテック	1020	▼5
丸紅建材リース	175	0
ジェコス	842	▼4
SRGタカミヤ	473	▼11
北沢産業	157	1
因幡電機産業	3485	▼5
アマダHD	1068	17
MIEコーポ	792	8
やまびこ	821	▼19
ユニオンツール	2611	▼17
コマツ	2288.5	▼14
住友重機械	504	3
日立建機	1979	▼19
クボタ	1466	2.5
住友精密工業	312	▼6
酒井重工業	185	0
ダイフク	1742	▼9
加藤製作所	410	▼4
タダノ	916	▼18
マックス	1154	14
日本精工	1048	3
NTN	357	▼7
不二越	355	▼8
ミネベア	947	▼6
ツバキ・ナカシマ	1534	44
シンフォニア	166	▼2
ユニプレス	1778	▼55
キッツ	549	▼4
日立造船	514	▼2
三菱重工業	434.4	▼5.6
IHI	283	▼1
不動テトラ	169	2
日成ビルド工業	464	8
中外炉工業	199	▼1
三晃金属工業	295	0
小松ウオール	1615	8
クリナップ	828	10
山　九	573	▼3
丸　運	231	▼2
ユナイテド海	137	2
上　組	889	▼11
NSSOL	1754	6
タケエイ	797	▼11
カナモト	2407	▼14
進　和	1427	▼4
東証2部		
北越メタル	263	▼2
川金HD	286	▼6
高砂鉄工	61	▼1
日本鋳造	99	▼1
大和重工		
メタルアート	206	▼1
神鋼鋼線工業	129	▼1
サンユウ	305	0
中央ビルト	111	▼1
JFEコンテ	299	▼1
日本製缶	100	0
滝上工業	451	0
川岸工業	533	▼4
那須電機鉄工	319	1
宮入バルブ	114	▼1
日东パワー	103	3
アマテイ	91	0
ヤマシナ	56	1
ロブテックス	192	5
大阪工機	697	2
富士ダイス	598	3
トーアミ	510	1
丸藤シート	217	▼2
テクノアソシエ	922	0
サンコーテクノ	667	▼9
ジオスター	833	▼12
SECカーボン	199	▼1
神鋼環境	390	▼2
日鍛バルブ	354	4
内海造船	242	50
小池酸素工業	232	▼1
技研製作所	1798	▼2
フジオーゼ	355	4
JFEシステム	1209	
高田工業所	423	7
エンビプロHD	513	1
中外鉱業	25	▼1
日本精鉱	385	5
日本伸銅	101	▼1
日本タングステン	168	1
東邦金属	100	0
オーナンバ	391	0
JMACS	282	2
アルメタックス	334	0
不二サッシ	82	▼1
黒　谷	442	▼1
泉州電業	1506	0
MESCO	890	0
名証1部		
岡谷鋼機	5890	▼10
中部鋼鈑	506	▼4
名証2部		
中央可鍛工業	329	▼1
CKサンエツ	1078	18
MIEコーポ		
カネソウ	445	
知多鋼業		
中日本鋳工	63	
カノークス	696	▼4
JASDAQ		
朝日工業	1073	▼17
東北特殊鋼	1060	32
新報国製鉄	1473	▼17
パウダーテック	378	8
三ツ星	220	2
アサカ理研	1366	300
FCM	2910	▼4
特殊電極	2443	123
元旦ビューティ	379	0
共和工業所	515	0
クリエイト		
初穂商事	233	2
清和中央HD	3100	
UEX	246	1
アイ・テック	879	15
フルヤ金属	1543	▼7
福岡Q—Board		
日創プロニティ	520	▼2

東京 鉄スクラップ商況

中心値は横ばい調

鉄スクラップは横ばい。ヤード持ち込み価格は、H2がトン1万円、H1が同2万8000円、HSが同1万3500円どころ。

関東地区鉄鋼メーカーの鉄スクラップ炉前購入価格（H2）はトン1万9000～2万円前後（20日時点）。

地場電炉メーカーでは炉前価格の上げ下げが交錯しているが、全体としての中心値は横ばいが続いている。浜値がFASトン1万8500円どころへと地場炉前より安値先行しているため、先安警戒感はある。周辺電炉への入荷が進む懸念もあり、地場メーカーによる鉄スクラップ消費環境も「上向いている実感はまったくない」（ヤード筋）状況ではあるが、一方「市中発生が悪いところへ連休の狭間で、ヤードもメーカーも買値は下げにくい。中心値へ収れんしつつあるのでは」（同）といった指摘もあるようだ。

市中先高期待薄れる

鉄スクラップは様子見状態が続いている。ヤード持ち込み価格（H2）は、トン当たり8000円前後。大阪地区電炉メーカーの鉄スクラップ購入価格（H2）はトン1万8500～1万9500円前後、一部高値同2万円前後。

地区内では3連休を前に「鉄スクラップの確保へ向けたメーカーの動きもあった」（ヤード筋）ものの、足元の鉄スクラップ輸出マーケットの低迷などもあり、「市中の先高期待は薄れており、またメーカー各社も価格対応には慎重になるのでは」（流通筋）という。

市中では「地区鉄スクラップ需給バランスなどのローカル要因と、東アジア向け輸出や海外市況、為替動向などが綱引き状態となっており、当面地区鉄スクラップは現行価格帯から大きな値動きはなく、推移するのでは」（ヤード筋）との見方も出ている。

札　幌

H形鋼

横ばいで推移

H形鋼は200×100で7万8000円と横ばいで推移している。

現場工事の数が増えてきており、当面はどこのファブリケーターも仕事で忙しい状況が続きそうだ。ファブ向けについては近年と同程度の需要が見込まれている。土木向けは前年度に引き続き苦戦傾向にあるが、今後は台風被害からの復旧工事での需要が出てくると思われる。また、防災対策の見直しによる新規工事にも期待が持たれている。

春先にメーカーが値上げした分を完全転嫁すべく、流通は市況の底上げを進めている。今後も利益重視の営業を心がけることで、需要の大幅増が期待できない環境下でも再生産可能な利益を残していく構えだ。

福　岡

黒ガス管

足元需給は均衡

黒ガス管は横ばいで推移。相場は高炉品50Aが14万円、非高炉品50Aが12万5000円どころ。

需要面では増加に向けた動きも見られず、低位安定。供給面では以前ほどのタイト感はなく、足元の需給バランスは均衡している。

先行きについてもプラント向けをはじめとして急増は見込めず、現行水準での推移が続くと見込まれる。

流通は収益改善の観点から運賃など諸コスト増加分を転嫁するため、上値を浸透させたい考え。ただ、足元の需要が盛り上がりに欠けることやメーカーの販売姿勢に大きな変化が見られないことなどから値上げ材料は少ない。

当面は横ばい調での推移となりそうだ。

名古屋

H形鋼

需要の増加待ち

H形鋼は横ばい。市中実勢はトン6万9000円（問屋置き場・ベース）どころ。

足元の需要は「円高傾向で中止になった設備投資案件が復活になるなど、中小案件を中心に増加傾向」（問屋筋）との声が強く、年末ごろまで続くとの見方が支配的。

東京製鉄は10月の販売価格をトン7000円引き下げたが、同社では今後の市況上伸に向けた出直し価格としており、市中からも「実勢どのかい離の是正であり、織り込み済み」（同）と冷静に受け止められている。

流通では「これ以上の下げ代はない。在庫も減少する中、大事に売っていく」（同）との姿勢を示しており、当面は需要の増加を待ち横ばい商状の市況展開が続く見通し。

広　島

一般形鋼

弱含み横ばい

一般形鋼は弱横ばい。相場は等辺山形鋼、溝形鋼ともにベースサイズ、トン6万円台後半で推移している。

東京製鉄は20日、全品種の値下げ改定を発表。溝形鋼など建築向け鋼材はトン7000円引き下げられた。

9月に入っても建築向け需要は盛り上がりを欠いているが、荷動き、引き合いともやや改善が見られていたことから、市中の動きとは方向が異なる改定となった。

流通では「来月以降の値上げを視野に、実勢価格に合わせた」（流通筋）と、相場の大きな下落にはつながらないとの見方が多く、引き続き、価格維持に努める方針。今後、ユーザーがいったん様子見に入る可能性もあり、影響が注視される。

鉄スクラップ相場

2016年9月20日調べ、◉は上げ▼は下げ（いずれも本体価格のみ）
問屋ヤード持ち込み価格（現金、1㌧、円）　―印は商いなし。
※は引き取り条件、地域により再生加工料を取るケース（逆有償）。
※名古屋鋼ダライ粉、銑ダライ粉A、Bの（　）内価格は陥没分。

	東京	大阪	名古屋	広島	北九州	東北	札幌
可鍛・配合材							
キ　ポラ用	24,300	23,400	24,400	19,000	―	19,800	―
一　般用	21,300	20,400	20,900	16,000	15,800	16,800	―
H　S	13,500	10,500	10,000	11,000	12,500	9,500	5,500
H　1	11,800	9,000	9,500	10,000	10,500	7,800	5,000
H　2	10,000	8,000	7,300	9,500	9,900	6,000	3,500
H　3	9,000	6,500	6,300	8,500	8,900	5,000	2,500
ギ　ロチン材A	8,500	7,000	6,500	8,500	8,000	4,500	2,500
〃　B	8,000	5,500	6,000	7,500	7,500	4,000	―
〃　C	7,500	4,500	5,500	5,000	6,000	3,000	―
新断プレス	14,100	9,500	10,800	12,000	10,700	8,000	4,500
新断バラ	13,100	8,500	9,700	11,500	10,000	7,100	2,500
鋼ダライ粉	7,200	4,500	(1,200)	4,000	8,800	3,500	2,000
銑ダライ粉A	7,700	4,200	(1,000)	6,000	8,900	4,000	2,500
〃　B	7,200	4,000	(1,600)	5,500	8,800	3,500	2,000
故銑（上大割）	14,000	8,500	10,400	10,000	11,500	8,800	4,000
〃（並大割）	12,300	7,500	10,000	9,000	10,000	7,300	3,000
自動車プレス	7,000	5,500	―	2,000	4,000	3,500	2,000
自動車ガラ	6,500	4,500	4,800	1,500	4,000	3,500	2,000
モーターブロック	11,500	9,000	―	9,500	8,300	6,000	4,500
スチール缶（飲料缶）	6,500	4,500	4,500	5,000	6,700	3,500	2,000
ステンレス・スクラップ							
18Cr8Ni新断	35,000	35,000	21,000	35,000	35,000	35,000	38,000
〃　ダライ粉	15,000	15,000	6,000	15,000	15,000	15,000	18,000
18Cr	12,000	12,000	15,000	12,000	12,000	13,500	12,000
13Cr	10,000	10,000	13,000	10,000	10,000	12,000	10,000
問屋売り需要家持ち込み価格（現金、1㌧、円）							
伸鉄材（上）	13,500	10,500	―	―	―	―	―
〃（並）	10,000	9,000	―	―	―	―	―

規格	厚さ	幅または高さ×長さ	単重（kg）
H　S	6㎜以上	500㎜以下×700㎜以下	600以下電特
H　1	6㎜以上	500㎜以下×1,200㎜以下	1,000以下特A
H　2	3㎜以上6㎜以下	500㎜以下×1,200㎜以下	1,000以下特級
H　3	1㎜以上3㎜以下	500㎜以下×1,200㎜以下	1,000以下1級

日本鉄スクラップ総合価格（メーカー炉前平均）　9月20日調べ

※東京、大阪、名古屋地区電炉メーカー購入価格平均（トン当たり）、産業新聞調べ

H　2	19,000円（　―　）	184.56㌦（◉0.09）
新断バラ	21,000円（　―　）	203.98㌦（◉0.10）

米国鉄スクラップ総合価格　193.50㌦（19,920円）

※No.1ヘビー（トン当たりドル）

東部地区	ピッツバーグ	フィラデルフィア	シカゴ
	199.50	173.50	207.50
西部地区	ロサンゼルス	シアトル	サンフランシスコ
	―	―	―

TTS1㌦＝102.95円で換算

鉄鋼市中相場

2016年9月20日調べ、問屋置き場仲値ベース（◉印は上げ▼は下げ、単位：円／トン、Nはノミナル）＊いずれも本体価格のみ

棒鋼

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇異形棒鋼							
SD295(在庫)							
10	66,000	62,000	67,000	66,000	67,000	66,000	74,000
13	64,000	60,000	65,000	64,000	64,000	64,000	72,000
16―25	62,000	58,000	63,000	62,000	62,000	62,000	70,000
SD295(直送)							
10	52,000	52,000	52,000	54,000	55,000	54,000	61,000
13	50,000	50,000	50,000	52,000	52,000	52,000	59,000
16―25	48,000	48,000	48,000	50,000	50,000	50,000	57,000
32	49,000	49,000	49,000	51,000	51,000	51,000	59,000
SD345(直送)							
16―25	50,000	51,000	51,000	53,000	53,000	53,000	59,000
32	51,000	52,000	52,000	54,000	54,000	54,000	61,000
◇丸鋼（SR235、プレーン）							
9	99,000	100,000	100,000	100,000	―	105,000	103,000
13	91,000	84,000	92,000	88,000	92,000	92,000	93,000
16―25	89,000	82,000	90,000	86,000	90,000	90,000	91,000
◇構造用棒鋼							
13	117,000	90,000	117,000	117,000	124,000	117,000	118,000
16―25	111,000	88,000	115,000	115,000	122,000	111,000	116,000
28	113,000	89,000	117,000	116,000	124,000	113,000	118,000
◇平鋼							
6×32	90,000	75,000	81,000	81,000	83,000	92,000	96,000
6×50、9×100	88,000	73,000	79,000	78,000	81,000	90,000	96,000
16×50	91,000	76,000	81,000	81,000	84,000	93,000	99,000
9×200	90,000	80,000	85,000	85,000	87,000	92,000	101,000
◇角鋼							
16	115,000	104,000	116,000	113,000	118,000	119,000	128,000
25	114,000	102,000	114,000	111,000	118,000	117,000	130,000
50	115,000	105,000	117,000	116,000	121,000	119,000	132,000

パイプ

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇黒ガス管（高炉品、ねじ無し、キロ）							
15A（1/2㌅）	137	145	150	150	150	145	150
50A（2㌅）	127	135	140	140	140	135	140
150A（6㌅）	132	140	145	145	145	140	145
◇黒ガス管(非高炉品、キロ)							
15A（1/2㌅）	105	130	130	130	135	113	150
50A（2㌅）	100	120	125	120	125	108	140
150A（6㌅）	105	125	130	125	130	113	145
◇白ガス管（高炉品、ねじ付き、ピース建て、キロ）							
15A（1/2㌅）	1,728	1,420	1,440	1,547	1,420	1,728	1,500
50A（2㌅）	6,174	5,080	5,144	5,523	5,080	6,174	5,000
（ねじなし）(150Aは耐溝食電縫管)							
100A（4㌅）	12,910	10,630	10,760	11,547	10,640	12,910	10,880
150A(6㌅)	30,771	25,330	25,641	27,524	25,360	30,771	26,000
◇一般構造用鋼管（STK400、キロ）							
21.7×1.9㍉	105	115	130	130	130	120	130
48.6×2.3㍉	100	110	125	125	125	115	125
216.3×5.8㍉	105	115	―	130	130	120	141
◇角形鋼管							
2.3×100×100（黒皮）	79,000	98,000	106,000	105,000	110,000	88,000	123,000
2.3×100×100（カラー）	88,000	108,000	114,000	115,000	118,000	97,000	132,000

形鋼

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇H形鋼							
(広幅)							
6/8×100×100	70,000	67,000	71,000	71,000	74,000	74,000	78,000
8/12×200×200	68,000	65,000	69,000	69,000	72,000	72,000	76,000
12/19×350×350	70,000	67,000	71,000	71,000	74,000	74,000	79,000
(中幅)							
6/9×148×100	67,000	65,000	69,000	69,000	72,000	71,000	78,000
9/14×340×250	69,000	67,000	71,000	71,000	74,000	73,000	78,000
10/16×390×300	69,000	67,000	71,000	71,000	74,000	73,000	78,000
12/20×588×300	72,000	70,000	74,000	74,000	77,000	76,000	81,000
(細幅)							
5/7×100×50	83,000	85,000	89,000	92,000	92,000	96,000	93,000
6/8×125×60	81,000	82,000	87,000	89,000	90,000	93,000	91,000
5/7×150×75	69,000	67,000	71,000	71,000	74,000	73,000	80,000
5.5/8×200×100	67,000	65,000	69,000	69,000	72,000	71,000	78,000
8/13×400×200	67,000	65,000	69,000	69,000	72,000	71,000	78,000
11/17×600×200	72,000	70,000	74,000	74,000	77,000	76,000	83,000
◇等辺山形鋼							
3×25	80,000	76,000	80,000	80,000	85,000	84,000	87,000
3×30	77,000	74,000	78,000	78,000	83,000	81,000	85,000
3×40	74,000	71,000	75,000	75,000	80,000	78,000	82,000
5×40	71,000	69,000	73,000	73,000	77,000	75,000	80,000
4×50	69,000	67,000	71,000	71,000	76,000	73,000	78,000
6×50	67,000	66,000	70,000	70,000	75,000	71,000	77,000
10×90	72,000	71,000	76,000	75,000	79,000	76,000	81,000
9×130	77,000	76,000	82,000	82,000	88,000	86,000	87,000
◇不等辺山形鋼							
7×75×100,10×75×125	100,000	94,000	109,000	102,000	112,000	104,000	109,000
12×90×150	100,000	94,000	109,000	102,000	112,000	104,000	109,000
◇溝形鋼							
5×50×100	69,000	66,000	70,000	72,000	76,000	74,000	77,000
6.5×75×150	68,000	65,000	69,000	70,000	75,000	72,000	76,000
8×90×200	69,000	65,000	69,000	71,000	75,000	74,000	76,000
9×90×250	70,000	66,000	71,000	73,000	77,000	75,000	78,000
9×90×300	71,000	69,000	73,000	75,000	81,000	76,000	79,000
13×100×380	73,000	71,000	75,000	77,000	86,000	83,000	81,000
◇I形鋼							
5.5×75×125	121,000	120,000	121,000	122,000	130,000	123,000	130,000
7×100×200	102,000	86,000	93,000	95,000	105,000	104,000	112,000

コラム

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇大径角形鋼管（切断、開先加工込み）							
BCR							
9×200×200	93,000	83,000	90,000	90,000	95,000	96,000	108,000
12×350×350	93,000	83,000	90,000	90,000	95,000	93,000	111,000
16×400×400	101,000	91,000	98,000	98,000	103,000	101,000	119,000
STKR							
9×200×200	105,000	90,000	90,000	90,000	106,000	106,000	110,000
12×350×350	105,000	90,000	90,000	90,000	106,000	109,000	113,000
16×400×400	108,000	93,000	93,000	93,000	109,000	116,000	121,000

厚板

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇定尺							
16（5×10）	80,000	79,000	82,000	81,000	79,000	86,000	94,000
19（5×10）	80,000	79,000	82,000	81,000	79,000	86,000	94,000
22（5×10）	80,000	79,000	82,000	81,000	79,000	86,000	94,000
25（5×10）	80,000	79,000	82,000	81,000	79,000	86,000	94,000
◇切板母材							
国内品（耳付）	78,000	79,000	75,000	―	―	―	―
輸入品(POSCO級)	71,000	71,000	70,000	―	―	―	―

薄板

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇熱延鋼板							
1.6（4×8）	58,000	58,000	61,000	62,000	64,000	73,000	76,000
2.3（4×8）	55,000	54,000	58,000	59,000	61,000	70,000	75,000
3.2（4×8）	54,000	54,000	57,000	59,000	59,000	69,000	73,000
4.5（4×8）	54,000	54,000	58,000	59,000	61,000	70,000	75,000
3.2（5×10）	56,000	―	―	―	―	―	―
4.5（5×10）	56,000	―	―	―	―	―	―
(コイルカット品)							
6(4×8)	62,000	62,000	66,000	66,000	72,000	74,000	81,000
6(5×10)	63,000	63,000	67,000	67,000	74,000	78,000	84,000
9(4×8)	65,000	65,000	69,000	69,000	73,000	78,000	84,000
9(5×10)	66,000	66,000	70,000	70,000	75,000	81,000	85,000
12(4×8)	65,000	65,000	69,000	69,000	75,000	80,000	86,000
12(5×10)	66,000	66,000	70,000	70,000	76,000	81,000	87,000
◇酸洗鋼板（3×6）(4×8)							
1.6	58,000	58,000	62,000	63,000	64,000	73,000	―
2.3	58,000	58,000	62,000	63,000	64,000	73,000	―
◇冷延鋼板（3×6）(4×8)							
0.6	68,000	68,000	71,000	72,000	74,000	86,000	91,000
0.8	66,000	66,000	69,000	70,000	72,000	84,000	90,000
1.0	64,000	64,000	68,000	68,000	70,000	82,000	89,000
1.2	64,000	64,000	68,000	68,000	70,000	82,000	89,000
1.6	64,000	64,000	68,000	68,000	70,000	82,000	89,000
2.3	65,000	65,000	69,000	69,000	72,000	83,000	90,000
3.2	70,000	70,000	72,000	74,000	77,000	88,000	95,000
◇表面処理鋼板（3×6）(4×8)							
電気(熱延)1.6	74,000	73,000	76,000	77,000	78,000	94,000	98,000
2.3	74,000	73,000	76,000	77,000	78,000	94,000	98,000
電気(冷延)0.8	87,000	86,000	91,000	―	―	―	―
1.0	84,000	84,000	86,000	88,000	88,000	104,000	108,000
溶融(冷延)1.0	85,000	85,000	88,000	―	―	―	―
溶融(熱延)1.6	75,000	―	―	―	―	94,000	100,000
◇縞鋼板（床用鋼板）							
3.2（3×6）	79,000	80,000	84,000	83,000	87,000	91,000	105,000
3.2（4×8）	79,000	80,000	84,000	83,000	87,000	91,000	105,000
4.5（4×8）	78,000	79,000	83,000	83,000	86,000	90,000	104,000
6（4×8）	78,000	79,000	83,000	83,000	86,000	90,000	104,000

カラー鋼板

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇カラーガルバリウム鋼板（大コイル・トン）							
0.35㍉×914㍉	210,000	212,000	240,000	230,000	235,000	240,000	240,000
0.80㍉×914㍉	169,000	167,000	190,000	180,000	185,000	190,000	190,000
◇カラーガルバリウム鋼板（小コイル・トン）							
0.27㍉×914㍉	243,000	242,000	―	270,000	283,000	271,000	261,000
0.35㍉×914㍉	235,000	234,000	―	250,000	265,000	260,000	250,000
◇カラー波板（1枚、2.5×6）							
0.19㍉	730	720	750	720	720	750	720
0.25㍉	880	850	900	900	900	900	800
◇亜鉛鉄板平板（トン）							
0.27㍉	170,000	164,000	177,000	165,000	185,000	179,000	174,000
0.35㍉	165,000	159,000	173,000	160,000	180,000	175,000	170,000
1.00㍉	150,000	149,000	153,000	150,000	170,000	165,000	160,000

軽量形鋼

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇軽量H形鋼							
3.2/4.5×150×75	125,000	140,000	153,000	142,000	146,000	145,000	146,000
3.2/4.5×175×90	123,000	138,000	151,000	140,000	144,000	143,000	143,000
3.2/4.5×200×100	120,000	135,000	148,000	137,000	141,000	140,000	143,000
◇軽量溝形鋼							
2.3×100×50	108,000	120,000	120,000	122,000	133,000	115,000	―
3.2×200×50	108,000	120,000	120,000	122,000	133,000	115,000	―
◇軽量C形鋼（カラー）							
1.6×60×30×10	101,000	94,000	111,000	101,000	102,000	96,000	110,000
1.6×100×50×20	99,000	92,000	109,000	99,000	100,000	94,000	108,000
2.3×100×50×20	95,000	88,000	105,000	95,000	96,000	90,000	104,000
3.2×200×75×20	99,000	108,000	124,000	115,000	116,000	94,000	118,000
◇デッキ・プレート(カラー)							
1.6×614×50V型	124,000	135,000	147,000	136,000	130,000	125,000	145,000
1.2×614×50V型	128,000	139,000	151,000	141,000	134,000	129,000	149,000
◇合成スラブデッキ							
1.2×600×50（カラー）	140,000	143,000	166,000	150,000	150,000	145,000	155,000
1.2×600×50（めっき）	150,000	154,000	178,000	170,000	170,000	160,000	170,000

線材製品

（近郊持ち込み渡し）

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇丸釘（トン）							
100㍉（4㌅）	152,000	137,000	155,000	145,000	149,000	145,000	145,000
◇亜鉛引鉄線（トン）							
4.0㍉（8番）	190,000	190,000	190,000	190,000	187,000	198,000	197,000
2.0㍉（14番）	210,000	210,000	210,000	210,000	207,000	211,000	217,000
◇有刺鉄線（1ケース）							
2.0㍉(14番)×100M	2,000	1,950	2,000	2,130	2,150	2,100	2,350
◇鉄線4.0㍉（8番）(トン)							
規格線	137,000	130,000	135,000	137,000	137,000	135,000	140,000
一般用線	129,000	123,000	130,000	132,000	132,000	128,000	128,000
◇ナマシ鉄線（トン）							
4.0㍉（8番）	145,000	132,000	145,000	145,000	147,000	145,000	135,000
◇番線（1ケース）							
3.2㍉(10番)×700	2,550	2,400	2,600	2,580	2,650	2,550	2,450
◇結束線（U）(トン)							
0.8㍉(21番)×350	200,000	185,000	205,000	197,000	200,000	195,000	190,000
◇カラー鉄線（ビニール被覆）(トン)							
4.0㍉（8番）	300,000	235,000	250,000	240,000	250,000	250,000	240,000
◇磨棒鋼（トン）							
16㍉	160,000	160,000	160,000	170,000	175,000	165,000	165,000
50㍉	165,000	165,000	165,000	175,000	180,000	169,000	169,000

特殊鋼

	東京	大阪	名古屋
◇機械構造用炭素鋼（SC、丸鋼、キロ）			
S25C―S55C	90	90	99
◇クロム・モリブデン鋼（SCM、丸鋼、キロ）			
SCM420・435・440	115	115	124
◇ニッケル・クロム鋼（丸鋼、キロ）			
SNC631	347	347	―
SNC415	317	317	―
◇ニッケル・クロム・モリブデン鋼（丸鋼、キロ）			
SNCM439	307	307	―
SNCM220	247	247	―
SNCM630	497	497	―
◇工具鋼（平鋼、圧延材、キロ）			
炭素工具鋼			
SKS93	330	330	330
合金工具鋼			
SKS3	500	500	500
ダイス鋼			
SKD11	650	650	650
SKD61	600	600	―
高速度鋼（丸鋼）			
SKH57	6,000	5,600	―
SKH55	4,500	4,300	―
SKH51	2,400	2,300	―
◇軸受鋼（丸鋼、キロ）			
SUJ2	200	200	―

合金鉄

（キログラム当たり円）

大口ユーザー向け、国内相場

	高値	安値
◇フェロマンガン高炭素1号	158	153
◇フェロシリコン2号	155	152
◇シリコマンガン1号	137	131
◇フェロクロム高炭素6号（純分52%）	144	141
◇フェロモリブデン（純分キログラム当たり）	2,100	2,000
◇フェロバナジウム（純分キログラム当たり）	2,145	2,072
◇メタリックシリコン（中国産）	238	234

溶接材料

	東京	大阪
◇溶接材料（キロ、市場価格）(1.2㍉・スプール)		
軟鋼ソリッドワイヤ	310	310

ステンレス

	東京	大阪	名古屋
◇冷延ステンレス鋼板（薄板、キロ）			
SUS430（18Cr）			
0.3	335	335	360
0.5	285	285	310
0.8	255	255	280
2.0	230	235	260
SUS304（18Cr―8Ni）			
0.3	395	395	415
0.5	345	345	365
0.8	315	315	335
2.0	290	290	310
◇熱延ステンレス鋼板（厚中板、キロ）			
SUS304（18Cr―8Ni）			
3―6(ホットカットシート)	300	300	320
7―14（4段品）	460	460	480
SUS316（18Cr―12Ni）			
3―6	485	485	510
7―14	645	645	670
◇ステンレス棒鋼（丸鋼、キロ）			
SUS403（13Cr）	390	390	400
SUS304(18Cr―8Ni)	470	470	480
SUS316(18Cr―12Ni)	670	670	680

ボルト

	東京	大阪
◇カットボルト（1本）(ユニクロ)		
W1/2×25㍉	12.60	12.60
◇中ボルト（1本）(クロメート、ユニクロ)		
M16×50	14.90	14.90
M20×60	28.70	28.70
◇高力ボルト（トルシア）(1セット)		
S10T20×60	102.76	96.34
◇冷間ホーマーナット（1個）(ユニクロ)		
M12	3.50	3.50
M16	8.80	8.80

鋼線

	東京	大阪
◇鋼線（60C）(トン)		
4.0㍉（8番）	190,000	190,000
◇ピアノ線		
A種1.0㍉	725,000	725,000
A種2.0㍉	470,000	450,000
◇ワイヤロープJIS6×24（メッキなし、200㍍1巻）		
9㍉	38,500	38,000
10㍉	42,000	41,000
12㍉	49,500	44,000

金網

	東京	大阪	名古屋
◇金網(910×30㍍1巻)			
平織0.8×6㍉	11,000	10,500	11,000
亀甲0.7×16㍉	4,000	4,000	4,400
亀甲0.8×26㍉	3,400	3,400	3,800
◇ひし形金網（亜鉛引き、1平方㍍）			
3.2×56㍉	700	600	650
◇溶接金網（1平方㍍）			
6×150㍉	500	500	480
5×150㍉	350	350	320
3.2×100㍉	300	300	300
◇メタルラス（610×1.829㍉1枚）			
270番	110	110	90
300番（JIS0号）	150	120	100

特殊釘

	東京	大阪	名古屋
◇セメントコート釘（キロ）			
12×65	220	240	230
◇スクリュー釘（キロ）			
10×65	250	270	270
◇ボード釘（キロ）			
16×25	390	350	340
◇傘釘（キロ）			
13×38	400	370	420
◇カラー傘釘（キロ）			
13×38	390	380	490
◇コンクリート釘（500㌘）			
12×25	195	200	210
12×38	185	200	200
8×65	135	150	150
◇カラー釘（キロ）			
15×25（平頭）	390	390	430
17×25（ケーシング）	450	420	450
◇コーススレッド（700本入、1箱）			
3.8×25	400	400	420
◇トタン釘（キロ）			
13×38	260	250	260
◇ステンレス釘（スクリュー）			
16×25	960	1,000	1,050

国際非鉄金属相場ウイークリー

ロンドン非鉄相場

9月第2週

（単位：トン当たりドル）

		現物 前場 買	現物 前場 売	現物 後場 買	現物 後場 売	セツルメント	先物 前場 買	先物 前場 売	先物 後場 買	先物 後場 売	出来高
▽銅	12日	4572.50	4573.00	4617.00	4619.00	4573.00	4593.00	4595.00	4636.00	4638.00	146359
	13日	4641.00	4641.50	4627.00	4629.00	4641.50	4663.00	4664.00	4645.00	4647.00	140750
	14日	4694.00	4694.50	4719.00	4724.00	4694.50	4711.00	4713.00	4735.00	4740.00	127086
A	15日	4725.00	4727.00	4757.00	4759.00	4727.00	4743.00	4744.00	4773.00	4775.00	103585
G	16日	4733.00	4733.50	4763.50	4768.50	4733.50	4750.00	4752.00	4780.00	4785.00	108338
	平均	4673.10	4673.90	4696.70	4699.90	4673.90	4692.00	4693.60	4713.80	4717.00	
▽鉛	12日	1863.00	1864.00	1867.50	1869.50	1864.00	1870.00	1871.00	1877.00	1879.00	32748
	13日	1902.50	1903.00	1875.00	1877.00	1903.00	1909.00	1909.50	1884.00	1886.00	43943
	14日	1903.00	1904.00	1911.50	1913.50	1904.00	1911.50	1912.00	1920.00	1922.00	40668
	15日	1935.50	1936.00	1927.00	1929.00	1936.00	1942.00	1942.50	1933.00	1935.00	26752
	16日	1935.50	1936.00	1934.50	1939.50	1936.00	1935.00	1937.00	1935.00	1940.00	28689
	平均	1907.90	1908.60	1903.10	1905.70	1908.60	1913.50	1914.40	1909.80	1912.40	
▽亜	12日	2249.50	2250.00	2255.50	2257.50	2250.00	2258.00	2259.00	2266.00	2268.00	120072
鉛	13日	2259.50	2260.00	2230.50	2232.50	2260.00	2268.00	2269.00	2241.00	2243.00	164803
	14日	2231.00	2232.00	2234.50	2236.50	2232.00	2240.00	2245.00	2247.00	2249.00	93863
S	15日	2245.50	2246.00	2225.00	2227.00	2246.00	2255.00	2257.00	2238.00	2240.00	95860
H	16日	2202.50	2203.00	2200.50	2202.50	2203.00	2214.00	2215.00	2215.00	2217.00	97536
G	平均	2237.60	2238.20	2229.20	2231.20	2238.20	2247.00	2249.00	2241.40	2243.40	
▽錫	12日	19200.00	19205.00	19150.00	19200.00	19205.00	19150.00	19175.00	19100.00	19150.00	5685
	13日	19270.00	19275.00	19160.00	19210.00	19275.00	19200.00	19250.00	19125.00	19175.00	4995
	14日	19265.00	19270.00	19280.00	19330.00	19270.00	19200.00	19250.00	19250.00	19300.00	5383
H	15日	19375.00	19400.00	19285.00	19335.00	19400.00	19270.00	19280.00	19250.00	19300.00	4736
G	16日	19100.00	19125.00	19035.00	19085.00	19125.00	19100.00	19125.00	19025.00	19075.00	3995
	平均	19242.00	19255.00	19182.00	19232.00	19255.00	19184.00	19216.00	19150.00	19200.00	
▽ニ	12日	10020.00	10025.00	10005.00	10055.00	10025.00	10065.00	10080.00	10050.00	10100.00	51178
ッ	13日	10010.00	10015.00	9855.00	9905.00	10015.00	10060.00	10065.00	9900.00	9950.00	56499
ケ	14日	9760.00	9770.00	9725.00	9775.00	9770.00	9750.00	9775.00	9775.00	9825.00	62615
ル	15日	9740.00	9745.00	9700.00	9710.00	9745.00	9775.00	9825.00	9750.00	9760.00	52815
	16日	9645.00	9650.00	9675.00	9700.00	9650.00	9690.00	9700.00	9725.00	9750.00	48254
	平均	9835.00	9841.00	9792.00	9829.00	9841.00	9868.00	9889.00	9840.00	9877.00	
▽ア	12日	1545.00	1545.50	1547.50	1549.50	1545.50	1565.00	1565.50	1567.00	1569.00	174140
ル	13日	1556.00	1556.50	1545.50	1547.50	1556.50	1573.00	1573.50	1562.00	1564.00	195876
ミ	14日	1552.00	1552.50	1562.50	1564.50	1552.50	1565.00	1565.50	1578.00	1580.00	204812
ミ	15日	1559.50	1560.00	1556.00	1558.00	1560.00	1573.00	1573.50	1569.00	1571.00	157542
H	16日	1559.00	1560.00	1567.50	1569.50	1560.00	1568.00	1568.50	1579.00	1581.00	117862
G	平均	1554.30	1554.90	1555.80	1557.80	1554.90	1568.80	1569.30	1571.00	1573.00	
▽ア	12日	1555.00	1565.00	1555.50	1565.50	1565.00	1575.00	1585.00	1575.00	1585.00	476
ア	13日	1555.00	1565.00	1556.00	1566.00	1565.00	1575.00	1585.00	1575.00	1585.00	126
ル	14日	1555.00	1565.00	1556.00	1566.00	1565.00	1575.00	1585.00	1575.00	1585.00	188
ミ	15日	1555.00	1565.00	1557.00	1567.00	1565.00	1575.00	1585.00	1575.00	1585.00	176
合	16日	1555.00	1565.00	1557.50	1567.50	1565.00	1575.00	1585.00	1575.00	1585.00	548
金	平均	1555.00	1565.00	1556.40	1566.40	1565.00	1575.00	1585.00	1575.00	1585.00	
▽ア	12日	1712.50	1713.50	1714.50	1724.50	1713.50	1735.00	1740.00	1735.00	1745.00	800
ル	13日	1718.00	1720.00	1716.50	1726.50	1720.00	1740.00	1745.00	1735.00	1745.00	4554
ミ	14日	1718.00	1721.00	1717.50	1727.50	1721.00	1735.00	1745.00	1735.00	1745.00	1177
合	15日	1717.00	1719.00	1718.50	1728.50	1719.00	1735.00	1745.00	1735.00	1745.00	2120
金	16日	1715.00	1716.00	1713.50	1723.50	1716.00	1730.00	1740.00	1730.00	1740.00	1410
	平均	1716.10	1717.90	1716.10	1726.10	1717.90	1735.00	1743.00	1734.00	1744.00	

▽コバルト

	現物 買	現物 売	先物 買	先物 売	出来高
12日	26500.00	27000.00	26500.00	27000.00	15
13日	26500.00	27000.00	26500.00	27000.00	0
14日	26500.00	27000.00	26500.00	27000.00	1
15日	26500.00	27000.00	26500.00	27000.00	0
16日	26500.00	27000.00	26500.00	27000.00	0
平均	26500.00	27000.00	26500.00	27000.00	

▽モリブデン

	現物 買	現物 売	先物 買	先物 売	出来高
12日	15750.00	16250.00	15750.00	16250.00	0
13日	15750.00	16250.00	15750.00	16250.00	0
14日	15750.00	16250.00	15750.00	16250.00	0
15日	15750.00	16250.00	15750.00	16250.00	0
16日	15750.00	16250.00	15750.00	16250.00	0
平均	15750.00	16250.00	15750.00	16250.00	

NY非鉄相場

銅週間推移

（9月2週）

	9月限	10月限	11月限	12月限	出来高
12日	2.0960	2.0985	2.0995	2.1000	89180
13日	2.0955	2.0990	2.1000	2.1015	66816
14日	2.1480	2.1515	2.1535	2.1550	74534
15日	2.1520	2.1555	2.1570	2.1595	59390
16日	2.1515	2.1550	2.1570	2.1600	45911
平均	2.1300				

（単位：ポンド当たりドル）

上海先物相場

銅週間推移

（9月2週）

	9月限	10月限	11月限	12月限
12日	36340	36330	36360	36350
13日	36520	36510	36480	36490
14日	36660	36660	36640	36660
15日	—	—	—	—
16日	—	—	—	—
平均	36506.67			

（単位：トン当たり元）

アルミ週間推移

（9月2週）

	9月限	10月限	11月限	12月限
12日	12530	12210	11975	11845
13日	12585	12255	12025	11870
14日	12565	12195	11925	11770
15日	—	—	—	—
16日	—	—	—	—
平均	12560.00			

（単位：トン当たり元）

亜鉛週間推移

（9月2週）

	9月限	10月限	11月限	12月限
12日	17805	17880	17880	17835
13日	17805	17780	17770	17755
14日	17570	17635	17620	17605
15日	—	—	—	—
16日	—	—	—	—
平均	17726.67			

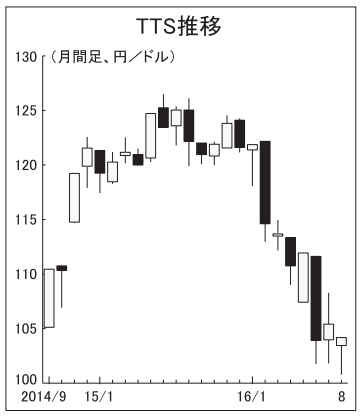
（単位：トン当たり元）

クアラルンプール錫

9月	第1週	9月	第2週
5日	19.330	12日	—
6日	19.300	13日	19.200
7日	19.450	14日	19.150
8日	19.600	15日	19.200
9日	19.600	16日	—
高値	19.600	高値	19.200
安値	19.300	安値	19.150

（単位：キロ当たり米ドル）

TTS推移



国際相場動向

9月17日入電（現地16日）

銅続伸、亜鉛・ニッケル下落

LME

■銅＝直物はロンドン金属取引所（LME）の公式値ベースで7.25ドル高の4733.25ドル、3カ月物は7.50ドル高の4751.00ドル。カーブ取引は6.00ドル高の4787.00ドルと続伸した。

英ファースト・マーケッツのアナリスト、ウィリアム・アダムズ氏は「中国が祝日（で休場）だったため、ロンドンも極めて閑散としていた。（中国の）統計で良い内容が続いているため、中国の休場明けには一段高も予想される」と話した。

■アルミ＝直物は0.25ドル安の1559.50ドル、3カ月物は5.00ドル安の1568.25ドル。カーブ取引は1575.00―1576.00ドルの気配値で引けた。

■ニッケル＝直物は95.00ドル安の9647.50ドル、3カ月物は105.00ドル安の9695.00ドル。カーブ取引は15.00ドル高の9725.00ドル。

■鉛＝直物は横ばいの1935.75ドル、3カ月物は6.25ドル安の1936.00ドル。カーブ取引は10.00ドル安の1937.00ドル。

■亜鉛＝直物は43.00ドル安の2202.75ドル、3カ月物は41.50ドル安の2214.50ドル。カーブ取引は16.00ドル安の2215.00ドル。

■錫＝直物が275.00ドル安の1万9112.50ドル、3カ月物は162.50ドル安の1万9112.50ドル。カーブ取引は55.00ドル高の1万9100.00ドル。（ロンドン時事）

COMEX

■銅＝続伸。不安定な展開の中、4週間ぶり高値で引けた。今週は中国の堅調な経済指標が買いを支援した。

12月限の清算値は0.02％高の216.00セントで、8月19日以来の高値。

中国の投資家は中秋節の連休で19日まで休みのため、市場は静かだった。マレックス・スペクトロンのアナリストによると、出来高は3週間平均の3分の1程度だった。（DJ時事）

貴金属概況

金、3カ月ぶり安値

■NY金＝週末16日のニューヨーク商品取引所（COMEX）の金塊先物相場は、米インフレ指標の発表を受けてドルが対ユーロで買われたことに伴う割高感などから続落した。12月物の清算値は前日比7.80ドル安の1オンス＝1310.20ドルと、中心限月の清算値ベースで6月23日以来約3カ月ぶりの安値を付けた。

米労働省が朝方発表した8月の消費者物価指数は前月から0.2％上昇、コア指数も03％上昇し、いずれも市場予想を上回った。これを受けて、米連邦準備制度理事会（FRB）が年内には利上げに動けるとの観測が強まり、金利を生まない資産である金相場は圧迫を受けた。また、外国為替市場ではこの指標を受けてドルが対ユーロで上昇、ドル建てで取引される金に割高感が生じたことも相場を押し下げる要因となった。

ただ、この日は原油安などを嫌気して米株相場も反落し、金に「質への逃避買い」が入る場面も見られた。

金塊現物相場は午後1時48分現在、8.860ドル安の1307.500ドル。（ニューヨーク時事）

■ロンドン金＝週末16日のロンドン自由金市場の金塊相場は3日続落。1オンス＝1311.225ドルと、前日終値比8.655ドル安で引けた。

金塊相場は終日軟調。午後には予想比強めの米消費者物価を受けてドル高が進み、一段と売り圧力が強まった。ファースト・マーケッツのアナリスト、ウィリアム・アダムズ氏は「金塊は地合いが弱い。6月から値固めを続けてきたが、雰囲気が変わった」と指摘した上で、「今は下値を試している状況で、1300ドルを割れば一気に下抜けするだろう」との見方を示した。

金塊は、1314.97ドルで寄り付き、午前は1314.25ドルで値決めされた。午後の値決めは1308.35ドル。（ロンドン時事）

■NY銀＝続落。先物12月限の清算値は17.9セント安の1886.2セント。

現物は米東部時間午後2時31分時点で、0.8％安の1880セント。（ロイターES時事）

■NY白金＝白金10月限は続落し、清算値は前営業日比16.20ドル安の1オンス＝101760ドル。

パラジウム12月限は3営業日続伸。清算値は同15.80ドル高の1オンス＝672.40ドルとなった。（ニューヨーク時事）

LME在庫

（トン）

	14日現在	15日現在		
銅	349,225	349,000	⊖	225
錫	3,930	3,835	⊖	95
鉛	187,850	187,850		0
亜鉛	445,575	444,450	⊖	1,125
アルミHG	2,172,975	2,166,925	⊖	6,050
アルミ合金	11,680	11,680		0
ニッケル	367,806	366,966	⊖	840

LME場外

【後場値動き】　9月16日

（3カ月先物:始値、買高値、売安値、終値の順）

銅	4785―4788―4785―4787
錫	19100―19075―19100―19100
鉛	1942―1942―1937―1937
亜鉛	2215―2214―2215―2215
アルミHG	0―1574―1580―0
ニッケル	9725―9680―9730―9725

COMEX在庫

（単位:銅はトン、金・銀はトロイオンス）

	15日	16日		増減
銅	70,109	70,276	⊕	167
金	10,881,286	10,787,853	⊖	93,433
銀	167,791,011	169,290,849	⊕	1,499,838

COMEX取組残高

	9月15日	増減
銅	194,947	⊖4,922
金	570,619	⊖3,204
銀	192,474	⊖992

上海先物取引所在庫

（トン）

	9月14日	前週	増減
銅	136,329	143,716	⊖7,387
アルミ	118,438	125,875	⊖7,437
亜鉛	185,313	186,247	⊖934

国際貴金属相場

9月第2週

（単位：トロイ・オンス当たり）

▽NYコメックス金（セツルメント・ドル）

	9月	10月	11月	12月	2月	4月	6月	8月	出来高
12日	1321.00	1321.60	1323.10	1325.60	1329.10	1331.90	1334.50	1337.20	209449
13日	1319.00	1319.60	1321.10	1323.70	1327.30	1330.20	1332.90	1335.70	199038
14日	1321.50	1322.00	1323.50	1326.10	1329.70	1332.80	1335.50	1338.30	154864
15日	1313.50	1314.00	1315.70	1318.00	1321.60	1324.60	1327.30	1330.10	229978
16日	1305.80	1306.20	1307.80	1310.20	1313.70	1316.80	1319.50	1322.30	139142

▽NYコメックス銀（セツルメント・ドル）

	9月	10月	11月	12月	1月	3月	5月	7月	出来高
12日	18.9150	18.9310	18.9610	19.0000	19.0340	19.1050	19.1720	19.2350	84378
13日	18.8900	18.9040	18.9350	18.9750	19.0090	19.0800	19.1470	19.2100	63445
14日	18.9820	18.9950	19.0260	19.0660	19.1000	19.1710	19.2390	19.3020	38659
15日	18.9590	18.9700	19.0010	19.0410	19.0750	19.1460	19.2140	19.2770	47175
16日	18.7810	18.7920	18.8230	18.8620	18.8970	18.9660	19.0340	19.0970	41344

▽NYマーカンタイルプラチナ（セツルメント・ドル）

	9月	10月	11月	出来高
12日	1041.30	1042.90	1044.50	24275
13日	1034.40	1036.00	1037.60	19558
14日	1039.30	1040.90	1042.20	16368
15日	1032.20	1033.80	1035.00	15355
16日	1016.00	1017.60	1018.70	16129

▽NYマーカンタイルパラジウム（セツルメント・ドル）

	9月	10月	11月	出来高
12日	656.70	656.35	656.25	6288
13日	656.10	655.75	655.65	4493
14日	656.50	656.15	656.05	3716
15日	656.60	656.25	656.15	3175
16日	672.85	672.50	672.40	4741

▽ジョンソン・マッセイ社白金族建値（トロイ・オンス当たりドル）

	プラチナ	パラジウム	イリジウム	ロジウム	ルテニウム
12日	1045.00	665.00	650.00	675.00	42.00
13日	1049.00	660.00	650.00	675.00	42.00
14日	1037.00	655.00	650.00	675.00	42.00
15日	1033.00	658.00	650.00	675.00	42.00
16日	1014.00	658.00	650.00	675.00	42.00

▽米社金銀建値（金はドル、銀はセント）

	ハンディハーマン金	エンゲルハード金	ハンディハーマン銀	エンゲルハード銀
12日	1324.60	1327.90	1884.50	1895.00
13日	1323.65	1329.91	1895.50	1908.00
14日	1321.75	1322.89	1906.00	1895.00
15日	1310.80	1320.39	1911.00	1895.00
16日	1308.35	1312.88	1879.50	1892.00

▽自由金相場（現物・ドル）（午後）

	チューリヒ	ロンドン
12日	1335.1～1339.1	1324.60
13日	1316.5～1320.5	1323.65
14日	1318.3～1322.3	1321.75
15日	1313～1317	1310.80
16日	1303.15～1303.95	1308.35

▽ロンドン自由銀（ペンス建て）

	現物	3カ月
12日	1411.34	—
13日	1444.40	—
14日	1442.42	—
15日	1432.24	—
16日	1435.73	—

▽ロンドン自由銀（セント建て）

	現物	3カ月
12日	1872.00	—
13日	1916.00	—
14日	1904.00	—
15日	1896.00	—
16日	1891.00	—

▽ロンドン・プラチナ（午前）

	ポンド建て	ドル建て
12日	—	1049.00
13日	—	1055.00
14日	—	1041.00
15日	—	1034.00
16日	—	1027.00

▽ロンドン・パラジウム（午後）

	ポンド建て	ドル建て
12日	—	665.00
13日	—	657.00
14日	—	653.00
15日	—	656.00
16日	—	656.00

【取引単位と基準品位】

品目	取引所		取引単位	品位
金	NYコメックス	1,000	トロイオンス	0.995
	シカゴIMM	1,000	〃	0.995
銀	NYコメックス	1,000	〃	0.995
プラチナ	NYマーカンタイル	1,000	〃	0.995
パラジウム	NYマーカンタイル	1,000	〃	0.995

（ロンドン自由銀、チューリヒ自由金は0.995）

国内非鉄相場

9月第2週
（9月12日～9月16日）

品目	始値	高値	安値	終値	平均	前週平均
金地金	4,396	4,396	4,341	4,341	4374.80	4433.60
銀地金	69,660	69,980	69,660	69,760	69828.00	72226.00
白金	3,877	3,877	3,775	3,775	3824.40	3959.60
電気銅	499	513	495	511	503.80	499.20
	497	511	493	509	501.80	497.20
電気亜鉛	277	277	273	273	274.60	282.00
	277	277	273	273	274.60	282.00
蒸留亜鉛	265	265	261	261	262.60	270.00
	265	265	261	261	262.60	270.00
電気鉛	252	252	245	245	246.40	249.60
	252	252	245	245	246.40	249.60
錫1号	2,200	2,200	2,140	2,140	2152.00	2170.00
	2,200	2,200	2,140	2,140	2152.00	2170.00
アルミ地金（99.7%）	198	200	196	198	197.80	200.40
	196	198	194	196	195.80	198.40
アルミ小板（2S1.0ミリ）	480	480	480	480	480.00	480.00
	490	490	490	490	490.00	490.00
銅小板（2.0ミリ）	785	785	785	785	785.00	785.00
	760	770	760	770	764.00	760.00
快削黄銅棒（25ミリ）	540	540	540	540	540.00	540.00
	535	540	535	540	537.00	535.00
黄銅条（1×100）	705	705	705	705	705.00	705.00
	665	670	665	670	667.00	669.00
1号銅線	470	478	470	478	473.20	470.00
	471	479	471	479	474.20	471.00
上銅（新切れ）	443	451	443	451	446.20	443.00
	444	452	444	452	447.20	444.00
下銅（製錬向け）	366	374	366	374	369.20	366.00
	368	376	368	376	371.20	368.00
新切れ黄銅（セバ）	371	372	371	372	371.40	371.00
	365	366	365	366	365.40	365.00
新切れ黄銅（コーペル）	340	341	340	341	340.40	340.00
	341	342	341	342	341.40	341.00
黄銅削り粉	335	336	335	336	335.40	335.00
	337	338	337	338	337.40	337.00
新切アルミ1級	121	121	121	121	121.00	121.00
	121	121	121	121	121.00	121.00
合金アルミ新	111	111	111	111	111.00	111.00
	110	110	110	110	110.00	110.00
機械鋳物アルミ	106	106	106	106	106.00	106.00
	101	101	101	101	101.00	101.00
IV線（1.6ミリ）	18.8	18.8	18.8	18.8	18.80	18.80
	18.8	18.8	18.8	18.8	18.80	18.80
CVT（38SQ×3心）	954	954	954	954	954.00	954.00
	954	954	954	954	954.00	954.00
VVF（1.6ミリ×2心）	30	30	30	30	30.00	30.00
	30	30	30	30	30.00	30.00

①本社調査日の高値ベース
②全品目とも上段が東京、下段が大阪（貴金属は東西同値）
③単位キロ当たり円、金は山元建値、白金は小口向けでグラム当たり円、銀は小口向けでキロ当たり円④電線はメートル当たり円

国際相場動向

9月20日入電（現地19日）

銅反落 日米金融政策焦点に

LME

■銅＝直物はロンドン金属取引所（LME）の公式値ベースで2.00ドル安の4731.25ドル、3カ月物は1.50ドル高の4752.50ドル。カーブ取引は11.00ドル安の4776.00ドルと反落した。

ソシエテ・ジェネラルのアナリスト、ロビン・バー氏によると、非鉄市場でも「日米の金融政策決定会合が最大の焦点となっている」という。同氏は、中国経済の減速見通しについて、「ハードランディングに至る可能性を30%から20%に切り下げた。非鉄需要が中国政府の刺激策による下支えを受けているのは明らかで、刺激策が続く限り、大きな問題は起きないとみている」と話した。

■アルミ＝直物は1.25ドル安の1558.25ドル、3カ月物は7.25ドル高の1575.50ドル。カーブ取引は11.00ドル高の1583.00ドル。

■ニッケル＝直物は270.00ドル高の9917.50ドル、3カ月物は270.00ドル高の9965.00ドル。カーブ取引は425.00ドル高の1万0150.00ドル。

■鉛＝直物は1.00ドル高の1936.75ドル、3カ月物は5.00ドル高の1941.00ドル。カーブ取引は16.00ドル高の1953.00ドル。

■亜鉛＝直物は12.50ドル高の2215.25ドル、3カ月物は9.00ドル高の2223.50ドル。カーブ取引は36.00ドル高の2251.00ドル。

■錫＝直物が280.00ドル高の1万9392.50ドル、3カ月物は287.50ドル高の1万9400.00ドル。カーブ取引は250.00ドル高の1万9350.00ドル。（ロンドン時事）

COMEX

■銅＝反落。中国での生産増加が重しとなった。12月限の清算値は0.2%安の215.65セント。

銅の最大消費地、中国での景況感改善を受け、銅相場は前週末までに4週間ぶり高値に上昇していた。しかし、中国の銅生産が6カ月ぶりの高水準となり、供給過剰懸念が増大した。コメルツバンクは、中国の不動産市場をめぐる懸念が、銅需要を抑える可能性を指摘している。（DJ時事）

この日の外国為替市場ではドルが対ユーロで下落し、ドル建てで取引される金は割安感などを背景に堅調に推移。また、週末に約3カ月ぶりの安値を付けていたこともあり、安値拾いの買いやショートカバーも入った。

翌日から開催される米連邦公開市場委員会（FOMC）では利上げ見送りがほぼ確実視されているが、年内利上げに向けて何らかのシグナルが送られる可能性もあることから、この日は様子見ムードも強く、上げ幅は限定的だった。

金塊現物相場は午後1時44分現在、6.560ドル高の1314.060ドル。（ニューヨーク時事）

■ロンドン金＝日銀の金融政策決定会合と米連邦公開市場委員会（FOMC）を控えた様子見ムードが広がる中を小反発し、金塊相場は前週末比2.185ドル安の1オンス＝1313.41ドルで終了した。

この日の金塊は1310ドル台の狭いレンジに終始。ソシエテ・ジェネラルのアナリスト、ロビン・バー氏は「ほぼ様子見の展開だった。日米の金融政策決定会合の結果が判明するまで、この状況が続くと思われる。（米国の）利上げ見通しが明確にならなければ、金相場は上昇する可能性がありそうだ」と話した。

金塊は1316.145ドルで寄り付き、午前は1315.05ドルで値決めされた。午後の値決めは1314.85ドル。（ロンドン時事）

■NY銀＝反発。先物12月限の清算値は42.8セント高の1929.0セント。

現物は米東部時間午後3時32分時点で1.9%高の1912セント。（ロイターES時事）

■NY白金＝白金10月限は3営業日ぶりに反発し、清算値は前営業日比6.10ドル高の1オンス＝1023.70ドル。

パラジウム12月限は4営業日続伸。清算値は同13.85ドル高の1オンス＝686.25ドルとなった。（ニューヨーク時事）

貴金属概況

NY金、3日ぶり反発

■NY金＝対ユーロでのドル下落に伴う割安感などに支えられ、3営業日ぶりに反発した。12月物の清算値は前週末比7.60ドル高の1オンス＝1317.80ドル。

非鉄相場モーニングコールサービス

非鉄相場データを入電当日、朝7時台からEメール・FAX配信!

（海外コース）
LME・NYC・貴金属・レアメタル・上海など150以上のデータを網羅

（国内コース）
海外コース＋国内の銅・鉛・亜鉛建値、国内市中相場（主要58品種）も配信可能

▶Eメール配信の場合はエクセル・ワード両ファイルでお渡しするのでデータ管理、情報整理が便利。

お試し期間1週間を設けていますので、お気軽にお申し込み下さい。

料金・データに関するお問い合わせ、お申し込みはこちらまで

→ http://www.japanmetal.com/soba-deli

産業新聞社　東京本社　メディア事業部
TEL:03(5566)8776
E-mail:sangyo@sangyo.co.jp

海外非鉄News

フィリピン
10鉱山超が追加停止か
政府、環境対策に強い姿勢

【マニラ・ロイターES＝時事】フィリピンの鉱山が環境規制の強化を受けて操業停止に直面している問題で、ロペス環境天然資源相は19日、さらに少なくとも10鉱山が対象になる可能性があると明らかにした。

ドゥテルテ大統領は鉱山業界に対して厳しい姿勢で臨んでおり、鉱業なしでもフィリピンは成り立つと警告している。業界は規制見直しを「破壊キャンペーン」と決めつけている。

フィリピンでは7月8日に実施した環境対策に関する政府監査以降、これまでに10鉱山の操業が停止。このうち8つはニッケル鉱山であることから、世界的なニッケル価格の上昇につながっている。

現時点で30鉱山が操業を続けているものの、ロペス資源相は政府監査の結果が22日に公表されれば、追加操業停止が起きる可能性に言及した。

資源相は操業を停止する鉱山が10以上になるのかを問われ、テキストメッセージで「可能性はある」と回答。「過去数十年にわたり、苦しむ住民に対して目を閉じていたが、もうそうはしない」と強調した。

熱心な環境保護活動家だったロペス氏は、環境や地域社会への悪影響に歯止めを掛けるため、鉱山会社は操業を改善する必要があると訴えた。

一方で鉱山業界側は、政府監査に反鉱業活動家が含まれていることに疑問を呈している。

フィリピンは中国向けニッケル鉱石の最大輸出国。

英アングロ
賃金交渉で合意
ロス・ブロンセス銅山

【サンティアゴ・ロイターES＝時事】英資源大手アングロ・アメリカンは16日、チリ中央部のロス・ブロンセス銅山の労組2団体と賃金交渉で合意し、1週間にわたったストが収束したと発表した。

同日の午前中から通常操業に戻り始めており、スト期間中の生産量への影響は、次の四半期決算で報告すると説明した。

銅部門の責任者は「ロス・ブロンセスの作業員との合意を尊重する。新たな労働協約に署名する運びとなった」と述べた。作業員らは、スト前に会社側が提示していた額を拒否していたが、最終的に受け入れたという。

ロス・ブロンセスは、傘下のアングロ・アメリカン・スール社が運営する主力鉱山。2015年の産銅量は43万7800トンだった。

加バリック社長
負債20億ドル 年内に削減

【デンバー・ロイターES＝時事】産金世界最大手、カナダのバリック・ゴールドのダッシュニスキー社長は19日、当地の業界会合で、ロイター通信のインタビューに応じ、資産を売却しなくても、年末までに20億ドルの負債を削減する目標を達成できるとの見方を示した。

ダッシュニスキー社長は、「金価格が現在の水準を維持すれば、資産の売却を行っても、行わなくても、20億ドルの負債圧縮目標を達成できると確信している」と語った。

金価格は、年初から24%上昇し、オンス当たり1313ドルを付け、鉱山各社のキャッシュフローを押し上げている。

バリックは、巨額の負債を圧縮するため、非中核資産の売却を進めてきた。7月には、オーストラリアで操業するカルグーリー鉱山の権益50%を売却する計画を明らかにした。

ダッシュニスキー社長は、売却手続きは「進んで」おり、年末までに終える予定だが、来年にずれ込むかもしれないと説明した。

今年6月末時点では、9億6800万ドルの負債を圧縮した。第3四半期は、2億7300万ドルを圧縮する計画。20億ドルを圧縮するには、年末までにさらに7億5900万ドルを削減する必要がある。

日刊産業新聞携帯サイト　QRコード　http://www.japanmetal.com/m/

国際非鉄金属相場

LME相場

2016年9月20日入電（現地9月19日）　（単位：ドル）

出来高はロット数、1ロットは銅・鉛・亜鉛・アルミHGが25トン、アルミ合金が20トン、ニッケル6トン、錫5トン、コバルト1トン、モリブデン純分6トン

			16日	19日
◇銅Aグレード				
現物	前場	買	4733.00	4731.00
		売	4733.50	4731.50
	後場	買	4763.50	4744.50
		売	4768.50	4746.50
先物	前場	買	4750.00	4750.00
		売	4752.00	4755.00
	後場	買	4780.00	4766.00
		売	4785.00	4768.00
セツルメント			4733.50	4731.50
出来高（ロット）			108338	165153
前月セツル平均			4758.20	4758.20
◇鉛				
現物	前場	買	1935.50	1936.50
		売	1936.00	1937.00
	後場	買	1934.50	1946.00
		売	1939.50	1948.00
先物	前場	買	1935.00	1940.00
		売	1937.00	1942.00
	後場	買	1935.00	1949.00
		売	1940.00	1951.00
セツルメント			1936.00	1937.00
出来高（ロット）			28689	33939
前月セツル平均			1838.89	1838.89
◇亜鉛SHG				
現物	前場	買	2202.50	2215.00
		売	2203.00	2215.50
	後場	買	2200.50	2231.00
		売	2202.50	2233.00
先物	前場	買	2214.00	2223.00
		売	2215.00	2224.00
	後場	買	2215.00	2245.00
		売	2217.00	2247.00
セツルメント			2203.00	2215.50
出来高（ロット）			97536	118373
前月セツル平均			2282.77	2282.77
◇ニッケル				
現物	前場	買	9645.00	9915.00
		売	9650.00	9920.00
	後場	買	9675.00	9965.00
		売	9700.00	9975.00
先物	前場	買	9690.00	9960.00
		売	9700.00	9970.00
	後場	買	9725.00	10015.00
		売	9750.00	10025.00
セツルメント			9650.00	9920.00
出来高（ロット）			48254	138039
前月セツル平均			10353.86	10353.86
◇コバルト				
現物	前場	買	26500.00	26500.00
		売	27000.00	27000.00
先物	前場	買	26500.00	26500.00
		売	27000.00	27000.00
セツルメント			27000.00	27000.00
出来高（ロット）			0	45
前月セツル平均			26477.73	26477.73

			16日	19日
◇錫HG				
現物	前場	買	19100.00	19390.00
		売	19125.00	19395.00
	後場	買	19035.00	19350.00
		売	19085.00	19400.00
先物	前場	買	19100.00	19395.00
		売	19125.00	19405.00
	後場	買	19025.00	19350.00
		売	19075.00	19400.00
セツルメント			19125.00	19395.00
出来高（ロット）			3995	5208
前月セツル平均			18413.41	18413.41
◇アルミHG				
現物	前場	買	1559.00	1558.00
		売	1560.00	1558.50
	後場	買	1567.50	1566.00
		売	1569.50	1568.00
先物	前場	買	1568.00	1575.00
		売	1568.50	1576.00
	後場	買	1579.00	1580.00
		売	1581.00	1582.00
セツルメント			1560.00	1558.50
出来高（ロット）			117862	171539
前月セツル平均			1641.52	1641.52
◇アルミ合金				
現物	前場	買	1555.00	1545.00
		売	1565.00	1555.00
	後場	買	1557.50	1557.50
		売	1567.50	1567.50
先物	前場	買	1575.00	1560.00
		売	1585.00	1570.00
	後場	買	1575.00	1575.00
		売	1585.00	1585.00
セツルメント			1565.00	1555.00
出来高（ロット）			548	1720
前月セツル平均			1567.27	1567.27
◇北米特殊アルミ合金（NASAAC）				
現物	前場	買	1715.00	1717.00
		売	1716.00	1725.00
	後場	買	1713.50	1720.00
		売	1723.50	1730.00
先物	前場	買	1730.00	1730.00
		売	1740.00	1740.00
	後場	買	1730.00	1735.00
		売	1740.00	1745.00
セツルメント			1716.00	1725.00
出来高（ロット）			1410	2479
前月セツル平均			1721.23	1721.23
◇モリブデン				
現物	前場	買	15750.00	15750.00
		売	16250.00	16250.00
先物	前場	買	15750.00	15750.00
		売	16250.00	16250.00
セツルメント			16250.00	16250.00
出来高（ロット）			0	0
前月セツル平均			16113.64	16113.64

LME在庫

（トン）

	15日現在	16日現在		
銅	349,000	349,625	⊕	625
錫	3,835	3,825	⊖	10
鉛	187,850	188,150	⊕	300
亜鉛	444,450	444,400	⊖	50
アルミHG	2,166,925	2,161,475	⊖	5,450
アルミ合金	11,680	11,680		0
ニッケル	366,966	366,858	⊖	108

LME場外

【後場値動き】　9月19日
（3カ月先物:始値、買高値、売安値、終値の順）

銅	4775—4774—4774—4776
錫	19350—19350—19375—19350
鉛	1952—1952—1952—1953
亜鉛	2250—2250—2252—2251
アルミHG	1583—1582—1583—1583
ニッケル	10130—10150—10130—10150

COMEX相場

2016年9月20日入電（現地9月19日）

	寄付	高値	安値	引値	セツルメント	前日セツルメント
◇銅（ドル／ポンド）						
16年09月	2.1370	2.1485	2.1370	—	2.1490	2.1515
16年10月	2.1450	2.1535	2.1350	—	2.1520	2.1550
16年11月	2.1540	2.1545	2.1515	—	2.1545	2.1570
16年12月	2.1570	2.1595	2.1390	—	2.1565	2.1600
17年01月	2.1580	2.1605	2.1460	—	2.1605	2.1640
17年02月	2.1605	2.1635	2.1580	—	2.1630	2.1660
17年03月	2.1635	2.1665	2.1490	—	2.1650	2.1680
17年04月	—	—	—	—	2.1695	2.1725
出来高49002枚　（1枚＝12.5ショートトン）　（前日47473枚）						
◇金（ドル／トロイオンス）						
16年09月	—	—	—	—	1313.50	1305.80
16年10月	1308.90	1317.50	1308.70	—	1313.80	1306.20
16年11月	1310.40	1318.30	1310.40	—	1315.50	1307.80
16年12月	1313.20	1321.80	1312.60	—	1317.80	1310.20
17年02月	1318.10	1325.20	1316.40	—	1321.40	1313.70
17年04月	1325.00	1325.70	1323.40	—	1324.30	1316.80
17年06月	1322.90	1328.10	1322.90	—	1327.00	1319.50
17年08月	1330.60	1330.60	1328.40	—	1329.60	1322.30
出来高131946枚　（前日152236枚）						
◇銀（ドル／トロイオンス）						
16年09月	18.8750	19.2350	18.8750	—	19.2060	18.7810
16年10月	19.1250	19.2700	19.1100	—	19.2190	18.7920
16年11月	19.1200	19.3000	19.1200	—	19.2510	18.8230
16年12月	18.8450	19.3800	18.8400	—	19.2900	18.8620
17年01月	18.8850	19.3950	18.8850	—	19.3250	18.8970
17年03月	18.9550	19.4650	18.9550	—	19.3950	18.9660
17年05月	19.2600	19.4750	19.2600	—	19.4630	19.0340
17年07月	19.4850	19.4850	19.4850	—	19.5260	19.0970
出来高48253枚　（前日44385枚）						
◇プラチナ（ドル／トロイオンス）						
16年09月	—	—	—	—	1022.10	1016.00
16年10月	1020.00	1032.70	1018.80	—	1023.70	1017.60
16年11月	1021.40	1021.40	1021.40	—	1024.80	1018.70
出来高15139枚　（前日17866枚）						
◇パラジウム（ドル／トロイオンス）						
16年09月	—	—	—	—	686.70	672.85
16年10月	—	—	—	—	686.35	672.50
16年11月	—	—	—	—	686.25	672.40
出来高4725枚　（前日5017枚）						

COMEX在庫

（単位:銅はトン、金・銀はトロイオンス）

	16日	19日		増減
銅	70,276	70,367	⊕	91
金	10,787,853	10,851,190	⊕	63,337
銀	169,290,849	170,444,416	⊕	1,153,567

COMEX取組残高

	9月16日	増減
銅	195,101	⊕154
金	565,539	⊖5,080
銀	191,496	⊖978

上海先物相場（SHFE）

（単位:トン当たり元、増値税込）

	現地09月19日	9月限	10月限	11月限	12月限	1月限
銅	セツルメント	37070	37090	37110	37100	37140
	出来高(5トン/ロット)	2,010	50,154	158,336	44,642	12,066
	14日セツルメント	36660	36660	36640	36660	36680
アルミ	セツルメント	12470	12200	11915	11745	11645
	出来高(5トン/ロット)	5,200	20,450	76,484	20,562	15,044
	14日セツルメント	12565	12195	11925	11770	11685
亜鉛	セツルメント	17540	17545	17530	17520	17505
	出来高(5トン/ロット)	1,200	30,936	214,076	67,194	21,426
	14日セツルメント	17570	17635	17620	17605	17580

上海先物取引所在庫

（トン）

9月14日		前週	増減
銅	136,329	143,716	⊖7,387
アルミ	118,438	125,875	⊖7,437
亜鉛	185,313	186,247	⊖934

クアラルンプール錫

（カッコ内出来高）
（キロ当たり米ドル）

9月19日	19.200ドル	(38.00トン)
9月20日	19.400ドル	(42.00トン)

欧州レアメタル価格

9月20日入電　（現地9月19日）（単位:ドル、カッコ内は円/キロ）

アンチ99.65%（トン）	7300 —	7800(752—803)
ビスマス99.9%（ポンド）	4.30 —	4.60(976—1,044)
カドミ99.99%（ポンド）	0.50 —	0.65(113—148)
クロム（中国）(トン)	7000 —	7300(721—752)
コバルトカソード(ポンド)	12.50 —	13.00(2,837—2,951)
〃 インゴット(ポンド)	12.00 —	12.50(2,724—2,837)
ガリウム99.99%（キロ）	120 —	150(12,354—15,443)
金属ゲルマニウム（キロ）	1175 —	1200(120,966—123,540)
二酸化ゲルマニウム（キロ）	850 —	900(87,508—92,655)
インジウム99.99%（キロ）	185 —	210(19,046—21,620)
イリジウム（トロイオンス）〔円／グラム〕	630 —	650(2,085—2,151)
マグネシウム99.9%(中国)（トン）	2200 —	2300(226—237)
金属マンガン99.7%（トン）	1800 —	1900(185—196)
フェロマンガン75—76%（トン）	620 —	650(64—67)
三酸化モリブデン（Mo純分ポンド）	7.10 —	7.50(1,611—1,702)
フェロモリブデン（西側）(Mo純分キロ)	17.50 —	18.00(1,802—1,853)
ロジウム（トロイオンス）〔円／グラム〕	655 —	675(2,168—2,234)
ルテニウム（トロイオンス）〔円／グラム〕	38.00 —	42.00(126—139)
セレニウム99.5—99.8%（ポンド）	8.50 —	10.00(1,929—2,270)
シリコン塊（トン）	1350 —	1500(139—154)
フェロシリコン（トン）	875 —	960(90—99)
スポンジチタン99.6%（キロ）	7.00 —	8.00(721—824)
フェロタングステン（キロ）	25.75 —	26.50(2,651—2,728)
タングステンAPT（WO_3純分10キロ）	175.0 —	190.0(1,802—1,956)
フェロバナジウム80%（V純分キロ）	18.50 —	19.20(1,905—1,977)
五酸化バナジウム（V_2O_5純分ポンド）	3.70 —	4.00(840—908)
タンタル（ポンド）	57.00 —	61.00(12,937—13,845)

外為相場（三菱東京UFJ銀行）

TTSの推移（円）

	米ドル	英ポンド	EUR（ユーロ）
8月 25日	101.51	137.27	114.79
26日	101.50	136.81	114.97
29日	102.85	137.57	115.46
30日	102.95	137.65	115.52
31日	104.18	138.90	116.45
9月 1日	104.18	139.44	116.58
2日	104.31	141.11	117.23
5日	104.93	142.15	117.48
6日	104.60	141.85	116.93
7日	102.37	139.95	115.53
8日	102.64	139.72	115.82
9日	103.28	140.17	116.73
12日	103.64	140.19	116.94
13日	102.58	139.32	115.55
14日	103.83	139.37	116.84
15日	103.50	139.95	116.78
16日	103.00	138.92	116.15
20日	102.95	136.88	115.37

米国非鉄金属価格

9月20日入電　（現地9月19日）

【ニューヨーク市中】		
銅地金(セント)	219.90—	220.90セント
パラジウム(オンス)	680.50—	685.50ドル
プラチナ(オンス)	1017.80—	1018.70ドル
【アルミ新地金】		
▽NYカーブ(ドル)	◉1582.5—	◉1583.0
▽対日オファー価格（99.7%）(8—9月積み)		
トン当たりドル　CIF	◉1657.—	◉1661.0
▽輸入採算価格（8—9月積み）	0	
トン当たり円	◉180800—	◉181300
▽7月の輸入通関平均単価（99.0—99.9%）		
トン当たり円		176700
【アルミニ次合金・原料】		
▽対日スクラップ・オファー価格		
ポンド当たりセント		
テンス	CIF	63.0
テイント・テーパー	CIF	60.0
リ　ソ	CIF	68.0
▽対日ロシア産再生地金オファー価格		
トン当たりドル	CIF	2180
▽ADC12オファー価格		
トン当たりドル	CIF	2450
▽対日ADC12輸入採算価格		
トン当たり円		218000
▽ADC12国内理論値		
トン当たり円		228000

欧米自由貴金属相場

9月20日入電（現地9月19日）
単位:トロイオンス当たり、カッコ内は前営業日

▽ロンドン金約定値・現物(ドル)	
午　前	1315.05（1314.25）
午　後	1314.85（1308.35）
引　値	1313.33 ～ 1313.49
	（1311.12 ～ 1311.33）
▽チューリヒ金・引値	1311.45 ～ 1315.45
	（1303.15 ～ 1303.95）
▽香港金・午前引値	
（9月20日）	1315.28 ～ 1316.78
	（1314.81 ～ 1315.58）
▽ロンドン・プラチナ	
午　前	1027.00ドル（1027.00ドル）
午　後	1021.00ドル（1012.00ドル）
▽ロンドン・パラジウム	
午　前	678.00ドル（652.00ドル）
午　後	681.00ドル（656.00ドル）
▽ロンドン銀（スポット）〈ポンド建て〉	
現　物	1465.13ペンス（1435.73ペンス）
3カ月	—（—）
▽ロンドン銀〈米セント建て〉	
現　物	1912.00セント（1891.00セント）
3カ月	—（—）
▽米エンゲルハード金	
地　金	1317.89ドル（1312.88ドル）
加　工	1416.73ドル（1411.35ドル）
▽同　銀	
地　金	1920.00セント（1892.00セント）
加　工	2304.00セント（2270.40セント）
▽米ハンディハーマン金地金	
	1314.85ドル（1308.35ドル）
▽同　銀地金	
	1926.50セント（1879.50セント）
▽クルーガーランド金貨	
	1354.06 ～ 1357.06ドル
	（1294.80 ～ 1297.80ドル）
▽ジョンソン・マッセイ社白金族建値	
プラチナ	1,022ドル（1,014ドル）
パラジウム	682ドル（658ドル）
イリジウム	650ドル（650ドル）
ロジウム	675ドル（675ドル）
ルテニウム	42ドル（42ドル）
▽ニューヨーク為替引値	
ポンド	1.3027 ～ 1.3032
円	101.91 ～ 101.93
ユーロ	1.1172 ～ 1.1177

Recycling of Resources

資源リサイクル

Re Cycle

関東故銅、様子見横ばい

並青銅鋳物に高値買い

20日の関東地区故銅市況は様子見横ばい。連休が明けたが、仲間間の荷動きは定期の物が中心。どの品種も目立った取引はなく、「先週末と代わり映えはしない。粛々とやっているだけ」（関東の大手問屋）との話が複数寄せられる。

現地19日のロンドン金属取引所（LME）銅現物の前場売値（セツルメント）は前日比2ドル安の4731・5ドル。現地20―21日開催の米連邦公開市場委員会（FOMC）の発表待ちで、市場関係者は様子見。ただ、中秋節明けの中国筋が連休中に上昇した銅を売却したことで、前場で小幅下落した。

ニューヨーク商品取引所（COMEX）の9月当限セツルメントはポンド0・0025ドル安の2・149ドル。LME先物の時間外取引にあたるNYカーブは4776―4776ドル。

20日の東京為替TTSは、0・05円高の1ドル＝102・95円。海外相場とTTSから計算した銅地金の輸入採算値は52万7000―53万2000円となった。

並青銅鋳物の市中相場はキロ360―370円だが、品枯れ感から、まとまった売り物に対しては380円以上の極端な高値買いが散見される。ある角丁メーカーは「仕入れ値が上がっているためか、（問屋が）400円以下では中々売ってくれない」と話す。

黄銅系品種も品枯れ。新切黄銅セパは国内では慢性的な発生難が続いているため、海外からの輸入を試みる問屋が出てきている。

非鉄商況

アルミ合金板 弱気配

大阪

アルミ合金板は弱含み。市中相場（1000×1000×2000ミリ）は61Sがキロ1045円、17Sは1025円、52Sは620円どころ。指標相場の軟化が背景にある。

軽圧品市況の先行指標となる10―12月期のアルミ新地金価格は、ロンドン金属取引所（LME）アルミ相場の軟化や為替の円高により、7―9月期比でキロ10円安の230円に切り下がることが確定した。2013年1―3月期以来の低水準となる。

市中では、指標相場の先安を背景にユーザーの買い控えが進展しており、荷動きの鈍い状態が続いている。「月初から注文はいまひとつ。実需も伸び悩んでいるようだ」（扱い筋）。

52Sの厚板も、主要な需要分野である半導体・液晶製造装置関連からの引き合いが鈍化しており、今後の受注に先行き不透明感が漂う。問屋筋は「有機ELの需要拡大で液晶関連はまだ良いが、メーンの半導体製造装置向けは伸びが弱い」と話す。

銅スクラップ 輸出向け堅調

東京

輸出向け銅スクラップは強もちあい。最大の向け先である中国筋が、中秋節中の銅価格上昇を受けて買値を引き上げたことで、市中相場も小幅上昇している。込み黄銅（Aグレード）キロ290―300円、雑電線（銅分43%）165―175円あたりが値ごろ。

中秋節が明けて、中国筋が商売を再開したが、市中全体の荷動きは鈍いまま。「絶対的な発生量が増えない以上、全体が潤うことはない」（南関東の非鉄商社）。慢性的な発生難が定着する中、市中は閑散とした状況が続いている。中国筋は、10月1日から国慶節も控えるため、売り買いともに停滞した状況はまだ続きそう。

非鉄と鉄の混合品種である雑品の発生も少ない。需要家である中国の現地企業も、「数量をこなさなければ資金繰りがつかない企業以外、積極的に買っていない」（関東の非鉄商社）。発生改善は期待しにくく、需要が盛り上がる兆しも現状ないため、雑品の需給も低位で推移する見込みだ。

アルミスクラップ 下げ含み

東京

アルミスクラップは下げ含み。二次合金メーカーの購入平均価格は、ビス付きサッシがキロ120―125円あたり、缶プレス（A）がキロ108―113円どころ。問屋とメーカーとの間で9月後半の交渉が始まったが「具体的な中身はこれから詰めていきたい」（複数の原料問屋）との声が聞かれる。

ロンドン金属取引所（LME）のアルミ現物セツルメント（前場売値）は、軟調が続いている。為替ドル円は1ドル＝102円を挟んだ動き。国内スクラップの指標となるアルミ地金99・7%は弱含み。新塊が下落したため、スクラップは「下げ」（二次合金メーカー）が濃厚となっている。下げ幅は「3―5円程度」（複数の原料問屋）とみられている。

日銀金融政策決定会合と米連邦公開市場委員会（FOMC）が20―21日に重なることもあって、スクラップには様子見ムードも漂う。交渉の大勢が決まるのは週末ごろになりそうだ。

国際地金価格換算 20日

	LMEセツル	日本円換算	理論輸入採算値		LMEセツル	日本円換算	理論輸入採算値
◎銅Aグレード	4,731.50ドル	487,107円	532,545円	◎鉛	1,937.00ドル	199,414円	239,414円
◎アルミHG	1,558.50ドル	160,447円	170,074円	◎亜鉛SHG	2,215.50ドル	228,085円	271,085円
◎錫HG	19,395.00ドル	1,996,715円	2,046,715円	◎外為TTS	102.95（円、三菱東京UFJ銀行）		

（単位：トン当たり）

非鉄市中相場

2016年9月20日調べ ◉印は上げ ▼は下げ ※いずれも本体価格のみ

地金（キロ当たり円）	東京（現金）高値	東京 安値	大阪（現金）高値	大阪 安値	名古屋（現金）高値	名古屋 安値	北陸（現金）高値	北陸 安値	九州（現金）高値	九州 安値	北海道（現金）高値	北海道 安値
電気銅	▼510	▼505	▼508	▼503	▼508	▼503	▼508	▼503	▼508	▼503	▼510	▼505
電気亜鉛	273	267	273	267	273	267	273	267	273	267	273	267
蒸留亜鉛	261	255	261	255	261	255	261	255	261	255	261	255
ダイカスト亜鉛	302	296	302	296	302	296	302	296	302	296	302	296
再生ダイカスト（亜鉛2種相当）	227	221	227	221	227	221	227	221	227	221	—	—
再生亜鉛上丁	199	193	199	193	199	193	199	193	199	193	—	—
電気鉛	245	242	245	242	245	242	245	242	245	242	245	242
再生鉛特号	235	230	236	231	236	231	236	231	236	231	—	—
1号	226	221	226	216	226	216	226	216	226	216	—	—
3号	233	229	231	227	231	227	231	227	231	227	—	—
錫1号	2140	2090	2140	2090	2140	2090	2140	2090	2140	2090	2140	2090
アンチモン	970	920	970	920	970	920	970	920	970	920	970	920
ニッケル溶解用	◉1200	◉1150	◉1200	◉1150	◉1200	◉1150	◉1200	◉1150	◉1200	◉1150	◉1200	◉1150
めっき用	◉1250	◉1200	◉1250	◉1200	◉1250	◉1200	◉1250	◉1200	◉1250	◉1200	◉1250	◉1200
コバルト	3800	3500	3800	3500	3800	3500	3800	3500	3800	3500	—	—
セレン	3400	3200	3400	3200	3400	3200	3400	3200	3400	3200	—	—
ビスマス	1300	1200	1300	1200	1300	1200	1300	1200	1300	1200	1300	1200
カドミウム	320	270	320	270	320	270	320	270	320	270	—	—
インジウム	35000	30000	35000	30000	35000	30000	35000	30000	35000	30000	—	—
水銀（フラスコ）	180000	170000	180000	170000	180000	170000	180000	170000	180000	170000	180000	170000
マグネシウム(中国産)	260	240	260	240	260	240	260	240	260	240	260	240
マグネシウム合金	310	290	310	290	310	290	310	290	310	290	310	290
アルミ地金99.7%	198	194	196	191	196	191	196	191	196	191	198	194
アルミ二次地金												
99%	187	182	187	182	187	182	190	185	189	184	—	—
97%	185	180	185	180	185	180	188	183	186	181	188	183
90%	178	173	177	172	177	172	177	172	169	164	171	166
脱酸用94%B塊	193	188	194	189	191	186	191	186	194	189	—	—
二次合金地金（小口）												
AD12.1	290	285	287	282	287	282	287	282	—	—	—	—
鋳物用AC2B	314	309	312	307	311	306	311	306	—	—	—	—
ハンダ錫 60%	1720	1690	1700	1660	1700	1660	1700	1660	1700	1660	1720	1690
50%	1525	1495	1505	1455	1505	1455	1505	1455	1505	1455	1525	1495
40%	1320	1290	1365	1305	1365	1305	1365	1305	1365	1305	1320	1290
減摩合金 1種	2460	2435	2455	2425	2455	2425	2455	2425	2455	2425	2460	2435
2種	2390	2360	2385	2355	2385	2355	2385	2355	2385	2355	2390	2360
4種	2045	2015	2040	2015	2040	2015	2040	2015	2040	2015	2045	2015
青銅合金地金												
CACIn402	840	830	760	750	755	745	840	830	—	—	—	—
〃 403	890	880	800	790	800	790	900	890	800	790	—	—
〃 406	680	670	680	670	670	660	670	660	670	660	—	—
〃 407	750	740	720	710	715	705	740	730	—	—	—	—

建値（キロ当たり円）

	9月	平均
電気銅	530	525.000
電気鉛	249	252.000
電気亜鉛	277	282.000

建値（単位：キロ当たり円、金のみグラム当たり円）（月間平均）

金(20日)	4,336	電気銅(99.995%以上)	3,400	3,400
銀(20日)	64,420	インジウム(大口)	35,000	
◇山元故銅買値(99%)	320			

近畿青銅会標準販価 9月1日発表

CACIn401	600	CACIn406	650	YBSC3種	540
〃 402	735	〃 407	675	LBC3種	755
〃 403	775			PBC2種	790

非鉄スクラップ相場

2016年9月20日調べ ◉印は上げ ▼は下げ ※いずれも本体価格のみ

（キロ当たり円）	仲間現金（数量規模1トン以上、持ち込み価格）東京	大阪	名古屋	富山	北九州	札幌	地方向け原料買入価格（東名は組合発表ベース）東京	大阪	名古屋
1号銅線	478	479	479	476	471	459	405	443	400
2号銅線	—	417	417	414	421	—	—	384	395
上銅（新切れ）	451	452	453	450	444	436	400	419	390
〃（普通）	430	—	433	430	409	—	385	393	380
並銅	403	401	400	397	387	383	360	369	360
下銅（製錬向け）	374	376	379	373	371	354	335	344	335
銅削り粉（純銅）	377	380	383	380	372	357	340	346	330
銅滓（30%）	25	25	25	—	23	—	15	17	14
1号薬きょう	326	—	—	—	—	—	260	—	—
2号 〃	316	—	—	—	—	—	250	—	—
新切黄銅（セパ）	372	366	364	359	366	357	335	303	235
〃（コーペル）	341	342	336	336	334	326	315	293	225
新黄銅棒コロ	340	342	335	—	334	325	310	288	220
黄銅削り粉	336	338	331	328	330	321	305	283	215
交差（半銅）ラジ	253	258	230	225	229	—	210	231	180
黄銅鋳物	—	310	295	293	299	—	—	254	185
込み黄銅	290	310	295	295	301	—	220	229	175
上青銅鋳物	—	359	364	361	350	—	—	327	305
並 〃	363	348	354	353	340	343	304	316	295
上青銅鋳物削粉	—	353	359	357	345	—	—	321	295
並 〃	351	340	344	342	332	331	299	309	285
新切リン青銅									
〃 伸銅向け	521	—	487	483	—	—	494	—	350
〃 青銅向け	—	484	483	478	481	—	—	410	335
〃 削り粉	391	378	381	377	359	—	329	346	300
洋白（ばね材）	400	388	389	386	384	—	306	347	305
〃（かぎ材）	237	237	239	237	231	—	216	209	195
新切亜鉛	84	84	87	82	82	—	—	—	—
合金亜鉛	59	59	62	57	58	—	—	—	—
亜鉛ドロス	56	67	56	—	47	—	—	—	—
上鉛	122	121	117	117	117	—	—	—	—
電池巣鉛	114	—	—	—	—	—	—	—	—
活字鉛	139	136	131	131	—	—	—	—	—
アルミ電線1級	137	134	139	129	134	—	120	120	87
新切アルミ1級	121	121	121	119	120	108	110	110	77
〃 2級	108	108	108	—	—	—	100	100	57
Aサッシ	119	121	121	119	121	—	110	110	72
印刷板	126	126	126	119	—	—	110	110	75
一品合金	114	112	—	110	—	—	95	95	—
合金アルミ新	111	110	107	—	109	101	85	85	60
新機械鋳物	139	133	—	128	—	124	95	95	—
ホイール(ミックス)	118	115	120	—	—	109	97	97	70
機械鋳物アルミ	106	101	103	102	99	92	85	85	55
Bサッシ(プレス物)	98	97	99	—	—	91	83	83	56
合金削り粉	84	82	80	86	85	76	70	70	42
込みガラ	80	77	77	80	75	68	70	70	47
缶プレス（A）	86	85	84	—	—	76	70	70	57
アルミ缶（バラ）	66	65	64	81	—	59	60	60	44

伸銅品

（仲間店頭渡し、現金キロ当たり）

	東京	大阪	名古屋
銅小板（365×1200ミリ）			
2.0ミリ	785	770	770
0.3ミリ	795	780	780
銅大板(1000×2000ミリ)2ミリ	985	940	940
銅条 1.5×100ミリ	775	750	750
銅線 0.9ミリ	845	830	830
銅帯 6×50ミリ	785	750	760
平角線 3×50ミリ	1015	1030	1025
銅管 50×5ミリ	965	960	960
銅棒 25ミリ	775	740	740
黄銅小板（365×1200ミリ）			
2.0ミリ	700	680	690
0.3ミリ	720	705	705
黄銅大板(1000×2000ミリ)2ミリ	910	860	870
黄銅線 6ミリ	935	940	940
黄銅平角線	1135	1140	1135
黄銅条 1×100ミリ	705	670	680
黄銅管 50×5ミリ	1185	1240	1210
黄銅棒 25ミリ快削	540	540	540
10ミリ〃	550	550	550
5ミリ〃	600	600	600
六角棒 25ミリ	570	570	570
四角棒 25ミリ	600	600	600
カドミレス(丸) 25ミリ	600	600	600
カドミレス(六角) 25ミリ	630	630	630
鍛造用 25ミリ	580	580	580
ネーバル 25ミリ	680	680	680
高力 25ミリ	680	680	680
リン青銅板			
一般用 1.0ミリ	1430	1440	1455
0.5ミリ	1475	1480	1490
バネ用 1.0ミリ	1650	1670	1650
リン青銅棒 25ミリ	1750	1740	1755
リン青銅線 3.0ミリ	1830	1840	1865
洋白板			
一般用 1.0ミリ	1910	1930	1945
0.5ミリ	1935	1990	2005
バネ用 1.0ミリ	2180	2200	2190

非鉄製品相場

2016年9月20日 調べ
◉印は上げ ▼は下げ
※いずれも本体価格のみ

軽圧品（仲間現金キロ当たり）

	東京	大阪
◇アルミ小板		
(99%以上)(400×1200ミリ)		
1.0ミリ	480	490
0.3ミリ	510	520
◇アルミネームプレート板		
(99.5%以上)(400×1200ミリ)		
0.3ミリ	510	560
◇アルミ大板		
(99%以上)(1000×2000ミリ)		
1.0ミリ	470	480
0.3ミリ	500	510
◇アルミ円板		
(99%以上)		
1.0ミリ	515	565
◇印刷用アルミ板		
(0.3×1000×800ミリ)		
写真用	515	565
◇アルミ合金板		
(1×1000×2000ミリ)		
A6061P(61S)	1050	1045
A2017P(17S)	1080	1005
A5052P(52S)	520	620
◇カラーアルミ大板		
(1000×2000ミリ)		
1.0ミリ	600	740
0.5ミリ	700	840
◇アルミ線(99%以上)		
0.8ミリ	600	695
3.0ミリ	530	615
◇アルミ合金線(4.0ミリ)		
A5052W(52S)	790	875

	東京	大阪
◇アルミ棒		
(50ミリ)	730	650
◇アルミ快削棒		
A2011B50ミリ	750	755
◇アルミ合金棒 (50ミリ)		
A2017B(17S)	730	760
A2024B(24S)	1010	1090
A5056B(56S)	690	740
◇継目無アルミ管		
(60×5×5000ミリ)	950	980
◇継目無アルミ合金管(60×5ミリ)		
A5052T(52S)	1060	1105
A5056T(56S)	1070	1105
A6063T(63S)	920	945
◇アルミ合金標準形材		
(2×20×40ミリ)		
A6063(63S)	500	530
◇角パイプ	500	580
◇アルミ条		
(1×1000ミリ)	410	470
◇アルミ合金条(1×1000ミリ)		
(52S)	430	490
◇アルミ箔(457×686ミリ)		
7ミクロン	915	975

鉛錫製品（キロ当たり）

	東京	大阪
◇鉛管		
排水管(30―100ミリ)	910	910
◇鉛板		
1.0ミリ	516	516
1.5ミリ	496	496
2.0ミリ	476	476

	東京	大阪
◇線ハンダ		
錫40%1.0ミリ	1770	1770
1.6〃	1535	1535
錫50%1.0ミリ	1985	1985
1.6〃	1850	1850
錫60%1.0ミリ	2185	2185
1.6〃	1970	1970

電線（電材渡し価格、メートル当たり、定尺）

	東京	大阪
◇IV		
(600Vビニル絶縁電線)		
1.6ミリ	18.8	18.8
5.5スケア	51.8	51.8
14 〃	127	127
38 〃	321	321
◇CV		
(架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル)		
600V		
5.5スケア×3心	189	189
8 〃 ×3〃	250	250
14 〃 ×3〃	392	392
22 〃 ×3〃	593	593
◇CVT		
(CVトリプレックス)		
600V		
38スケア×3心	954	954
60 〃 ×3〃	1448	1448
100〃 ×3〃	2361	2361
6KV		
38スケア×3心	1721	1721

	東京	大阪
60スケア×3心	2338	2338
◇CVV		
(制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル)		
2スケア×3心	87.8	87.8
2 〃 ×4〃	117	117
2 〃 ×6〃	163	163
◇VVR		
(600Vビニル絶縁ビニルシース丸形ケーブル)		
8スケア×3心	236	236
14 〃 ×3〃	375	375
22 〃 ×3〃	552	552
38 〃 ×3〃	902	902
60 〃 ×3〃	1391	1391
◇VVF		
(600Vビニル絶縁ビニルシース平形ケーブル)		
1.6ミリ×2心	30	30
2.0〃×2〃	54	54
2.6〃×2〃	98	98
1.6〃×3〃	56	56
2.0〃×3〃	86	86
2.6〃×3〃	138	138
◇VCT―F		
(300Vビニルキャブタイヤ丸形コード)		
0.75スケア×2心	27	27
0.75 〃 ×3〃	36	36
0.75 〃 ×4〃	43	43
1.25 〃 ×2〃	40	40
1.25 〃 ×3〃	53	53

	東京	大阪
1.25スケア×4心	67	67
2 〃 ×2〃	56	56
2 〃 ×3〃	76	76
2 〃 ×4〃	93	93
◇PEW		
(ポリエステル銅線、キログラム当たり)		
1.6ミリ	690	690
1.0〃	710	710
0.5〃	790	790

貴金属（9月20日）
※気配値のみ税抜き

（グラム当たり、Nはノミナル）（午後2時半）

◇白金(99.95%以上)		
気配値	▼3443	▼3443
小売り	▼3734	▼3734
買い取り	▼3606	▼3606
◇パラジウム		
気配値	◉2300	◉2300
小売り	—	—
買い取り	◉2355	◉2355
（午後4時）		
◇金（問屋価格）		
気配値	▼4342	▼4342
小売り	▼4700	▼4700
買い取り	▼4614	▼4614
（午後2時半）		
◇銀(99.95%以上、キロ当たり)		
気配値	◉65000	◉65000
小売り	◉70410	◉70410
買い取り	◉66320	◉66320
（午後4時）		
◇メイプルリーフ金貨	(¼オンス)	(1/10オンス)
売	▼41714	▼17081
買	▼36972	▼14982

銅電線出荷

9カ月ぶり増 5.4万トン

8月 自動車向け2桁伸び

日本電線工業会は20日、国内電線メーカー約120社の8月銅電線出荷量をまとめ、速報値で前年同月比1・0％増の5万3700㌧（銅量）と、9カ月ぶりのプラスに転じたと発表した。自動車が2桁増と全体を押し上げたほか、総量の40％以上を占める建設・電販部門も落ち込み幅が大幅に縮小し、改善基調をたどっている。ただし、輸出は大きく減少に転化した。一方、光製品の7月出荷実績は、同3・3％減の392万4007㌔㍍コア（光ファイバー長さ）と、2カ月連続で前年実績を下回った。

主要部門別出荷

（単位：トン、％）

	7月実績	前年同月比	8月推定	前年同月比
▽銅電線				
通信	889	13.1	900	11.9
電力	4,474	⊖10.2	4,900	9.9
電気機械	12,677	⊖8.0	11,000	⊖1.1
自動車	6,308	4.3	5,200	13.8
建設・電販	26,005	⊖10.8	26,000	⊖0.2
その他内需	4,350	1.8	4,400	17.4
内需計	54,703	⊖7.3	52,400	3.3
輸出	1,923	9.6	1,300	⊖45.9
計	56,626	⊖6.9	53,700	1.0
心線販売	29,933	⊖7.1	25,700	⊖0.7
▽アルミ電線				
電力	1,532	3.9	1,200	⊖17.4
その他内需	548	10.9	500	33.0
輸出	45	32.4	100	⊖58.0
計	2,125	6.1	1,800	⊖12.9
▽光製品（単位：1,000Kmc）				
計	3,924	⊖3.3	—	—

建設・電販も改善基調

建築物の屋内配線向けが主体の建設・電販部門は8月、同0・2％減の2万6000㌧と、6カ月続けてマイナス。前年割れではあるものの、建設需要がやや持ち直し、小幅な落ち込みにとどまった。

また、建設・電販に次ぐ需要分野である電気機械部門は、同1・1％減の1万1000㌧となり、35カ月連続で前年実績を割り込んだ。

これに対し、自動車用ワイヤハーネスを主とした自動車部門は、同13・8％増の5200㌧と4カ月続けてプラスを維持した。

そのほか国内送配電インフラ向けを主とする電力部門に関しては、同9・9％増の4900㌧で、5カ月ぶりに増加。通信部門については、2カ月続けて前年を上回り9900㌧（同11・9％増）。輸出に関しては、130

日刊産業新聞携帯サイト
http://www.japanmetal.com/m/
QRコード

日系企業と提携模索

露ラスニッケル「新たな供給源に」

ロシア・ウラル地区の資源マネジメント会社であるラスニッケルグループは、日系企業との業務提携を検討する。ロシア国内に2つのニッケル製錬メーカーを傘下に持ち、自社で保有する鉱山からニッケル製品を一貫生産している。ニッケルの新たな供給ソースとして、日系メーカーとの技術提携や合弁事業などを模索する。

同社グループのニッケル生産能力は年間約1万5000㌧。自社鉱山であるセロフ鉱山の鉱石からニッケル製品を生産しており、販売先は主に欧州ステンレスメーカーなどが占める。旧ソビエト連合時代の1930年代に操業を開始し、長い歴史を有する。

現在の課題は生産コストの抑制。現在、ロンドン金属取引所（LME）のニッケル相場はトン1万㌦前後の低迷が続いている。日本を含めた海外企業との技術提携により、低コスト化を加速したい考え。また、日系企業による資本参加や合弁事業などファイナンス面での協力についても検討したいとしている。

ニッケルは、直近では相場の低下が続くものの、インドネシアやフィリピンなど鉱石生産国の鉱業政策などによって、近い将来に価格高騰の懸念もあるとされる。ロシアとの提携により、供給の安定化につながるという点をアピールする。「資本参加や日露の経済協力の1つの鍵になる」（同社関係者）。

将来的にはニッケルだけでなく銅やフェロクロム、コバルトなどのレアメタルを製造も計画している。日本企業との協業に向け、2016年年内には同社の幹部が来日する見込み。

佐賀関製錬所100周年 一問一答

大井滋・JX金属社長会見

【大分】大井滋・JX金属社長は18日、佐賀関製錬所100周年記念祝賀会終了後、会見に応じた。質疑応答は次の通り。

――100周年を迎えて。

「喜びはひとしお。先人たちのおかげでわれわれが生かされている。われわれは本当の意味で次の100年につなげていく責任を強く感じた」

――出席者は皆談笑していた。

「この100年でいろんなことがあった。漁業者は公害問題に不安だっただろうし、農業従事者も煙害などで心配だっただろう。われわれが真摯に取り組んできたことが地元の理解を生み、支援をいただいてきた。築き上げてきた信頼を今日、現役世代は実感したのではないか」

――今後、佐賀関製錬所が求められることは。

「一時期の資源ブームが去り、非鉄業界に秋風が吹いている印象だが、今の社会の発展に対してわれわれの銅という素材を中心とした非鉄金属素材がいかに求められているか。そこにどうわれわれが貢献していくかという気概が必要。資源の上流だけでなく中流の佐賀関を中心とした製錬事業があってはじめて成り立つ。製錬事業の基盤をしっかり築き、厳しい世界の競争に勝ち抜いていく」

――設備投資について。

「操業は安全と安定が求められる。古い設備に支障がないよう更新してきたし、新設もしてきた。今後も同様。競争に打ち勝ち、最新鋭のIoT化やAIを使った設備改善、操業革新に取り組んでいく。この結果が安全安定操業につながる」

――IoT導入の未来をどのように描いているのか。

「経営、鉱山、製錬所とがリアルタイムでつながる。情報を早くに入手し、より早く決断する。すでにグループの一部工場で導入しており、今まで以上に効率化、近代化していく。物流についても、滞船しないよう自動化できればと思う」

――IoTなどの投資金額の設定は。

「これから詰める。JXグループは東燃ゼネラル石油との統合を控え、今後統合作業を粛々と取り組んでいくことになる。めざがつついた時点で次の中期経営計画を発表するので、当社も計画を練っていきたい。現時点では時期尚早」

――佐賀関はリサイクルの拠点。

「リサイクルの地域の基地。鉱石処理後の余力エネルギーを効率よく利用していく。不要になったものを活用するビジネスモデルを追求していきたい」

――地域貢献などCSR活動について。

「100周年を記念しての作文・絵画コンクールを実施する。佐賀関、大分市、大分県が発展することが必要不可欠。世界に飛躍する製錬所になるには、地域の方と一緒に考えていきたい。独りよがりではなく、地域のニーズに合った形で進めたい」

――あいさつでは立命館アジア太平洋大学との交流活動も報告された。

「昨年同大を訪れ、学生と話をしたが、すばらしかった。日本語が流ちょうであり、われわれグループに来ていただきたいと思った」

――地元の工業学校からの採用も視野に入れる。

「地域の方に製錬所知っていただき、工場見学会など行い各学校との交流も行いたい。製錬所を積極的にPRしていきたい。座して待つのではなく、自ら積極的にアピールしていくことが大事。高校生向けのエデュケーションチャレンジや東京大学の寄付講座などの取り組みもその一環だ」（苑田 容生）

IoT化で一層の安全安定

リサイクルモデルを追求

超塑性材料引っ張り特性

評価法でJIS改正

経済産業省は20日、金属系超塑性材料の引っ張り特性（破断伸び、変形応力）評価に関する日本工業規格（JIS）を改正したと発表した。通常の金属材料に比べて極めて大きい破断伸びを示すアルミニウム系合金、チタン系合金などの試験規格で、現行JISを統合し国際規格と整合することで、評価方法の利便性を高めた。

改正の主なポイントは、2種類の板状試験片を規定した点と、2種類の試験片の使い分けを明示した点。「変形部が平行なS型試験片」は、十分に長い加熱炉を用意し簡便に測定を行う場合に適する。「変形部が円弧形状のR型試験片」はS型に比べて測定がやや複雑だが、ひずみの大半が試験片の中心部に集中するので、十分に長い加熱炉を用意できない場合に適する。

アルミスクラップ買値

関西地区 3―5円下げ見込み

関西地区のアルミニ次合金メーカーと原料業との協業に向け、2016年年内には同社の幹部が来日する見込み。

問屋筋による、9月後半のアルミスクラップの購買価格交渉が始まった。指標となる新塊相場や製品価格が軟調に推移していることから、二次合金メーカー各社は購買価格をウワ物で3―5円、スソ物は3円切り下げる意向を示す。

指標となるロンドン金属取引所（LME）アルミセッツルメントは、月初から大台の1600㌦台を割り込み、その後も軟調に推移し、足元は月初比トン28・5㌦安の1558・5㌦どころ。新塊の輸入採算値も円高を受け、同キロ5円安の190円に下値を切り下げている。

スクラップの市中発生は全体的に薄いものの、自動車生産台数の伸び悩みや輸入二次合金塊のシェア拡大などで国産塊の需要が減退しており、原料需給は均衡している。

非鉄金属ウイークリー

9月第2週

銅反発、4700ドル台回復

アルミ下げ一服、亜鉛軟調

【銅】ロンドン金属取引所（LME）の銅現物は反発。在庫が減少に転じたことや、中国の経済指標改善が相場を下支えした。

12日のセツルメント（前場売値）は前週末比トン49・5㌦安の4573㌦。米国の9月利上げの可能性に対する警戒感から、6月21日以来の4500㌦台をつけた。だが後場は買い戻しの動きが入り、13日は中国の8月鉱工業生産が大幅増となったこともあり46・5㌦に反発した。

また、8月中旬から急増していたLME銅在庫が13日以降は減少に転じた。このことも買い材料となり、15日には前月23日以来の4700㌦台を回復。週末16日の4733・5㌦まで上昇した。

【アルミ】LMEアルミ現物は下げ一服。米国の9月利上げへの警戒感から12日のセツルメントはトン22㌦安の1545・5㌦と約3カ月ぶりの安値をつけた。

中国の8月鉱工業生産が大幅改善したことや、銅反発を背景にアルミもここで下げ止まり。ただ、中国勢が15日から中秋節で休暇に入り薄商いのなかで反発の勢いは弱く、週末16日の1560㌦までジリ高。前週安値にも届かなかった。

【鉛・亜鉛】LME鉛現物は反発。銅の地合い好転から非鉄全般が下げ止まり、鉛も買われた。12日のセツルメントはトン32・5㌦安の1864㌦と月初来安値。米国の9月利上げへの警戒感から売られた。しかし13日に1900㌦台を回復すると、週末16日の1936㌦まで買い戻された。

LME亜鉛現物は軟調。需給の引き締まりから今月初旬にかけ緩やかな上昇基調を維持してきた亜鉛だが、ここにきて頭が重たくなっている。12日のセツルメントはトン40・5㌦安の2250㌦。その後は銅を中心にほかの品種が上げ基調で推移する中、亜鉛は週末16日に2203㌦と7月14日以来の安値をつけた。

【貴金属】ニューヨーク商品取引所（COMEX）の金先物は、米国の9月利上げの可能性が取りざたされる中、頭の重たい展開となった。12日のセツルメントはトロイオンス9・1㌦安の1321・5㌦で、14日の1321・5㌦まで同値圏で推移。しかし、週末にかけては一段安となり、16日は1305・8㌦と6月下旬以来の安値をつけた。

文化シヤ「鉄壁の守り」第2弾

駅構内に大型ポスター

文化シヤッターはこのほど、サッカーJリーグ・浦和レッズ所属の日本代表ゴールキーパーで同社のイメージキャラクターを務める西川周作選手を起用したキャンペーンの第2弾を今月24日から11月20日まで首都圏の駅構内で開催すると発表した。「鉄壁の守り」をイメージさせる西川選手を前面に押し出した広告展開を行うことで、アルミパネル製止水板など文化シヤッターの「暮らしを守る建材製品（同社）をエンドユーザーに分かりやすく訴求し、ブランド向上につなげる狙いがある。

西川選手の写真と「鉄壁の守り」のキャッチコピーを組み合わせた特大ポスターなどを作成。優勝争いを繰り広げるリーグ戦に合わせ、埼玉スタジアム最寄りの浦和美園駅で9月24日から11月18日まで、東京駅構内の北通路でも10月3―9日と11月14―20日の2回に分けて掲示する。文化シヤッターは2013年3月以来、浦和レッズとパートナーシップ協定を結んでおり、同チームに所属する西川選手についても「さまざまな建材製品で生活者の暮らしを守る当社と共通点がある」として昨年8月からイメージキャラクターに採用している。今年2―3月にも同選手を起用したキャンペーンを実施しており、今回は第2弾となる。西川選手はゴールキーパーとしてJ1記録となるリーグ戦7試合連続無失点を達成するなど高い守備力を誇り、日本代表としてワールドカップのアジア予選にも出場した。

大型ポスターイメージ

組織と人事

文化シヤッター（10月1日付）

【組織改正】

《ドア・パーティション事業本部》

▽パーティション部長（技術部部長）三縄浩一

《ドア・パーティション事業本部》

▽人事総務部人材開発室長（人事総務部人材開発課長）小笠原卓

【人事異動】

《本社》

▽人事総務部人材開発室長（人事総務部人材開発課長）小笠原卓

《ドア・パーティション事業本部》

▽パーティション部を新設

欧州レアメタル価格

9月17日入電 （現地9月16日）（単位:ドル、カッコ内は円/キロ）

アンチ99.65%（トン）	⊕7300 —	⊕7800(752—803)
ビスマス99.9%（ポンド）	⊕4.30 —	⊕4.60(976—1,045)
カドミ99.99%（ポンド）	⊖0.50 —	0.65(114—148)
クロム（中国）（トン）	7000 —	⊕7300(721—752)
コバルトカソード（ポンド）	12.50 —	⊕13.00(2,838—2,952)
〃 インゴット（ポンド）	⊕12.00 —	⊕12.50(2,725—2,838)
ガリウム99.99%（キロ）	⊖120 —	⊖150(12,360—15,450)
金属ゲルマニウム（キロ）	1175 —	1200(121,025—123,600)
二酸化ゲルマニウム（キロ）	850 —	900(87,550—92,700)
インジウム99.99%（キロ）	⊖185 —	⊖210(19,055—21,630)
イリジウム（トロイオンス）	630 —	650(2,086—2,153)〔円／グラム〕
マグネシウム99.9%（中国）（トン）	⊕2200 —	⊕2300(227—237)
金属マンガン99.7%（トン）	⊕1800 —	⊕1900(185—196)
フェロマンガン75—76%（トン）	620 —	650(64—67)
三酸化モリブデン（Mo純分ポンド）	⊖7.10 —	⊖7.50(1,612—1,703)
フェロモリブデン（西側）（Mo純分キロ）	⊕17.50 —	⊕18.00(1,803—1,854)
ロジウム（トロイオンス）	655 —	675(2,169—2,235)〔円／グラム〕
ルテニウム（トロイオンス）	38.00 —	42.00(126—139)〔円／グラム〕
セレニウム99.5—99.8%（ポンド）	⊕8.50 —	⊕10.00(1,930—2,271)
シリコン塊（トン）	⊖1350 —	⊖1500(139—155)
フェロシリコン（トン）	875 —	960(90—99)
スポンジチタン99.6%（キロ）	⊖7.00 —	⊖8.00(721—824)
フェロタングステン（キロ）	⊕25.75 —	⊕26.50(2,652—2,730)
タングステンＡＰＴ（WO_3純分10%）（トン）	⊖175.0 —	⊖190.0(1,803—1,957)
フェロバナジウム80%（V純分キロ）	⊕18.50 —	⊖19.20(1,906—1,978)
五酸化バナジウム（V_2O_5純分ポンド）	⊕3.70 —	⊕4.00(840—908)
タンタル（ポンド）	⊖57.00 —	⊖61.00(12,943—13,852)

米国非鉄金属価格

9月17日入電 （現地9月16日）

【ニューヨーク市中】		
銅地金（㌧）	219.80—	220.80㌦
パラジウム（㌔）	655.50—	658.50㌦
プラチナ（㌔）	1009.50—	1013.50㌦
【アルミ新地金】		
▽ＮＹカーブ（ドル）	●1575—	●1576

港別のLME非鉄金属在庫

（16年9月16日現在、単位トン）

▽銅	349,625
デュバイ	0
アントワープ	700
ハンブルク	0
バルセロナ	0
ビルバオ	3,025
ハル	22,200
リバプール	0
レグホーン	0
トリエステ	1,300
仁川	0
光陽	48,150
釜山	83,000
ジョホール	6,300
クラン	32,900
ロッテルダム	4,425
プリッシンゲン	75
ヘルシンケポリ	0
シンガポール	67,050
ポルティモア	0
シカゴ	11,075
モービル	25
ニューオーリンズ	38,875
セントルイス	0
高雄	25,725
米パナマ	4,800
ムールデイク	0
▽アルミHG	2,161,475
アントワープ	13,300
ブレーメン	0
ハンブルク	43,300
バルセロナ	0
ビルバオ	21,175
ハル	75
リバプール	0
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
レグホーン	0
トリエステ	53,075
名古屋	0
横浜	0
釜山	181,525
光陽	41,600
仁川	15,475
ジョホール	38,425
クラン	91,400
ロッテルダム	487,700
プリッシンゲン	582,875
ヘルシンケポリ	12,325
シンガポール	255,275
ポルティモア	81,500
シカゴ	0
デトロイト	210,175
ロングビーチ	0
ロサンゼルス	125
モービル	3,275
ニューオーリンズ	500
セントルイス	0
米トレド	0
高雄	28,375
▽ニッケル	366,858
デュバイ	12,264
アントワープ	540
ブレーメン	0
ハンブルク	30
バルセロナ	0
ビルバオ	0
ハル	4,254
リバプール	480
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
レグホーン	0
トリエステ	0
釜山	1,986
光陽	9,840
仁川	0
ジョホール	147,264
クラン	54
ロッテルダム	88,266
プリッシンゲン	1,128
ムールデイク	0
ヘルシンケポリ	0
シンガポール	51,894
ポルティモア	5,232
シカゴ	0
デトロイト	0
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	0
セントルイス	0
米トレド	0
高雄	43,626
▽鉛	188,150
デュバイ	0
アントワープ	7,400
ブレーメン	0
ハンブルク	375
バルセロナ	10,150
ビルバオ	5,150
ハル	0
リバプール	0
タイン＆ウェア	0
ジェノア	50
レグホーン	1,275
トリエステ	275
釜山	48,375
仁川	0
高雄	25
ジョホール	2,775
クラン	38,200
ムールデイク	0
ロッテルダム	17,900
プリッシンゲン	56,200
ヘルシンケポリ	0
シンガポール	0
ポルティモア	0
シカゴ	0
デトロイト	0
ロングビーチ	0
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	0
セントルイス	0
米トレド	0
▽亜鉛	444,400
デュバイ	0
アントワープ	33,600
ハンブルク	0
ブレーメン	0
バルセロナ	0
ビルバオ	600
ハル	3,925
リバプール	75
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
レグホーン	0
トリエステ	0
ジョホール	7,150
クラン	3,325
ロッテルダム	9,100
プリッシンゲン	0
ヘルシンケポリ	0
シンガポール	2,275
高雄	0
ポルティモア	0
シカゴ	0
デトロイト	0
ロングビーチ	0
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	384,350
セントルイス	0
米トレド	0
▽錫	3,825
アントワープ	0
ハンブルク	0
バルセロナ	0
ビルバオ	0
ハル	0
リバプール	0
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
トリエステ	0
釜山	0
光陽	30
ジョホール	105
ポートクラン	2,060
ロッテルダム	230
プリッシンゲン	0
シンガポール	1,400
ポルティモア	0
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	0
高雄	0
▽アルミ合金	11,680
アントワープ	580
ブレーメン	0
ハンブルク	0
バルセロナ	0
ビルバオ	0
ハル	0
リバプール	200
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
レグホーン	0
トリエステ	260
釜山	120
光陽	40
仁川	0
ジョホール	80
クラン	60
ロッテルダム	3,060
プリッシンゲン	60
シンガポール	6,720
高雄	500
▽北米特殊アルミ合金	67,140
ポルティモア	1,420
シカゴ	12,260
デトロイト	38,600
ロングビーチ	0
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	13,740
オーエンスボロ	0
セントルイス	1,020
米トレド	100

希土類（レアアース）価格

（ＣＩＦ日本、純分99%、キロ当たりドル）

	9月20日	8月平均
酸化ランタン	2.5	2.68
酸化セリウム	2.2	2.29
酸化プラセオジム	52.5	56.14
酸化ネオジム	40.5	42.32
酸化サマリウム	2.5	2.59
酸化ユウロピウム	75.5	89.14
酸化テルビウム	440.5	449.59
酸化ジスプロシウム	190.5	208.68
酸化イットリウム	4.4	4.49
金属ネオジム	52	56.55
金属ジスプロシウム	240	285.45
金属プラセオジム・ネオジム	48	56.18

（第3種郵便物認可）　〔購読料金（前納）1カ月10,000円＋消費税〕

おかげさまで 創刊80周年
日刊 産業新聞
80th SINCE 1936

国内支社局網

中部支社	名古屋市中区上前津1−4−12	TEL 052(331)3371
中国支社	広島市南区大須賀町14−12	TEL 082(263)5523
北海道支局	札幌市北区北七条西4−8−3	TEL 011(756)1321
福岡支局	福岡市博多区博多駅前3−23−22	TEL 092(472)3887
東北支局	仙台市青葉区大町1−1−8	TEL 022(223)9032
北信越支局	新潟市中央区万代4−2−23	TEL 025(244)7600

日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2016年（平成28年）9月21日（水）
第19070号
Since 1936

非鉄　（12）

発行所　産業新聞社
東京本社　東京都中央区新川1−16−14
編集局（非鉄）TEL 03(5566)8772 FAX 03(5566)8182
総務販売局（購読・配達）TEL 03(5566)8778 FAX 03(5566)8185
大阪本社　大阪市西区靭本町1−5−15 TEL 06(6443)8551 FAX 06(6443)3828
アジア総局　上海市婁山関路85号 東方国際大厦C座1604室
上海支局　TEL 86-21-6278-7750 FAX 86-21-6278-7751

大阪チタニウム
3Dプリンター用粉末
年産40トン、増強も視野

大阪チタニウムテクノロジーズは3Dプリンター（積層造形）用のチタン合金粉末を拡販する。このほど年産40トンの供給体制を整え、全社組織の特命チームも立ち上げて、航空機・医療分野を主なターゲットにして需要開拓を積極化する。採用の鍵とされるコスト優位性を武器にし、生産設備の増強も視野に入れている。

航空・医療向け需要開拓

同社は1994年から、球状チタン粉末（商品名TILOP）の量産を開始。ルツボを使用しないガスアトマイズ法で年産150トンの生産能力を持ち、純チタンを中心に射出成型（MIM）用粉末などを供給してきた。このほど3Dプリンター用に、チタン−6%アルミ−4%バナジウムを代表とするチタン合金粉末を発売するに当たり、年産能力40トンを確保している。

粉末の粒径サイズはレーザー用で45マイクロメートル以下、電子ビーム用で45−105マイクロメートル。3Dプリンター用粉末に必要な流動性において評価されており、「欧米メーカーの粉末と比べても品質は互角で、コスト面では勝っている」（大橋善久執行役員）。同社のチタン合金粉末は、使用する粒径サイズが異なるレーザーと電子ビームの両方の3Dプリンターに適用できるため、高い歩留まりが期待でき、世界トップクラスの粉末生産能力を持つ同社にとって量産メリットが発揮できる。

3Dプリンターは複雑形状品の小ロット生産やオーダーメードに適しており、今後はチタン合金が多く使用される航空機分野と、人工関節などの医療分野に集中して需要開拓を図る。海外ですでに3Dプリンターを採用しているユーザーや、国内試作ユーザーへのアプローチ、海外装置メーカーの認証取得も目指す。これらの拡販活動を本格化させるため、4月から特命チーム「高機能材料市場開拓グループ」が発足した。

現在、尼崎本社工場内には量産用と試作用の粉末生産ライン2基を有している。現在のところ、3Dプリンター用チタン合金粉末の生産量は、年産能力40トンに対して数トンレベル。しかし今後、需要が能力を上回る見込みになると、量産用ラインを1基増強しなければならず、「早ければ来年にでも検討の時機が来ることを期待している」（同）。

伸銅品需要
78万トン強に引上げ
16年度見通し 銅条など牽引

日本伸銅協会は2016年度の伸銅品需要（生産量）が当初予想より約9000トン多い78万8810トンになりそうだとの改訂見直しを発表した。前年度実績からは2・7%の増加となる。銅条、銅管、黄銅棒など主要品種の復調により、月次統計が5月以降は前年同月比で増加基調を維持。ここにきて増加幅の拡大傾向も見られており、通期の見通しも上振れした。

見通しの上振れ幅が特に大きかったのは銅条。当初見通しより8000トン強引き上げ、前年度比5・3%増の24万5400トンに見直した。コネクター、半導体のいずれも車載向けの需要が堅調さを見せており、下半期も高水準の需要が続くとみている。

銅管は前年度を若干下回るとの予想から、2・5%増の11万1100トンに引き上げた。最大の需要先である家庭用エアコンの在庫調整が昨秋までに一巡し、今夏前半の暑さも追い風となり上期の需要が予想以上に伸びた。業務用エアコン向けも上向いた。

黄銅棒は若干引き上げの3・2%増の18万5300トン。水栓金具やガス機器など、住宅関連の需要が底堅く推移しており、目先も安定した需要を見込んでいる。

一方、黄銅条は若干引き下げ2・1%増の9万7600トンとした。車載用コネクター向けが底堅いものの、民生分野向けが回復していない。

青銅板条は3・5%の増加予想から、5・9%減の3万1100トンに大幅引き下げ。スマートフォンや車載部品向けは一定の動きがあるが、デジタル家電やゲーム機といった従来の需要分野向けが漸減。昨年9月の三菱電機メテックスの生産終了を見越した先行生産の影響も、一部出ているとみられる。

電気関連品種は傾向が分かれた。銅板は減少予想から5・6%増の1万5400トンに引き上げたが、銅棒は2・6%増加予想から0・3%増の3万9000トンに引き下げた。

主要品種の16年度需要見通し
（単位：トン、%）

品種		当初見通し	改訂見通し	月平均	15年度見込比
銅	板	14,000	15,400	1,283	5.6
	条	237,300	245,400	20,450	5.3
	管	107,900	111,100	9,258	2.5
	棒	31,600	30,900	2,575	0.3
	線	3,040	3,110	259	⊖1.8
黄銅	板	7,500	7,400	617	3.9
	条	97,700	97,600	8,133	2.1
	管	8,910	8,500	708	⊖6.7
	棒	183,500	185,300	15,442	3.2
	線	30,800	30,500	2,542	1.1
青銅	板条	34,200	31,100	2,592	⊖5.9
	棒線	4,000	3,900	325	3.3
洋白他	板条	5,450	5,000	417	⊖11.4
	棒線	6,200	5,600	467	⊖13.6
合計		772,100	780,810	65,068	2.7

佐賀関製錬所
100周年記念し祝賀会
130人出席

【大分】JX金属とパンパシフィック・カッパーは18日、佐賀関製錬所100周年記念祝賀会を大分市の大分オアシスタワーホテルで開催し、OBや取引先、地域の代表ら約130人が出席した。当日は同所100年の歩みを伝える動画の上映からスタート。記念事業として佐賀関中学校・小学校を対象に作文・絵画コンクールなどを実施すると発表した。また、OBが現役社員や地域の代表などと談笑する場面が見られ、大いに賑わった。

冒頭、あいさつに立った大井滋・JX金属社長は「佐賀関製錬所は1916年の発足時は溶鉱炉1基で年間生産量8400トンという規模だったが、70年に自溶炉法を導入、74年に2基体制とし、国内外の需要に対応してきた。96年には国際競争力をつけるために生産量を落とさずに自溶炉1基体制とした。歴代の所長が英知と技術革新に取り組んできた結果、年産45万トンの世界に冠たる製錬所となった。この体制をバックアップするため銅鉱石を確保しようと南米・チリに投融資を行ってきたほか、世界各地から鉱石の確保に努め、ダウンストリームの加工事業で最先端の素材加工を行い、世界あるいは社会の発展に寄与している」と強調。

続いて「皆さんのスマートフォンに私どもの加工した銅が採用され、あるいは半導体などに組み込まれ、モノのインターネットといわれるIoTや人工知能（AI）が電化製品にとどまらず医療や宇宙工学などに広がりを見せている。伸びる分野への素材供給責任はますます大きくなっていく。社会的使命を果たし持続的発展を続けるには地元佐賀関、大分との共存共栄がなくてはあり得ない。人材育成も重要な課題であり一つの事例として立命館アジア太平洋大学の語学研修に社員を派遣しているし、同大には世界各地から学生がきているので、できれば入社していただきたいと思っている。この地で操業を続けていくには、青い海と緑豊かな自然に調和したクリーンな製錬所であることが大前提。煙害の解決に向けて取り組んできた先人の英知と街の復興を願った皆様の深い理解の結晶として建設され、皆さまに親しまれた『関の大煙突』の精神を受け継ぎ、次の100年に向け全精力を注いでいく」と述べ、さらなる協力を求めた。

その後来賓として広瀬勝貞・大分県知事と佐藤樹一郎・大分市長があいさつを行い、小野眞一郎・早吸日女神社宮司が乾杯を発声。歓談の後、安田豊・PPC佐賀関精錬所熟行役員所長が中締めを行った。（11面に関連記事）

あいさつする大井JX金属社長

三菱伸銅
削り粉買値発表終了
10月から 一般黄銅棒生産減で

伸銅品最大手の三菱伸銅（本社＝東京・丸の内、堀和雅社長）は、10月から黄銅削り粉買値の発表をやめる。30年以上にわたり国内の黄銅削り粉や黄銅棒製品の取引における価格指標の一つとして広く認知されてきたが、同社の一般黄銅棒の生産量が減っていることなどから、今月末での発表終了を決めた。日本伸銅は10月以降も黄銅削り粉買値の発表を続ける。

黄銅削り粉は黄銅棒の切削加工時に発生するスクラップで、黄銅棒を造る際の主原料にもなる。現在は日本伸銅と三菱伸銅が黄銅削り粉買値を発表しており、三菱は統合前の旧三宝製作所が1985年10月に発表を開始した。

両社が銅・亜鉛建値改定時などに発表する黄銅削り粉買値は、黄銅削り粉の取引だけでなく黄銅棒製品の値決めでも指標として使われるケースが多い。三菱伸銅は板条から銅、黄銅棒まで幅広く手掛けており、黄銅棒に関しては近年、高力黄銅や鉛レス黄銅「エコブラス」などの特殊材への構成シフトを進めてきた。同社では、来期（17年9月期）に研究開発費1億7000万円を計上し、今月から来年2月にわたり同事業を進めることにしている。

今回の投資の狙いとしては、これまで培ってきた金属の抽出・精製技術を応用することで、レアメタルリサイクルの課題を解決し、資源の国内循環に貢献することを目指す。具体的な回収方法としては、神奈川大学との共同研究で光反応を利用するレアメタル固体化技術を活用するほか、日本原子力研究開発機構との共同研究によるエマルションフロー法でのレアメタル分離精製効率化技術を用いる。さらに乾式法による高融点金属処理技術で、回収率の向上、処理コスト低減、環境負荷軽減を目指していく。

移ろいゆく蓄電池産業 ③
定置用、多様な製品共存
各社、特性・技術力で差別化

◇多種共存の定置用蓄電池

車載向けの拡大を見越した先行投資でリチウムイオン電池（LIB）関連の過剰設備能力を持て余した国内外の電池・材料メーカーは、それに代わる有望な需要先として定置用に視線を向ける。

定置用蓄電池は、系統用と呼ばれる電力設備などで使われるもののほか、家庭や事業所で電力貯蔵用に設置するものもある。いずれも再生可能エネルギーなどを含めた電力インフラにおいて、その充放電機能により出力を調整するのが最大の役割だ。

2000年代後半からスマートグリッド（次世代送電網）などの新しい電力システム構想が取りざたされるようになり、そこでの定置用蓄電池の重要性に注目が集まった。11年の東日本大震災をはじめ、相次ぐ自然災害によるインフラ被害も電力貯蔵用電池の需要を後押しする。

車載用と並び今後の市場拡大が見込まれる定置用蓄電池。ただ、車載用と大きく異なるのはその主役が必ずしもLIBに限らないということだ。

日立化成は、長寿命の定置用鉛バッテリー「LLW」シリーズが風力発電設備向けなどで納入実績を積んできた。今年中に秋田県で稼働を予定している案件は、国内でこれまで納入してきた数量としては最大規模になるという。

LIBはエネルギー密度に優れるためコンパクトにすることが可能で、設置スペースが限られる場面で優位性が高い半面、レアメタルを使うことなどから製品価格は同じ容量の鉛バッテリーやNAS（ナトリウム−硫黄）電池と比べて数倍高い。また寿命にも課題があり、特に大規模な電力設備や工場では、依然として鉛バッテリーや日本ガイシのNAS電池が広く使用されている。

国は12年に策定した蓄電池戦略において、性能向上やコスト低減を推進すべき有望製品として、車載用はLIBとニッケル水素電池に絞った。一方で定置用についてはこの2つに加えNAS電池、レドックスフロー電池、鉛バッテリーも挙げており、それぞれにメリットがあることを認めている。

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）で次世代の高性能蓄電池開発プロジェクトに携わる細井敬・スマートコミュニティ部蓄電技術開発室長も、定置用については「寿命とコストを満足すればLIBである必要はない」と話す。

定置用は多くが案件もののため、大量生産品の自動車用と比べて利益率が高い特長もある。GSユアサは、国内産業電池および電源装置の営業利益率が15年度は10・7%と、国内自動車電池の6・5%を大きく上回る。古河電池も産業用の営業利益率が10%と、自動車用の2・8%に大きく水をあける。

市場調査を手掛ける富士経済は、電力貯蔵システム用二次電池の25年の世界市場を15年比6倍の7400億円と予測。車載用の見通しと比べればその規模は小さいが、顧客の求める要件がそれぞれ異なる定置用蓄電池は、電池各社が得意とする製品の特性や蓄電システムとしての技術力を発揮しやすい分野と言えるかもしれない。

（田島　義史）

風力発電設備に使われる日立化成の鉛バッテリー

日刊産業新聞 16・9・21

SINCE 1936 創刊 80周年 特別企画

ニューモント
売却手続きに遅れ
バッ・ヒジャウ鉱山

【コロラドスプリングス（米コロラド州）ロイターES＝時事】米産金会社ニューモント・マイニングのゴールドバーグ最高経営責任者（CEO）は19日、当地の業界会合で、インドネシアに保有するバッ・ヒジャウ鉱山の株式売却契約が、第4四半期にずれ込む可能性があることを明らかにした。承認手続きが複雑だと述べた。

ニューモントは6月30日、同鉱山の48・5%の株式を現地投資家グループに最大13億ドルで売却することで合意。売却契約は、第3四半期に締結する見通しだと説明していた。

契約遅延の可能性について、一部アナリストの間で懸念が高まっていた。鉱山の輸出ライセンスの有効期限に関する条件を盛り込んだ契約内容は、今回の取引にとってリスクになるとしている。

ゴールドバーグCEOは、売却先のPTアンマン・ミネラル・インターナショナルは株式取得の意向があり、インドネシア政府も支援していると説明。ニューモントは、同鉱山の従業員と、契約内容の策定に取り組んでいるという。

アサカ理研
技術開発に6.6億円投資
レアメタル回収

アサカ理研はこのほど、いわき工場（福島県いわき市）でレアメタル含有スクラップに含まれるレアメタル回収技術開発の投資計画を決定したと発表した。総事業費は、約6億6000万円。3年後のレアメタル事業における売上高は、約10億円を見込む。

同社はこれまで、いわき工場生産技術開発センターにおいて、光学ガラスを原料としたレアメタル・レアアース回収の実証実験を行い、本年1月からレアメタルの回収および材料販売事業を開始している。今回の投資事業は「2016年度福島イノベーション・コースト構想地域復興実用化開発等促進事業（一次公募）」に採択。いわき工場で同社が福島県からの補助金採択を受けるのは、「13年度第3次ふくしま産業復興企業立地補助金」の採択に次いで2例目。今回の補助金は、約4億3000万円を見込む。

三井物産子会社
不正注文で罰金
LME

【ロンドン・ロイターES＝時事】世界最大の非鉄金属取引市場であるロンドン金属取引所（LME）は19日までに、三井物産の非鉄取引子会社、三井物産コモディティーズに対し、トレーダーの1人が意図的に誤った注文を出したとして8万ポンド（約1100万円）の罰金を科したと発表した。

LMEによると、トレーダーは注文で間違った後、その間違いをごまかすために追加であえて間違った注文を出したという。結果的に第三者に損失を負わせたと強調した。

LMEによれば、三井はLMEに協力した上で、当該のトレーダーに対して懲戒処分を行ったという。

東商取
取引時間延長し参入機会を拡大
新システム運用開始

東京商品取引所は20日、新システムを運用開始したと発表した。日本取引所グループ（JPX）傘下の大阪取引所で運用されるデリバティブ（金融派生商品）向け売買システム「J−GATE」、およびJPXの清算システムを共同利用するもの。取引所間の接続によって、商品と金融の垣根を越えたワンストップの取引環境を提供し、金融・証券市場プレーヤーの商品市場への取り込みも狙う。

新システムによって従来よりも高速な取引、相場情報配信を可能とする。システム更改に合わせて取引時間も延長し、市場参加者の取引機会をさらに広げる構え。日中取引は開始時刻を15分前倒して午前8時45分から午後3時15分まで、夜間取引は終了時刻を1時間30分延ばして午後4時30分から翌朝5時30分までとする。

金オプション取引の商品設計も、投資家などのニーズを踏まえて変更した。オプションの権利行使日に建玉を現金決済する方式（ヨーロピアンタイプ）の採用、取引単位の小口化、12カ月以内の各偶数月を限月とする「6限月制」の導入による取引期間の拡大など。

きょうの紙面

8月電線出荷、9カ月ぶり増加　（8面）
国際非鉄金属相場ウイークリー　（9面）
フィリピン、10鉱山超が追加停止か　11面

信頼できる
アサヒメタル分析センター
〔業務内容〕
金属分析全般
鉱工物資源分析
作業環境測定（放射性物質を除く）
その他相談に応じます
作業環境測定機関
登録番号第27-53号
株式会社
アサヒメタル分析センター
amc 大阪市西成区南津守6丁目5-7
電話06（6659）3486